

令和元年度関東甲信越建築士会ブロック会

青年建築士協議会 埼玉大会



埼玉秩父に集う
未来をつくる青年建築士

建築「よく」

埼玉・秩父に集う未来をつくる青年建築士

本大会開催地の埼玉・秩父地方の総鎮守、秩父神社。その社殿の彫刻に「お元気三猿」と呼ばれるユニークな彫刻があります。日光の「三猿」とは対照的に、「よく見て、よく聞いて、よく話そう」ということで、皆に親しまれています。その「お元気三猿」にあやがり、本大会では、建築を「よく」みて「よく」考え、さらに「よく」なるようなスキルを身につけていただきたいと思います。そのため、建築好きな皆さんの「建築欲（よく）」をかき立て、日光浴のように建築を浴びるほど（建築浴）勉強し、明日から参加者皆様の建築が少しでも「よく」なるための大会を目指します。青年建築士として、心を青空のようにすっきりさせ、発展的な未来を考え、実践的な研修を企画します。そして、埼玉・秩父開催ということで、秩父の自然環境や伝統的建造物にふれ、「日本三大曳山祭」で有名な秩父夜祭りのような賑やかな中で、秩父のグルメを楽しみ、会員、企業の懇親を深める場を企画します。

2019

6 / 20 (木) 6 / 21 (金) 22 (土)

会場 埼玉県秩父市
ナチュラルファームシティ農園ホテル

■ホテルレストランより、秩父市内雲海撮影冬

大会詳細ホームページ



建築士会の綱領

1. われらの建築は 人類の幸福のため 最良の芸術たるべし
2. われわれ建築士は 社会の発展のため 最新の指導者たるべし
3. わが建築士会は 会員の向上のため 最善の団結たるべし

建築士会会員倫理規定

平成 17 年 9 月 1 5 日理事会承認

社団法人日本建築士会連合会は、建築士の社会的使命と職責の重大性にかんがみ、建築士会会員が遵守する倫理規定を定める。

1. 法令等の遵守と品位の保持
建築士会会員は、建築士法を始め関係法令・定款などを遵守し、品性とモラルの向上・保持に努める。
2. 知識および技能の維持向上
建築士会会員は、常に建築や地球環境などに関わる知識および技術の研鑽に励み、技能の維持向上に努める。
3. 相互の信頼と協力
建築士会会員は、相互に信頼し合い、必要に応じ他の専門家の協力を得て、業務を遂行するよう努める。
4. 秘密の保持
建築士会会員は、業務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。
5. 説明責任
建築士会会員は、依頼者に対し、その業務に関する十分な説明を行い、理解を得るよう努める。
6. 情報の開示
建築士会会員は、建築士としての業務実績、業務範囲および業務能力などを示す情報の開示に努める。
7. 地域社会への貢献
建築士会会員は、地域の歴史・文化を守り、良好な景観の形成など、地域社会に貢献するよう努める。

令和元年度関東甲信越建築士会ブロック会
青年建築士協議会埼玉大会
発言要旨集



主催 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会
共催 一般社団法人 埼玉建築士会

目次

| | |
|--|-----|
| 挨拶 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 会長 後藤 直也 | 6 |
| 挨拶 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 埼玉大会実行委員長 島田 義信 | 6 |
| 挨拶 一般社団法人 埼玉建築士会 会長 江口 満志 | 7 |
| 埼玉大会実施要項 | 8 |
| 会場施設案内図 | 10 |
| 第1分科会(各都県活動報告)「発展的な未来の建築士会を考えよう」 | 12 |
| 第2分科会(開催県企画)「これからの建築材料」 | 37 |
| 第3分科会(各都県代表者ワークショップ)クロスロードゲーム(CRG)でワークショップ | 41 |
| エクスカーション(見学会) | 45 |
| 青年建築士協議会・報告 | 53 |
| 関東甲信越建築士会ブロック会 地域実践活動報告シート | 71 |
| 関東甲信越建築士会ブロック会規程 | 94 |
| 関東甲信越建築士会ブロック会役員名簿／青年建築士協議会役員名簿 | 97 |
| 関東甲信越建築士会ブロック会 平成30年度事業報告 | 98 |
| 都道府県建築士会・会長名・事務局所在地一覧 | 101 |
| 全国大会(研究集会)及び関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会の歩み | 102 |
| 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会規約 | 108 |
| ご協力いただいた企業のみなさま | 109 |
| 令和2年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会茨城大会のご案内 | 110 |

関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会
会長 後藤 直也



関ブロ埼玉大会にご参加頂きました皆様、関ブロ青年建築士協議会を代表し心より御礼申し上げます。この度は令和初の大会であり、時代の変わり目に位置付けられた記念すべき大会であると感じています。改元に象徴されるように、建築業界も目まぐるしく変わっています。実務に深く関る青年建築士にとって、昨今の変化を肌で感じている方も多いのではないのでしょうか。人口減少による縮小社会、また既存の資産を有効活用するストック社会である現代では、建築がいかにか多面的な存在であるかという事を意識せざるを得ません。それは同時に、建築士が多様な側面を持っている事と同義と言えるでしょう。時代が変わる今、建築士の職能の拡充と未来のビジョンが求められています。ぜひこの度の大会では多くの仲間と議論し、学び、交流を通して我々の明るい未来に向け前進して頂きたく存じます。

最後に、大会準備にご尽力頂いた方々に心より感謝申し上げ、埼玉建築士会青年委員の皆様
の益々のご活躍を祈念しながら、関ブロ青年建築士協議会代表の挨拶とさせていただきます。

関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会
埼玉大会 実行委員長 島田 義信



この度、関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会埼玉大会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本大会開催にあたり、関東甲信越建築士会ブロック会各都県建築士会員の皆様、協賛企業の皆様、これまで大会開催にあたり準備に携わっていただきました皆様、その他多数の方々のご理解とご協力のお陰をもちまして開催できることを心より御礼申し上げます。

本大会では、大会テーマを「建築よく」と掲げています。建築を「よく」みて「よく」考え、さらに「よく」なるようなスキルを身につけていただきたいと思います。そして、埼玉・秩父開催ということで、秩父夜祭りのような賑やか中で、会員、企業の懇親を深める場を企画します。本大会では、資料のペーパーレス化やタイムスケジュールや分科会の審査方法など、新たな取り組みをしています。元号が変わって最初の大会として、新しい大会を目指したいと考えています。皆様におかれましても積極的にご参加いただき、有意義な大会になるようにご協力いただければ幸いです。

一般社団法人 埼玉建築士会

会長 江口 満志



関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会が、盛大に開催されますこと
をお喜び申し上げますとともに、埼玉県秩父市にお越しいただいた関東甲信越1都
9県の青年建築士の皆様を心から歓迎いたします。昨年10月26日には全国大会が
埼玉で開催され、続けて大きなイベントを担当させていただくこととなりました。

開催地となる秩父市は、荒川支流の清流と秩父盆地を中心とした山々に囲まれ
た自然豊かな地域です。多様な歴史的・文化的資源としては、旧石器～戦国時代の
遺跡、古墳群、和銅に関する遺跡、徳川家ゆかりの秩父神社、日本武尊(ヤマトタケ
ルノミコト)創建の三峯神社、秩父札所巡礼、昭和レトロを感じさせる街並みなど、有
名で貴重な歴史・文化遺産が多数あります。祭りもユネスコ無形文化遺産に登録さ
れ日本三大曳山祭りの秩父夜祭、農民ロケット龍勢祭、秩父川瀬祭等、全国的なも
のから小さな祭りまで、一年間数多くの祭りが開催されています。また、春は色鮮や
かな羊山公園・芝桜の丘やしだれ桜、夏は清流の川遊びや滝めぐり、秋は関東でも
有名な紅葉、冬は氷柱など、一年を通じて四季の変化を楽しめる地域となっております。

今回の埼玉大会テーマが「建築よく」-埼玉・秩父に集う未来をつくる青年建築士-
となりました。今回の協議会を通して建築の魅力を再認識していただくとともに、現
在、各都道府県とも20～40歳代の会員が少なくなってきておりますので、若い建築
士に建築士会の良さもアピールする内容となるよう、大いに語り合ってください。

結びに、今後の関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会が益々の発展を
していきますことをご祈念申し上げ、開催県の会長の挨拶といたします。

埼玉大会

実施要項

大会概要

- 主催 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会
- 共催 一般社団法人 埼玉建築士会
- 対象 関東甲信越建築士会ブロック会に所属する青年建築士
(全国の建築士会に所属する青年建築士も参加可能)
- 開催日 令和元年 6月20日(木)～22日(土)
- 会場 ナチュラルファームシティ農園ホテル
〒368-8558 埼玉県秩父市大宮 5911-1
TEL 0494-22-2000 <http://www.farm-city.co.jp/>
青年協理事会の会場は別紙大会スケジュールにてご確認ください。
- 宿泊 会場と同じ
- 交通 【電車でお越しの場合】
西武鉄道をご利用の場合
池袋駅→飯能駅→西武秩父駅下車(→会場までシャトルバス巡回)
池袋駅より特急レッドアロー号で約80分※乗り換え無し
東武東上線をご利用の場合
池袋駅→寄居駅(秩父鉄道乗り換え)→秩父駅下車(→会場までシャトルバス巡回)
JR 高崎線をご利用の場合
上野駅→熊谷駅(秩父鉄道乗り換え)→秩父駅下車(→会場までシャトルバス巡回)
【お車でお越しの場合】
関越自動車道経由
花園IC→(R140を秩父・長瀬方面へ)→長瀬町→農園ホテル(花園ICより皆野寄居バイパス
経由約40分)
圏央道経由
狭山・日高IC→(R299を秩父方面へ)→農園ホテル(狭山・日高ICより約60分)
※会場付近に専用駐車場をご用意しています。誘導案内に従ってください。

大会テーマ

「建築 よく」

埼玉・秩父に集う未来をつくる青年建築士

本大会開催地の埼玉・秩父地方の総鎮守、秩父神社。その社殿の彫刻に「お元気三猿」と呼ばれるユニークな彫刻があります。日光の「三猿」とは対照的に、「よく見て、よく聞いて、よく話そう」ということで、皆に親しまれています。その「お元気三猿」にあやかり、本大会では、建築を「よく」みて「よく」考え、さらに「よく」なるようなスキルを身につけていただきたいと思います。そのため、建築好きな皆さんの「建築欲(よく)」をかきたて、日光浴のように建築を浴びるほど(建築浴)勉強し、明日から参加者皆様の建築が少しでも「よく」なるための大会を目指します。青年建築士として、心を青空のようにすっきりさせ、発展的な未来を考え、実践的な研修を企画します。そして、埼玉・秩父開催ということで、秩父の自然環境や伝統的建造物にふれ、「日本三大曳山祭」で有名な秩父夜祭りのような賑やかな中で、秩父のグルメを楽しみ、会員、企業の懇親を深める場を企画します。

第1分科会
テーマ

発展的な未来の
建築士会を考えよう

第2分科会
テーマ

これからの建築材料

第3分科会
テーマ

クロスロードゲーム
(CRG)でワークショップ



令和元年度関東甲信越 建築士会ブロック会 青年建築士協議会

建築よく / 埼玉秩父に集う

埼玉大会

未来をつくる青年建築士

saitama society of architects & building engineers



埼玉秩父に集う
未来をつくる青年建築士

大会スケジュール

| 日程 | 時間 | 内容 | 会場 | |
|--------------------------|-------------|-----------------|-------------------|--|
| 6月20日(木) | 14:30～18:00 | 関ブロ青年協理事会 | 1F 食事処 楓 | |
| | 19:30～21:30 | 懇親会 | 1F 食事処 楓 | |
| 6月21日(金) | 10:00～12:30 | 大会受付 | 1F 本館 ロビー | |
| | 10:00～12:00 | 分科会発表者説明機材等動作確認 | 1F 花梨の間 | |
| | 10:00～12:10 | 参加者 昼食 | 1F レストラン秩父路・大瑠璃 | |
| | 移動・休憩・10分 | | | |
| | 12:20～14:30 | 第1分科会 I | 1F 花梨の間 | |
| | 休憩・15分 | | | |
| | 14:45～16:25 | 第1分科会 II | 1F 花梨の間 | |
| | 14:45～16:25 | 第2分科会 | 2F 武甲の間・両神の間・雲取の間 | |
| | 14:45～16:25 | 第3分科会 | 1F 食事処 楓 | |
| | 終日 | スタッフ控室 | 2F 三峰の間 | |
| | 移動・休憩・20分 | | | |
| | 16:45～18:00 | 全体会議(式典) | 1F 花梨の間 | |
| 移動・休憩・チェックイン・企業ブース企画 60分 | | | | |
| 19:00～20:45 | 大懇親会 | 1F 花梨の間 | | |
| 移動・休憩 30分・45分 | | | | |
| 21:15～23:00 | 関ブロ交流会 | 2F ケヤキの間 | | |
| 21:30～23:00 | 都県別交流会 | 秩父市内各会場 | | |
| 6月22日(土) | 7:00～9:00 | 朝食 | 1F レストラン秩父路 | |
| | 8:00～9:30 | 関ブロ青年協理事会 | 1F 食事処 楓 | |
| | 移動・休憩・45分 | | | |
| | 8:30～16:15 | エクスカージョン | | |
| 備考 | 終日 | 実行委員会本部 | 1F 拳式場 | |

参加費用

※ホテル外をご希望の場合は、近隣のお店をご紹介します。

| 6月20日(木) | 6月21日(金) | | 6月22日(土) |
|-----------------|----------|----------------------|--|
| 懇親会 6,000円/人 | 大会登録料 | 4,000円/人 | エクスカージョン ①コース 2,000円/人 (秩父市内散策) ②コース 5,000円/人 (長瀬散策) |
| | 懇親会参加費 | 8,000円/人 | |
| 農園ホテル 1泊 | 関ブロ交流会 | 3,500円/人 (ホテル内) | ※都県別の相部屋となる予定です。 ※シングルルームはありません。ご了承ください。 ※男女は別部屋となります。 |
| | 都県別交流会 | 直接お店に値段交渉 (近隣のお店を紹介) | |
| | 朝食付 | 8,000円/人 | |



令和元年度関東甲信越 建築士会ブロック会 青年建築士協議会

建築よく/埼玉秩父に集う

埼玉大会

未来をつくる青年建築士

saitama society of architects & building engineers



埼玉秩父に集う
未来をつくる青年建築士

留意事項

■今回の大会は、ペーパーレスを基本としております。お手持ちの携帯電話・スマートフォン・タブレット等マナーモードの徹底をお願いいたします。(充電スペースがありますので、充電器をお持ちください。)紙媒体の要旨集は配布いたしません。事前に Web より公開いたします。

■駐車場

駐車料金無料、台数に限りがございますので、バスでの乗合や自家用車での乗合、公共交通機関でお越しください。(駅から会場へ無料シャトルバス有大会 HP)

<http://www.saitama-kannburo2019.ksaitama.or.jp/>

■手荷物預かり

1F 宴会棟「拳式場」 10時～18時30分の間は手荷物を預かります。

※詳しくは当日会場でご確認下さい。

貴重品は預かることができませんので、必ず各自で保管願います。



■宿泊

都県別にまとめて部屋を割り振ります。各都県で宿泊責任者を決めていただき、ご報告をお願いいたします。同一の部屋に別の都県の方となる場合があります。

■昼食

昼食につきましては、希望者に事前予約にてお弁当(¥1,000-)を用意します。

参加申し込み時に事前予約をお願いいたします。

■宅配便の受領

1F 宴会棟「拳式場」

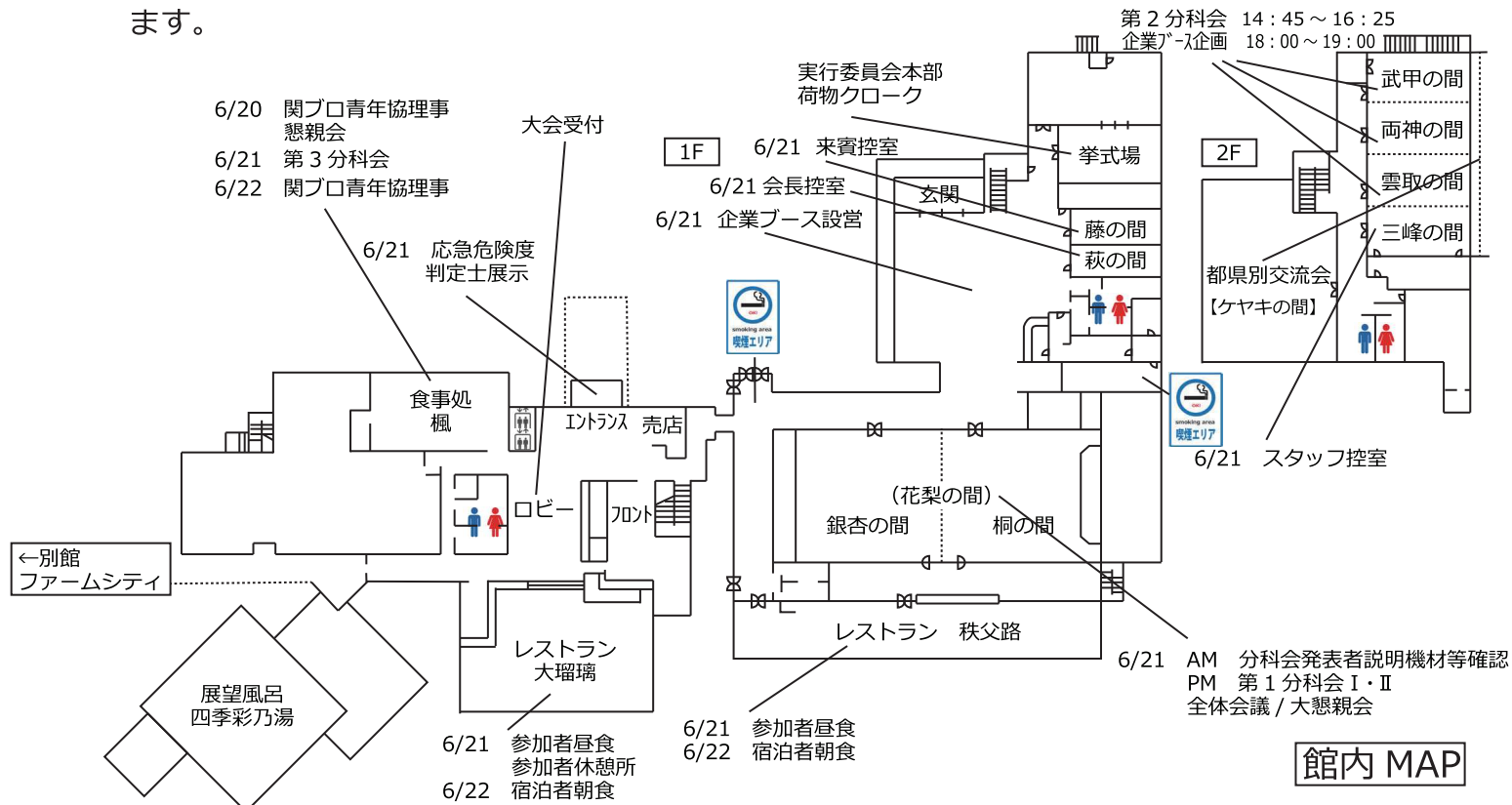
■チェックインのご案内

チェックインについて 6/20 (木) 15:00～ 6/21 (金) 18:00～

■その他

フリー Wifi は使用不可です。

大浴場は極力ご使用を控えていただき各部屋の浴室をご利用ください。ご協力よろしくお願います。



令和元年度関東甲信越 建築士会ブロック会 青年建築士協議会

建築よく / 埼玉秩父に集う **埼玉大会** 未来をつくる青年建築士

saitama society of architects & building engineers



埼玉秩父に集う
未来をつくる青年建築士

ナチュラルファームシティ 農園ホテル
〒368-8558 埼玉県秩父市大宮 5911-1
TEL : 0494-22-2000 (8:00 ~ 21:00)



秩父駅、西武秩父駅よりシャトルバス
を運行します。

(詳細は大会 HP)



<http://www.saitama-kannburo2019.ksaitama.or.jp/>

「建築よく」のロゴプラカードの案内
に従ってください。

平成31年度 関ブロ青年協 埼玉大会（大会テーマ：建築よく）

【第1分科会：「発展的な未来の建築士会を考えよう」／各都県活動報告】

第1分科会実施要項

1) 趣旨

地域に根ざす我々各建築士会の活動は、地域の固有の課題を解決し、それら発展のため、街づくり、各種研修会、市民への相談会、建築士同士の懇親を深めることなど多岐にわたります。この分科会は、各建築士会で真摯に取り組まれている多様な活動の報告、そこで得られた知識の情報共有の場とします。

全国大会の地域実践活動報告にて発表する1チームを選定すること、参加者が各建築士会の多様な活動を把握し、発展的な未来の建築士会の活動を考えることを目的とします。

2) 発表内容

地域づくり、街づくり活動、会員拡大に向けた活動、会員同士の交流活動、スキルアップのための研修会など、建築士会の活動は多岐にわたります。

各都県もしくは各単会の多岐にわたる活動の中から、他の都県や全国の建築士会員の皆様に知っていただきたい活動を発表してください。

- ・あくまでも具体的な活動の発表に趣きを置くものとし、実践の無い「提案発表」は不可とします。
- ・応募数は、各都県の建築士会あたり1件とします。

3) 表彰

○最優秀賞 1件（全国大会での発表者）

○優秀賞 1件

○プレゼン賞 1件

○応用賞 1件

○発表感謝賞（上記以外の各発表者へ）

最優秀賞、優秀賞は全体会議にて表彰します。

4) 審査項目

分科会参加者全員が以下①、②の二つの項目を主な審査項目、以下③、④の二つの項目を補助的なサブ審査項目とし、それら合計の得票により、審査を行います。

主な審査項目

①地域や街への貢献度

②会員への貢献度

サブ審査項目

③プレゼンカ

④自分の単会でも活動してみたいか（応用性）

5) 審査方法

（概要）

投票方法は、分科会参加者による会場審査とします。集計をしやすいするため、

スマートフォンであればだれでも気軽にアクセスできる、投票サイトを利用します。

スマートフォンをお持ちでない方は専用の用紙をお渡しするようにします。

各発表者について、分科会参加者の全てのポイントを合計し、

最も、ポイントの高かった発表者を最優秀賞とし、次点を優秀賞とします。

（上記以外の、各発表者の得票や順位については公表しません。）

平成31年度 関ブロ青年協 埼玉大会（大会テーマ：建築よく）

【第1分科会Ⅱ：「発展的な未来の建築士会を考えよう」

実施要項

1) 趣旨

参加者が、地元の建築士会へ持ち帰り、今後の活動に繋げて地域へのさらなる貢献や自己研鑽に努める事を目的とし、第1分科会Ⅱではテーブルディスカッションを実施いたします。発表を聞いた参加者が、疑問に思ったことや聞きたいことを話し合える場になります。地域の特色が表れた各都県代表の発表について話し合うことで、各活動をより深く知る機会とします。

2) 実施内容

テーブルディスカッション

第1分科会Ⅰの発表者及びサポーター（1、2名程度）が進行役となり、ディスカッションを行います。テーブルは各都県の10カ所を用意します。参加者は聞きたいことや疑問に感じた事などを、発表者やサポーターに更によく質問する事が出来ます。質問するためには第1分科会Ⅰを積極的によく聞くことも必要です。発表者及びサポーターは事前に登録して下さい。ディスカッションの内容を各自都県に持ち帰る為、各都県9名の参加をお願いします。

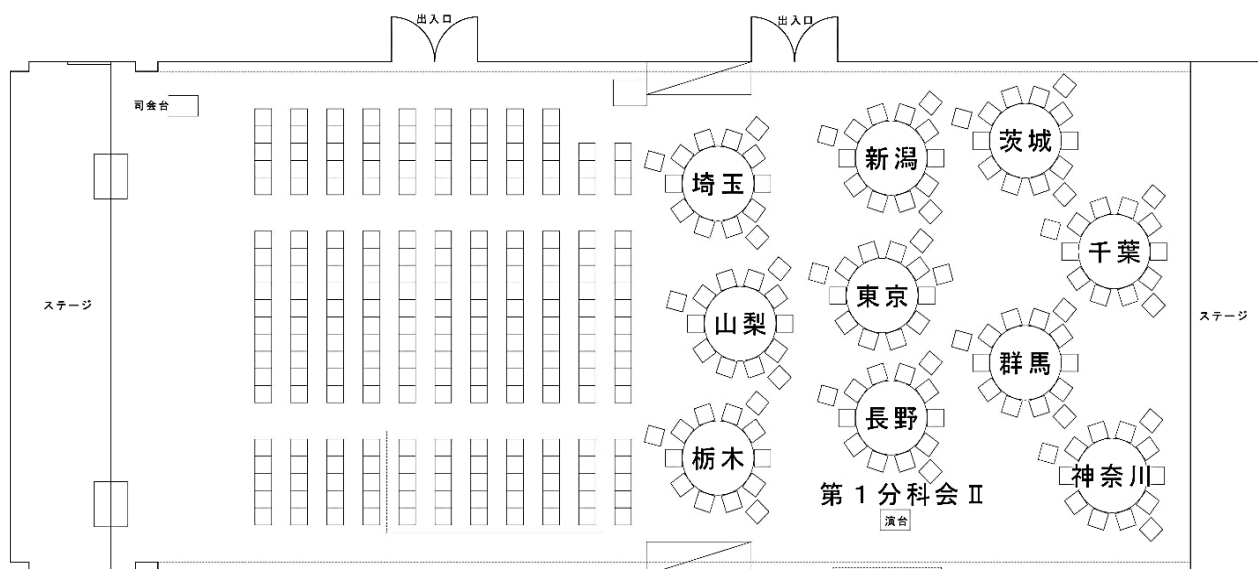
3) 進行表

14:45～16:25 (100分)

| 開始 | 終了 | 所要時間 | |
|-------|----|------|-------|
| 14:45 | | 1分 | 開会の言葉 |
| | | 5分 | 進行説明 |
| | | 40分 | 前半 |
| | | 8分 | 休憩 |
| | | 40分 | 後半 |
| | | 5分 | 講評 |
| 16:25 | | 1分 | 閉会の言葉 |

※進行内容は変更になる場合がございます。

4) 会場レイアウト



第1分科会(各都県活動報告)
「発展的な未来の建築士会を考えよう」

第1分科会 発表者

- | | | | |
|----|----------|-----------------|--|
| 1 | 茨城県建築士会 | 加藤 雅史 | 建築士が作るサードプレイス、「マチノイズミプロジェクト」 |
| 2 | 長野県建築士会 | 真嶋 直行 山田 まどか | 御代田 フットパス |
| 3 | 新潟県建築士会 | 小池 潤 | 地元と寄り添い、共に歩む ~学生と企業を結ぶ仲人事業~ |
| 4 | 千葉県建築士会 | 塚本 遼平 | Change perspective ! ~ For architecture of the future ~ |
| 5 | 東京建築士会 | 加藤 雄介 | 建築士が紡いだ 5つのつながり -「としまアンダーハイウェイ・デザインコンペ」を通して- |
| 6 | 群馬建築士会 | 川端 修幸 | 建築士会として私たちにできる事 |
| 7 | 山梨県建築士会 | 高相 正樹 | 山梨県庁別館「復原秘話」講座 ~まもり・つなぎ・つたえる~ |
| 8 | 神奈川県建築士会 | 太田 真理子 | 新たな横浜の一面にふれるため ~フォトログ大会開催に向けて~ |
| 9 | 栃木県建築士会 | 渡邊 貴明 | 「一戸建ての住宅」を超えた経済が循環する新しいまちをつくる |
| 10 | 埼玉建築士会 | 畔上 順平 | 「くむんだー」で「やま」と「まち」をつなぐんだー 埼玉県産材を使った木組みのジャングルジムワークショップ |

発表タイトル：建築士が作るサードプレイス、「マチノイズミプロジェクト」

都道府県名：茨城県



加藤 雅史

はじめに

昨今、地域が抱える様々な問題として少子高齢化、空き家問題、商店街・繁華街の衰退、等々が挙げられております。さらに我々建築士の業界でも、人材不足、着工棟数の減少、省エネ・耐震への課題等様々な問題があります。

我々茨城県建築士会青年部としては、建築士会の活動を広く一般ユーザーにも知っていただく為に地域の課題に取り組みつつ、次の建築士を育てる取り組み「**マチノイズミプロジェクト**」を発足しました。

1、取り組むべく**欲**した課題

- ① 中心市街地活性化
- ② 空き家問題
- ③ 若手の育成
- ④ 地域コミュニティ復活
- ⑤ 地域との連携
- ⑥ 建築士会の活動を一般ユーザーに普及させる

2、場所

水戸市泉町2丁目

現在の水戸市の中心市街地は、大型商業施設の撤退による商業機能の低下や、大型低・未利用地の増加による都市的魅力・生活利便性の低下などにより歩行者通行量の減少が続いているほか、東日本大震災後には空き店舗率の上昇傾向が強まっています。

また、これからのまちづくりに対する市民の意識としては、都市機能が集積した活気あふれるまちを求める割合が高くなっており、商業、業務、行政、教育、医療、居住機能など、様々な都市機能の連携強化と一層の集積を図ったコンパクトな都市機能が求められています。

上記を踏まえ、「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく水戸市中心市街地活性化基本計画が、平成28年6月17日に内閣総理大臣の認定を受けており街全体が街を**良く**したいと**欲**している街です。

2020年 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会
茨城大会

3、何をする？

○周知・活動

・ 中心市街地の空き店舗に学生が運営するコワーキングスペースを作り、地域に学生を落とし込みながら、建築系イベントをコンスタントに行い建築士を身近に感じてもらう。

○交流・成長

・ 学生を支配人に置くことで学生発信のイベントを多数行い、「駅→学校」の流れを「駅→街→学校→街」としていく。ビジネス街や百貨店が近いことから多世代交流を促します。

○啓蒙・発展

エンドユーザーに耐震や省エネのイベントを行い、なかなか普及しない住宅の耐震化・省エネ化を促します。

4、発足から現在

| | |
|--------------|--|
| 平成 30 年 12 月 | 偶発的に、泉町 2 丁目商店街と連携することになり、「マチノイズミプロジェクト」発足。 |
| 平成 31 年 1 月 | 資金調達、ファン獲得のためクラウドファンディング開始 |
| 平成 31 年 2 月 | DIY イベント開催 インスタページ・フェイスブックページ開設 |
| 平成 31 年 3 月 | クラウドファンディング達成、プレオープンイベント開催 |
| 平成 31 年 4 月 | 塗装ワークショップ 「マチノイズミプロジェクト×大阪ガスケミカル株式会社」開催 子ども食堂「310 食堂」開催 学生イベント「ハイセイウマレ」開催 |
| 平成 31 年 5 月 | グランドオープン |

5、今後

これを機に泉町 2 丁目組合副会長の秋山氏と青年部加藤がまちづくり会社「CANVAS 合同会社」を設立しました。インバウンドに向けたゲストハウス等も作り、**欲**をもって広く場を展開していく予定です。令和 2 年に行われる、「関東ブロック茨城大会」への普及も進めます。

御代田フットパス



長野県 真嶋 直行

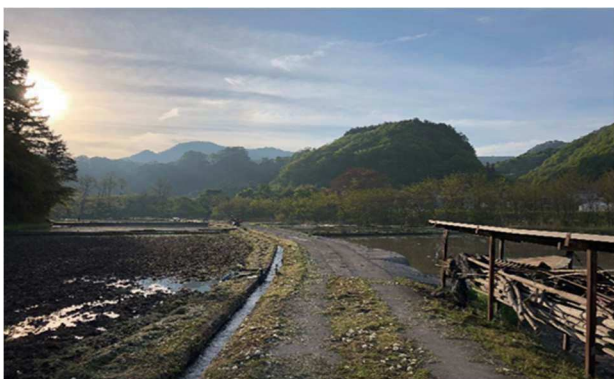


長野県建築士会佐久支部青年女性委員会では、平成30年1月より北佐久郡御代田町でのフットパス事業をスタートした。

【フットパスとは】

英国で始まった仕組みで、だれもが歩いて楽しめる通り道のことを言う。ありのままの街や集落、自然の中に歩くコースを設定して、それを紹介する地図をつくり、訪れた人が地図を片手に思い思いに歩いて地域の風景を楽しむ。

フットパスを行うことで、御代田町の自然景観の良さや史跡などを掘り起こし、地域に根付いた文化や歴史、これからの地域のあり方について考える契機になることを意図した。



【きっかけ】

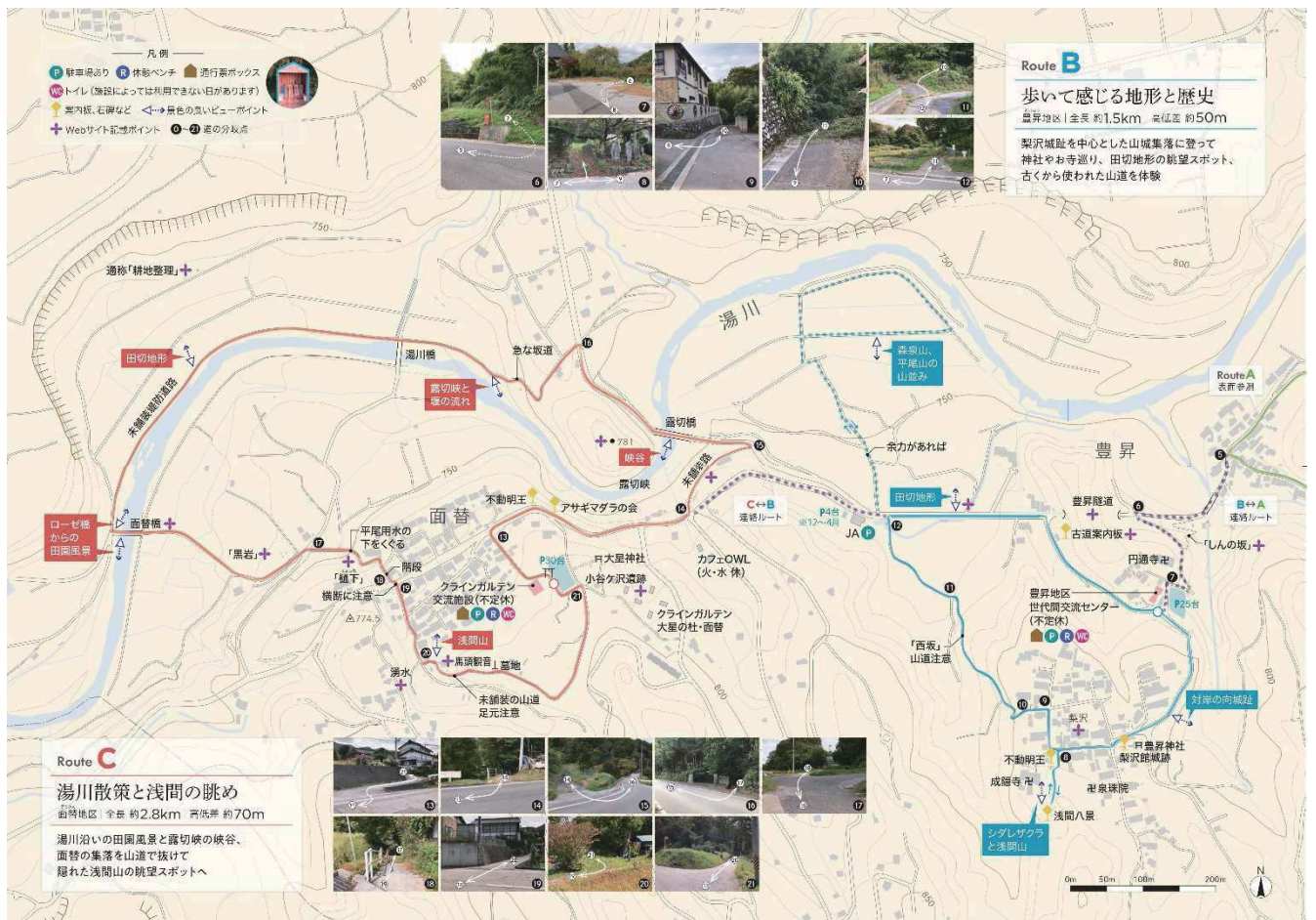
当会の山田まどかの発案により、「フットパスって何？」と思いながらも、何か新しい事に挑戦してみたい思いがあり、とりかかることにした。

単に観光地化するのではなく、ありのままの自然や集落の良さを町内外・県内外の人に伝え、実際に訪れて感じてもらうことに加え、私たち青年委員が地域集落の魅力や歴史を掘り下げることで、地域資源の見直しに繋がり、新たな地域づくり・街づくりになることも期待をした。

また我々建築士会だけではなく、多くの一般の方に参加してもらうことで、これからの地域づくりについて考えるキッカケになってくれれば幸いと考えました。

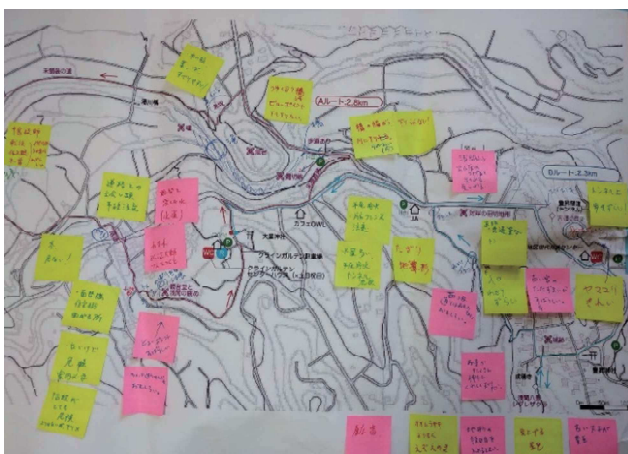
【コース選定】

コースを決定するまで合計5回ほど現地調査を行った。朝5時に集合したこともあり、みんな眠い目を擦りながら何キロも歩いた日もあった。やはり実際に歩いてみないとコースが妥当なのか分らないためではあるが、知らない土地ということもあり探検している感覚で歩いて回るのは楽しかった。湯川の音や高低差による景色の変化が心地よいと感じた。古い集落の風情や地元の方の話に教えられることも多かった。



[その後のコース開きまでの流れ]

地区の方と何度も打合せをし、6/30には仮コース歩きを行った。早朝から大勢の方に集まって頂き、今までコース散策して設定した仮コースを3グループ分かれて歩いた。歩いた後の各自の気づいた点などをフィードバックし地図に反映するワークショップを行った。



やはり地元の方の意見は貴重であったし、町外(外部)から見た違う観点も面白く、地域を理解していく上では相互に良い影響をあたえたと思う。

9/30には、木工ワークショップを開き、歩く方の目印として木材での通行表を地区の方たちと作成した。

11/18には、コース開きイベントを行った。

フットパスの講師を招き講演を聞き、地元の食材を提供した後コースを歩いた。私たち青年が先導をする役目で約150名の参加者と共に新しいコースを回った。参加者も楽しんでくれた方が多く、こちらも嬉しかった。色々な話しが聞けたこと、終了後のアンケートと共に今後役立つ内容となった。



これからも継続的にフットパス活動が出来るようにしたいと思います。

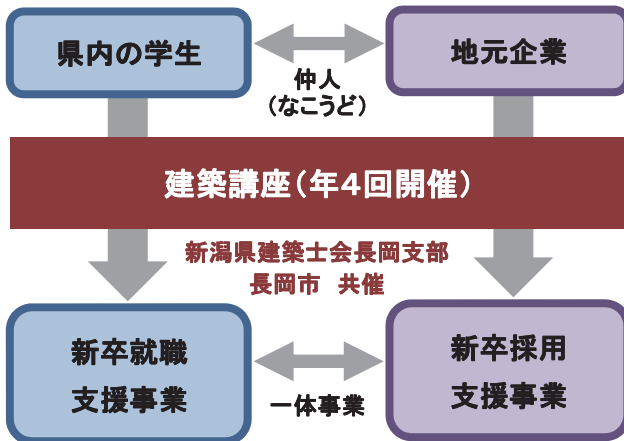
地元と寄り添い、共に歩む ～学生と企業を結ぶ仲人事業～

新潟県建築士会長岡支部 青年委員 小池 潤



1、本事業概要

本事業は、県内の学生を長岡・中越地域の地元企業に就職することを促すために、3年前から実施している「建築講座(年4回開催)」を軸にして、県内の学生への支援としての「新卒就職支援事業」と、今年度より新たに始めた、地元企業への支援としての「新卒採用支援事業」とを一体とした事業です。新潟県建築士会長岡支部が、「就職」する学生と「採用」する地元企業を結び付ける「仲人(なこうど)」になります。



2、長岡市との共催事業と産官学の連携

今年度より、長岡市から本事業への賛同を得られたことから、本事業の「建築講座・新卒就職支援事業・新卒採用支援事業」の3つの事業を一体とした、当支部と長岡市との共催事業となり、この結果、本事業は長岡地域での「産・官・学」の連携事業となりました。これは全国初とのことから、全国のモデルケースにもなる事業です。



①、「産」～地元企業・地元建築団体～

建築講座 & 新卒就職支援事業の参加協力団体は 23 団体、新卒採用支援事業の参加協力団体は 3 団体、新卒採用支援事業 & 新卒就職支援事業の参加企業は 12 社です。なお、本事業への参加条件として、参加 12 社には当支部の企業賛助会員に入会して頂き、12 社の賛助会員費は本事業費の一部に充当しています。

【建築講座 参加協力団体】 【新卒就職支援 参加協力団体】

- ・(一社)新潟県建築士会
- ・新潟県建築士会三南支部
- 西蒲原支部
- 柏崎支部
- 三島郡支部
- 北魚沼支部
- ・新潟県建築士事務所協会 中越支部
- ・(一社)長岡市建設業協会
- ・(一社)新潟県建設業協会 長岡支部
- ・長岡建築協同組合
- ・長岡市建築板金工業組合
- ・長岡建具木工組合
- ・長岡左官組合
- ・長岡材木商組合
- ・長岡電気工事協同組合
- ・長岡髙工業協同組合
- ・長岡畳業組合
- ・長岡瓦業組合
- ・長岡塗装業組合
- ・長岡セメント製品組合
- ・新潟県鉄筋業協同組合
- ・新潟県防水事業協同組合

【新卒採用支援 参加協力団体】

- ・新潟県建築士事務所協会 中越支部
- ・(一社)長岡市建設業協会
- ・長岡建築協同組合

【新卒採用支援事業 参加企業】 【新卒就職支援事業 参加企業】

- ・(株)たかだ 様
- ・オムニ技研(株) 様
- ・(株)田中組 様
- ・(株)田村製作所 様
- ・(株)タツミ 様
- ・(株)アップデート 様
- ・(株)スミック長岡硝子 様
- ・(株)志田材木店 様
- ・(株)中越興業 様
- ・(株)松井組 様
- ・(株)ワシツ設計 様
- ・(有)一代工務店 様

上記 12 社様は、建築講座の修了証を交付された学生に対して、採用の際に当修了証を評価の1つに加える就職支援企業にもなります。

②、「官」～地元自治体～

今年度より、長岡市(主管:商工部 産業支援課)との共催事業となり、県内のマスコミへのプレスリリースや広報支援、さらには本事業に対しての事業費の補助を受けることになりました。

③、「学」～県内の大学・専門学校・工業高校～

今年度より、県内の工業高校 3 校が新たに加わり、本事業への対象学生が大幅に拡大しました。

【建築講座 参加学校】 【新卒就職支援 参加学校】

- ・長岡造形大学
- ・新潟工科大学
- ・新潟大学
- ・新潟工科大学
- ・新潟工科大学
- ・新潟工科大学
- ・新潟日建工科専門学校
- ・新潟県中央工業高等学校
- ・新潟県中央工業高等学校

【新卒採用支援 参加学校】

- ・長岡造形大学
- ・新潟工科大学
- ・新潟大学
- ・新潟工科大学
- ・新潟工科大学
- ・新潟日建工科専門学校
- ・新潟県中央工業高等学校
- ・新潟工業高等学校
- ・上越総合技術高等学校

3、建築講座について

今年度で3年目を迎えた建築講座は、県内の建築実務者や学生ならびに一般市民のための自己研鑽の場、新卒就職支援の場、新卒採用支援の場と、様々な意図や仕掛けが組み込まれており、本事業の基盤でもあります。今年度の建築講座の全体スケジュールと概要は下記の通りです。

【平成30年度 建築講座スケジュール一覧】

- ◆第1回建築講座(平成30年10月27日(土)開催)
「まちづくり理論編～まちづくりとコミュニティデザイン」
講師 渡辺 斉 氏、荻澤 篤 氏
- ◆第2回建築講座(平成30年11月3日(土)開催)
「まちづくり実践編～サフラン酒本舗土蔵と撰田屋のまちおこし」
講師 平山 育男 氏、渡邊 誠介 氏
- ◆第3回建築講座(平成31年1月12日(土)開催)
「木の魅せ方～造作編」
講師 大森 政尚 氏、川口 とし子 氏
- ◆第4回建築講座(平成31年2月16日(土)開催)
「歴史的建造物の保存活用と古民家再生」
講師 関 由有子 氏、カール・ベンクス 氏

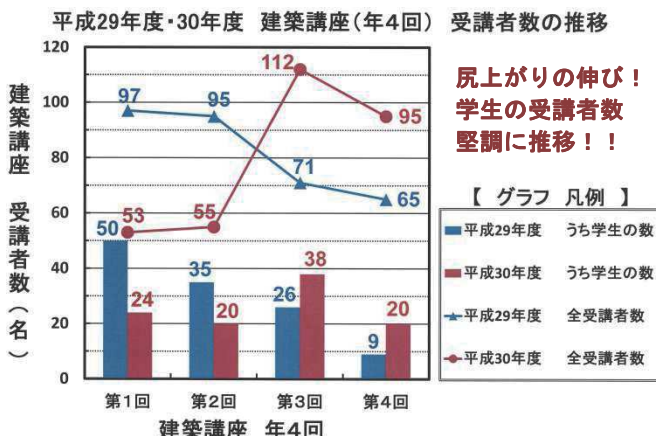
①、企業PRタイムの創設

今年度から新たに始めた「新卒採用支援事業」として、建築講座内に企業PRタイムを創設しました。毎回2社程度、新卒採用支援事業の参加企業に企業PRや採用PRのプレゼン(1社10分)をして頂き、多くの学生の前で直接PRしました。

【(例) 第2回建築講座のタイムスケジュールの場合】

- ◆午後1時30分 始まりの挨拶(当支部長)
- ◆午後1時35分 **企業PRタイム(20分間)**
・**棚たかだ 様(10分間)**
・**オムニ技研 様(10分間)**
- ◆午後1時55分 講座①(60分間) 講師 平山 育男 氏
- ◆午後2時55分 10分間休憩
- ◆午後3時05分 講座②(60分間) 講師 渡邊 誠介 氏
- ◆午後4時05分 意見シート記入タイム
- ◆午後4時20分 10分間休憩
- ◆午後4時30分 講座③(25分間) ディスカッションタイム
- ◆午後4時55分 終わりの挨拶(当副支部長)

②、講座受講者数の推移



4、新卒就職支援事業について

年4回開催の建築講座のうち、3回以上受講した受講者には全講座終了後の3月上旬に、当講座の修了証を交付します。さらに、当支部では、新卒就職支援事業の参加協力団体の各建築団体の会員に、当修了証を交付された学生への就職支援を要請します。具体的には、当修了証を学生の就職採用の際の評価の1つに加える旨の要請です。長岡・中越地域への学生の就職を促します。

(建築士会6支部の会員・・・750名超に要請)
(建築団体の会員企業・・・230社超に要請)

5、新卒採用支援事業について

今年度より始めた新事業「新卒採用支援事業」の参加企業を募るにあたり、地元企業向け「新卒採用支援事業」企業説明会を2回開催しました。2回の説明会を経て、本事業には計12社が参加しました。その結果、当支部の企業賛助会員も昨年度と比較して今年度は8社増強されました。

【第1回 本事業説明会】

- ・平成30年10月4日開催
- ・説明会参加企業 8社

【第2回 本事業説明会】

- ・平成30年12月14日開催
- ・説明会参加企業 9社

①、支援内容～地域密着型の手厚い支援～

新卒採用支援事業の内容は、下記の3ステップにて構成されています。

Step1、建築講座内での企業PRプレゼン

- ・建築講座内で企業PRタイムを創設
- ・1社10分で毎回2社程度を想定
- ・今年度は6社がプレゼンを実施

Step2、学生への企業PRシートの送付

- ・建築講座を1回以上受講した学生が送付対象
- ・計100名の学生に12社の企業PRシートを送付
(過去2年間の修了証交付者の学生にも送付)

Step3、就職ガイダンス合同企業説明会の開催

- ・県内の3大学2専門学校3工業高校が対象
- ・大学&専門学校の就職活動の学生は企業説明会
(低学年の学生はインターンガイダンス)
- ・高校生は「建築の各業種の仕事勉強会」
(高校生の就職活動の解禁日が7月1日より)
- ・平成31年3月27日に開催(参加者 計54名)
(内訳・・・参加学生22名、参加企業12社)

②、地方の中小企業が参加しやすい事業

中小企業に主眼を置き、地元企業が新卒者の採用に負担のかからないモデルケースにします。

Change perspective ! ~ For architecture of the future ~

千葉県建築士会 青年委員会 塚本遼平



千葉県建築士会青年委員会では毎年多様な意見交換会、交流会を行っております。今回取り上げたい活動が「日本で働く海外からの移住者」との交流会です。

「昭和」から「平成」となり、そして「令和」と移りゆくこの30年で生活を取り巻く環境は時代の加速とともに様々な変化を遂げてきました。建設業界においても、「建築普請」という言葉が現代風に色付き、建築主の要望に応えるべく様々な技術や様式が入り乱れるようになりました。日本の玄関の一つでもある千葉県の成田空港を利用し多くの方が海外へ渡航、また海外から来日しており、情報や文化の行き交いも多種多様に県下に点在しています。



法務省「出入国管理統計 出入(帰)国者数」より

建築士が考える住宅、得意とする住宅。また、住宅供給業者がそれぞれに得意とする工法や技術を駆使して取り組む住環境の形式などは、建築主からすると混乱してしまうほど数多くあるのではないのでしょうか。昔は「宮殿のような家が良い」ちょっと前までは「北欧系の家が良い」、今では「この前海外行った時に見かけた家みたいなのが良い」と言った具合に個人が取得可能な情報は利便性と比例して世界との距離を縮め具体化されてきています。そして、それら希望の住宅が国内で実現可能になるほどに技術は発展しました。単に先輩達が子供の頃の僕たちの夢をかなえてくれたのかと思います。



子供たちは技術の発展により就業するまでに望まれる知識や学力等が右肩上がりに増えています。豊かな時代に幸せな時間を過ごして欲しいという親の気持ちも相俟って現在の教育環境が出来上がっているかと思っています。小学校での英語教育の義務化等、国際的な視野が重要視されている傾向も顕著です。千葉県はアメリカのウイスコンシン州と姉妹交流関係にあり、各小中学校に英語教師を招致する等の取り組みを行っています。英語教育はもちろん、海外の人との交流も含めた取り組みになっています。実際現場の様子を見ていると気が付くのは子供たちの方が物怖じしないので海外の方達と打ち解ける時間が早いようです。

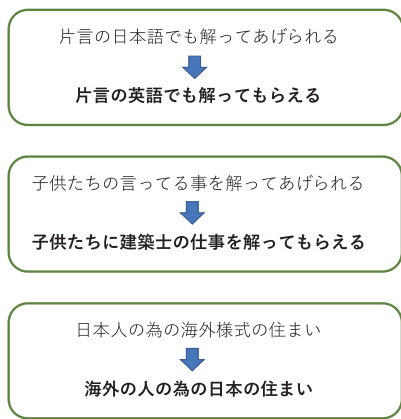
日本で働く海外の人達はどのように？

勿論日本に興味がある方達が多いのですが、仲間と旅行するのは少し違うようで来日した直後の孤独感はあるようです。仕事として来日している訳ですが、良い事も嫌な事も当然あります。そんな時、最初に何かを感じたり、考えたりするのは「一人にいるときの空間(居住空間)」ではないでしょうか。彼らがよりよい日本生活を満喫するためにはどうしたらいいのか。そのためには何が必要かを探るため、子供たちにも参加してもらい、交流会を行いました。また、「居住環境」を題目とし海外からの移住者の方を対象に調査を実施しました。

調査内容は住環境を主旨とし、「名前」「年齢」「在住年数」「自宅(海外)と日本の住まいの違い」「日本の住まいの良いところ、改善して欲しいところ」等としました。調査させて頂いた方達は毎年子供たちと一緒に企画した催し物に参加してくれている方達を中心に、千葉県在住の方でなるべく日本と違う環境(アジア以外)の方を中心に行いました。共同住宅に住んでいる方が多いため、個人住宅の考え方とは違いがあるとは思いますが、例えば半数以上の方が挙げた冬の寒さ、その対策としてのセントラルヒーティングや断熱性能などは参考になるのではないのでしょうか。交流会時にも挙がっていたのですが浴槽不要の意見やウォシュレット等も「ならでは」かと思えます。室内でのんびりできるようにする為に必要なものが優先のようです。

| 居住している共同住宅に関する意見 (抜粋) |
|--|
| <p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 独立したバスルームとトイレと洗面所は良い ・ お湯の温度調整機能が良い ・ 玄関が良い ・ シャワーが良い (水圧、水温調整機能) ・ モニター付きインターホンは良い ・ ウォシュレットは良い |
| <p>改善して欲しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セントラルヒーティングが欲しい ・ 壁が薄い、断熱性能が悪い ・ 部屋、バスルーム、キッチン、トイレ、ベッドが小さい ・ キッチンカウンターのトップスペースがもう少し広く欲しい ・ 収納(クローゼット)が少ない ・ キッチンに窓がない ・ 天井が低い ・ 浴槽は不要 |

視点を変えビジネスとしてはどうでしょうか。夢の住宅から始まり、現在の日本には海外の住宅を参考にした様々な住環境や様式が混在していますが、実際に海外の方が居住した際には、日本人とは少し違った要望があるようです。海外移住者目線で共同住宅を考えるなら「浴槽無しで断熱性能上げる」なんて選択肢もあるかもしれません。誰の為に住まいを考えるかによって取捨選択が変わります。家賃の安さよりも日本での快適な生活を重視している彼らにとっては、就業先にそんな共同住宅があった時、プロジェクト本体と一括契約なんて商用的な話がでるかもしれません。顧客、マーケットの視点を変えるだけでも色々と変化が出てきます。



我々にできる事は返しの発想、行動。少し奥手になりがちですがが頭の中だけではなく「触れたとき」の刺激や新鮮さを子供たちへ伝え、「一緒にやってみる」事かと思えます。将来の建築士たちはきっと海外で大きく飛躍するかと思えます。私達の活動が子供たちにとって「あたりまえ」となるような活動していれば良いかなと考えております。既に民泊等を経営していて海外との橋渡しの様に頑張っている方達もたくさん居ますので訪日客を対象として経営している民泊経営者にも話を伺いました。そこには法の問題等様々なハードルがあることが改めて確認できました。

建築士会青年委員の活動は色々な選択肢がありますが「交流」も大事かと思えます。海外の方も、子供たちも、建築士も孤独を感じる時はあります。そうした時「同郷の知人」「クラスの友達」「士会の仲間」が支えとなる時も多いかと思えます。ただ、それだけではなく上昇志向で触れ合うことがお互いを向上させる要因となります。交流することにより生まれる刺激が様々な形で視点を変えて解決してくれる事もあるはずで。そんな活動をご紹介できればと考えております。



建築士が紡いだ 5つのつながり

— 「としまアンダーハイウェイ・デザインコンペ」を通して —

東京建築士会 青年委員 加藤 雄介



1. はじめに

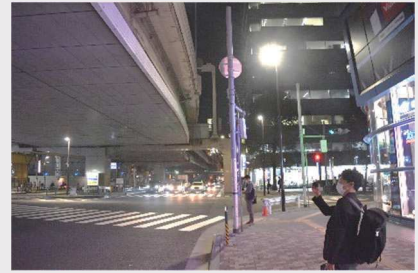
昨年度、東京建築士会は建築士の職能を活かす新たな場面を作り出したいと考え、豊島区をはじめとする関係各機関からの協力を得て、「としまアンダーハイウェイ・デザインコンペ」を企画・実施した。本コンペは東京建築士会が中心となる「としまアンダーハイウェイ・デザインコンペ実行委員会」が主催し、その中で青年委員のメンバーが大きな役割を担った。準備段階から公開二次審査、そしてその後の反響を通じて、いくつもの“つながり”を実感することができた。

2. としまアンダーハイウェイ・デザインコンペ 概要

| | |
|---------|---|
| 応募対象 | 豊島区池袋地域内における「首都高速道路の下部空間」「周辺の既存建築物およびその間の空間」からなる指定エリアのうち1つ、又は複数を選択し、建造物および空間利活用アイデアを自由に提案。用途は問わない。期間限定の仮設建築物なども提案可能。地域の特性を考慮し、日中のみならず夕方から夜間にかけての街の活性化に向けた積極的な提案を募集。 |
| 応募資格・条件 | ①建築士、または建築士を含むグループであること。 ②建築士との連携先数、応募作品数に制限はなし。 ③応募者は、応募作品の著作権保有者であること。 |
| 審査員 | 隈 研吾(審査委員長 / 隈研吾建築都市設計事務所 / 東京大学教授) 塚本 由晴(アトリエ・ワン / 東京工業大学大学院教授) 平賀 達也(株)ランドスケープ・プラス) 近角 真一(東京建築士会 会長 / (株)集工舎建築都市デザイン研究所) |
| 主催 | としまアンダーハイウェイ・デザインコンペ実行委員会(実行委員長:東京建築士会 会長) (一般社団法人 東京建築士会 / 公益社団法人 日本建築士会連合会) |
| 後援 | 国土交通省 / 東京都 / 豊島区 / 一般社団法人 東京都建築士事務所協会 公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 |
| 協賛 | 株式会社 アール・アイ・エー / 株式会社 市浦ハウジング&プランニング 株式会社 NTTファシリティーズ / 株式会社 大林組 / 鹿島建設 株式会社 株式会社 建築資料研究社 日建学院 / 大成建設 株式会社 / 日新工業 株式会社 一般社団法人 日本建築センター / 三井住友建設 株式会社 |
| 協力 | 首都高速道路 株式会社 |
| 経過 | 提出期間 2018年10月9日(火)~2018年10月26日(金)必着 一次審査 2018年11月15日(木)(登録件数165件、応募作品数45点) 公開二次審査 2018年12月20日(木)(一次審査通過5組) |

3. 青年委員の果たした役割

- ・ 現況調査・実測 (1)
- ・ 課題整理・課題エリア設定
- ・ 首都高関係機関との協議・調整
- ・ フライヤー(募集要項)作成 (2)
- ・ 一次審査(非公開)立ち合い (3)
- ・ 公開二次審査運営 (4)



1



2



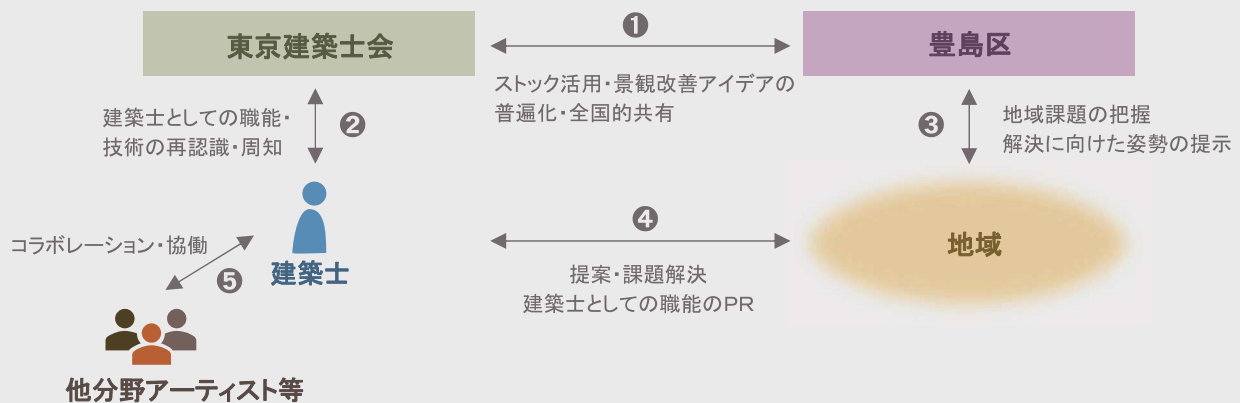
3



4

4. 5つのつながり

今回のコンペの準備・運営を通じて、下記の5つの“つながり”を見出すことができた。



5. コンペの成果

来る 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、東京の都市景観を改善し快適で魅力的な都市空間を創りだしていくことが求められる昨今において、日常生活で普段気に留められていない場所や建造物の新たな生かし方、デザイン力で新しい息吹を吹き込むことが、都市空間の魅力を高める上で重要となる。こうした課題意識を持つ中、建築士と社会全体との接触を拡張することで、建築士が持つ知見と技術をさらに多様な場面で活用してもらうことができないかと考え、そのきっかけとして、豊島区・首都高速道路関係機関・対象エリアの商店街等の協力を得て、本コンペが実現した。今回、本コンペにて建築士の視点で様々なストック活用法が提案され、建築士の多様性と技術力、提案力が広く認知されたとともに、豊島区長からは「所有者である首都高と協議しながら、前向きに実現整備を検討したい」という意向が示された。さらに、コンペの様子が複数の業界紙で報道されたほか、他の自治体からも同様の建築士会との協同コンペへの関心や開催意向も耳にする。本コンペを通して、見出すことのできた“5つのつながり”をより有機的に育むことにより、広く普遍的な取り組みとして波及・展開できるものと確信する。

建築士会として私たちにできる事

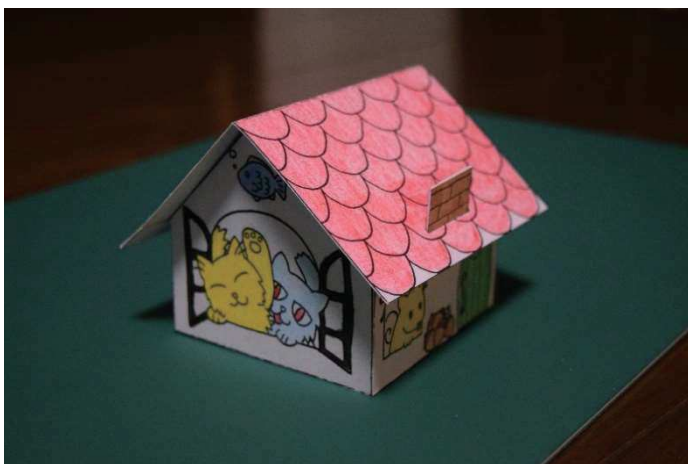
群馬県 川端 修幸



群馬建築士会 伊勢崎支部 川端ともうします。

はじめに、伊勢崎支部の活動は、商工会議所青年部などのイベントなどに参加させていただいての活動がメインとなっています。

主な活動内容として、子供達にペーパークラフト、缶バッジの制作を体験して頂いています。



ワークショップイベントで作る「えんとつのある家」比較的短時間で完成できることと、小さなお子さんでも楽しく作ることができます。この他に缶バッジと地域のキャラクターのペーパークラフトがあります。

伊勢崎市内にある商業施設のイベントでの活動の様子です。沢山の子供達に参加して頂きました。こういう時の子供の顔は、真剣そのものですね。



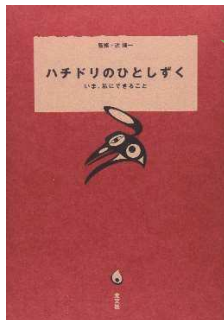
と、このような地域での活動をしています。

その中で、建築士会としてわたしたちになにができるのか？を考えてみました。



社会に対して我々ができることとは？
一体何があるのかなあ～～？う～～ん…
そうだ！！あるじゃないか！

皆さんは「ハチドリのひとしずく」という本を知っていますか？森が火事になりその火を消すために、ハチドリが水を小さな口ばしに含んで火を消そうとするはなしです。同じ森にすむ動物達はその姿を見てこう言います。『そんなことをして一体何になるんだ！？』とハチドリは言います。『私は、私ができることをしているだけ』と



～ハチドリのひとしずく～
これってまさにボランティア精神そのものではないでしょうか？
どんな些細な事でもコツコツやればいずれ大きな力になる！

～皆さんも記憶にあると思います～

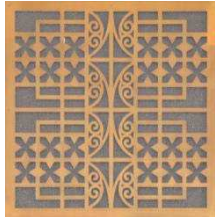
そう…それは震災です。
右の写真は 2011 年 3 月 11 日に発生した 東北地方太平洋沖地震による被害の写真です。その他にも、2016 年 4 月 14 日に発生した熊本地震。2018 年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震がありました。



私たちが出来る事を、ただそれだけをやってみました。普段行っているイベントで何ができるのか？…それは、被災地へのほんの小さな募金活動。



伊勢崎には、「伊勢崎もんじゃ」という B級グルメがあります。イチゴシロップが入ったもんじゃです。そのもんじゃをイメージしたキャラクター「もじゃろー」のペーパークラフトを 100 円の寄付でお譲りしてみました。さて、一体どれだけの寄付金が集まるでしょうか？
※もじゃろーは伊勢崎商工会議所青年部の 公認キャラクターです、無断での使用は禁止となっておりますのでご注意ください。
どんなに可愛くても…m(_ _)m



山梨県庁別館「復原秘話」講座 ～まもり・つなぎ・つたえる～



山梨県建築士会甲府支部 高相 正樹

【きっかけ】

昭和5年(1930)に建てられ築88年が経過した山梨県庁別館。県の有形文化財に指定された貴重な近代建築の保存活用を図るために、平成26年度に耐震補強と復原修復を伴う改修工事が行われた。改修に合わせて山梨にゆかりのある人物を紹介する「山梨近代人物館」が同庁舎内に整備され、復原された歴史的・文化的価値の高い部屋と併せて一般に公開されている。

設計と工事監理に携わったことで建築士仲間に別館を案内していたところ、人物館スタッフから声を掛けられて定期開催されている「山梨近代人物学講座」で工事の内容を解説してほしいと依頼があった。県庁別館の歴史的な価値や魅力は多くの方に知ってもらいたいと思い、講座にて案内人を務めることにした。

【講座の内容】

はじめに、歴史的根拠が確かだ改造の痕跡をもとに従前の姿に戻すことを指す「復原」の意義、永く使い続けてゆくための手法、文化財修復に必要なプロセスなどの設計方針の説明を行い、続いて耐震補強・省エネ・バリアフリーなど現代の公共施設として求められる性能・水準に対して、創建時の姿を保存しながらどのように改修したかを、創建時～改修前～工事中～改修後の写真を用いて一般の方にもわかりやすいように解説した。その後、工事中のエピソードを紹介しながら館内を散策した。

設計に際しての秘話や工事での出来事など、最前線で携わった者として多くの関係者の想いと共に丁寧に紹介した。



外観改修後



創建時



改修前



創建時



旧知事室改修後



復原した正庁での講座の様子





甲府工業高校建築科2年生との館内散策



生徒たちの意欲的なまなざし



生徒と青年建築士との交流座談会



青年建築士と未来の建築士との集合写真

【講座による効果】

レトロな建築に興味のある方や事業に関心のある建築関係者など、多数の来場者を迎えて講座は好評を得ることができた。映画やドラマの撮影で使われることもある県庁別館は多くの方にとって興味を持つ素材であり、講座によって「県民の宝」であると再認識できた。この歴史的建築物が先人たちに「まもられて」きたことに敬意を表し、その想いを私たち青年建築士が「つなぐ」べきと考えた。

【若者への伝承】

山梨建築士会甲府支部青年部の主催で、県立甲府工業高校建築科の生徒へ向けた「復原秘話」講座と館内散策、そして生徒と青年建築士との交流座談会を実施した。

講座では歴史的価値の高いものを大切に作る「心」を伝えた。散策では仕上げや装飾のひとつひとつに込められた「想い」を伝えた。座談会では様々な職種で構成された建築士たちの仕事や地域貢献を紹介して「誇り」を伝えた。「つたえる」ことで建築士をより身近に感じてもらえただろう。

私たち青年建築士には、先人からの大切な文化を守り、未来につなぎ、次の世代に伝える役目がある。これからの時代を担う未来の建築士たちが描く社会がより良い社会になることを信じて…。

【今後の展開】

交流座談会の後、担当教諭から毎年開催ほしいとの要請があった。また生徒へのアンケートからは刺激を受けた様子や意識向上が確認できた。机上だけでは学べない生きた建築の教材を目にしながら、携わった建築士の生の声を聴くことで、生徒たちは目標が明確になるであろう。そのために私たちは、責任と誇りを胸に「地域と建築士のより良い」を目指し、「まもり・つなぎ・つたえる」活動を続けていきたい。

新たな横浜の一面にふれるため

～フォトログ大会開催に向けて～

神奈川県建築士会 太田真理子



近代的な建築物と古き良き歴史ある建築物が融合する街、横浜。

フォトロゲイニングとは・・・

「**地図**をもとに、**時間内**にチェックポイントを回り、**得点を集める**スポーツです。

チームごとに作戦を立て、チェックポイントでは見本と同じ**写真を撮影**します。

チェックポイントに設定された**数字がそのまま得点**となり、より合格点の高いチームが上位です。」

横浜は、超高層ビルが立ち並ぶ「みなとみらい地区」がある一方、「横浜三塔」と呼ばれる、キング（神奈川県庁本庁舎）、クイーン（横浜税関本関庁舎）、ジャック（横浜市開港記念会館）のある「関内地区」が隣接している。

平成 30 年の横浜市の観光集客人員は約 3420 万人で、そのうち「みなとみらい・桜木町」エリアは約 1170 万人。隣接する「山下・関内・伊勢佐木町」エリアで約 419 万人となっている。

これらの数字からもわかるように、横浜観光＝みなとみらいのイメージが強いと感じられる。しかしながら、残念なことに、みなとみらいに隣接する関内地区に歴史的な建築物が多くあることを知っている人は少ない。

これらの古き良き建築物を多くの人に知ってもらうためにフォトログ大会を企画開催しようと考えた。

フォトログ大会には、公認大会と登録大会があり、今回

は費用の面から登録大会の開催を目指す。

登録大会とは・・・

- ・フォトログ愛好家による大会
- ・主催者（個人）による監修者取得が必要
- ・募集規模などに制約あり

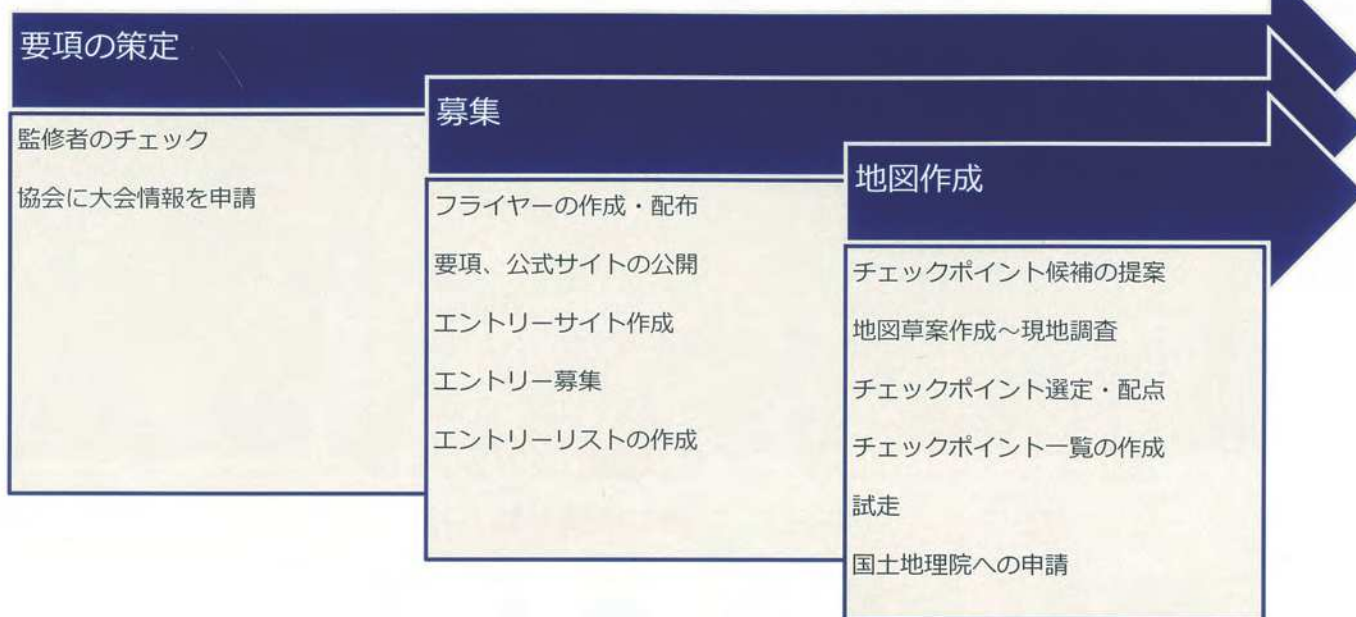
2 番目の「監修者資格」を取得するためには、

- ・大会参加 3 回以上
- ・運営者講習を受講
- ・監修者登録

が必要となる。

今後、フォトログ大会開催に向けての詳細な準備を進めていくことになるが、一般的なフォトログ大会と異なる部分は、建築士会主催のもとで開催するため、チェックポイントには建築物のみを使用すること。チェックポイント一覧の表には、使用する建築物の簡単な説明文も入れる予定である。

▶▶▶今後のスケジュール



「フォトロゲイニング運営の手引き」より 一般社団法人 日本フォトロゲイニング協会

フォトログ大会を開催することが、今はまだあまり知られていない建築物に注目を集めることの手助けとなり、それが「新たな横浜の一面」を見出すことに繋がるだろう。

フォトログの楽しみかた

1. 地図をもらっ



フォトログは「地図をもとに、時間内にチェックポイントの得点を集めるスポーツ」です。チームで作戦を立て、見本と同じ写真を撮れば得点ゲット。地図の数字がそのまま得点となり、合計点の高いチームが上位です。

2. 作戦タイム



どこをどう回る？
どの順番で？
時間内に全部は回りきれないようになってきているから、いかに「効率よく」回るかが作戦のカギ

近いけど登りがあるよ

スタート・フィニッシュ

数字 = 得点

ソフトクリーム屋さんだっ

チェックポイント

でも景色良そう

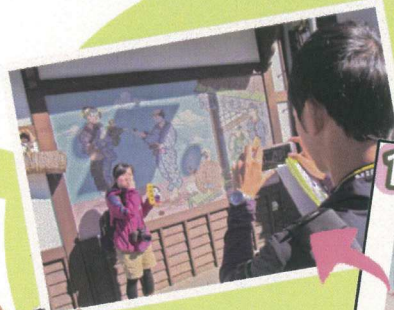
食べたい!

3. チェックポイントをめざ



チームメンバーは、いつも一緒に行動

4. 写真を撮影



チェックポイントでは、見本と同じ写真を撮影📷カメラマン以外の全員でポーズ!

10点

温泉 まんじゅう

こだわりの自家製餡は、甘さひかえめでなめらか。おやつにいかが？
タイル絵の前で、お顔をほおぼるポーズ

5. フィニッシュ

公式時計を撮影!



遅刻は減点

6. 写真チェック

回ったルートを記入して、写真チェック



おつかれさまでした!

フォトログ PHOTO ROGAINING

「一戸建ての住宅」を超えた経済が循環する新しいまちをつくる

栃木県 渡邊 貴明



それは、かながわ箱根大会から始まった

2年前の関ブロである。大会テーマは「継(つなぐ)」で、大会要旨によると「青年建築士が未来に向かって突き進むために、先人たちの意思を「継(つなぐ)」、私たちが何をつくり「継(つないで)」いくのかを考えていく必要があるでしょう」とある。第二分科会のテーマは「2050年まで、住み継ぐ住まい」で、『30年後の人々のための住まい』の提案を募り、建築家である山本理顕氏から講評を得るといったものだった。そしてその講評をもとに、参加建築士らが意見交換を行う。入会初年だった私は、大会テーマと第二分科会の趣旨に賛同し、提案者として参加した。テーマは、栃木県鹿沼市の商店街を職住混合の都市空間として再生する、というものである^(図1)。

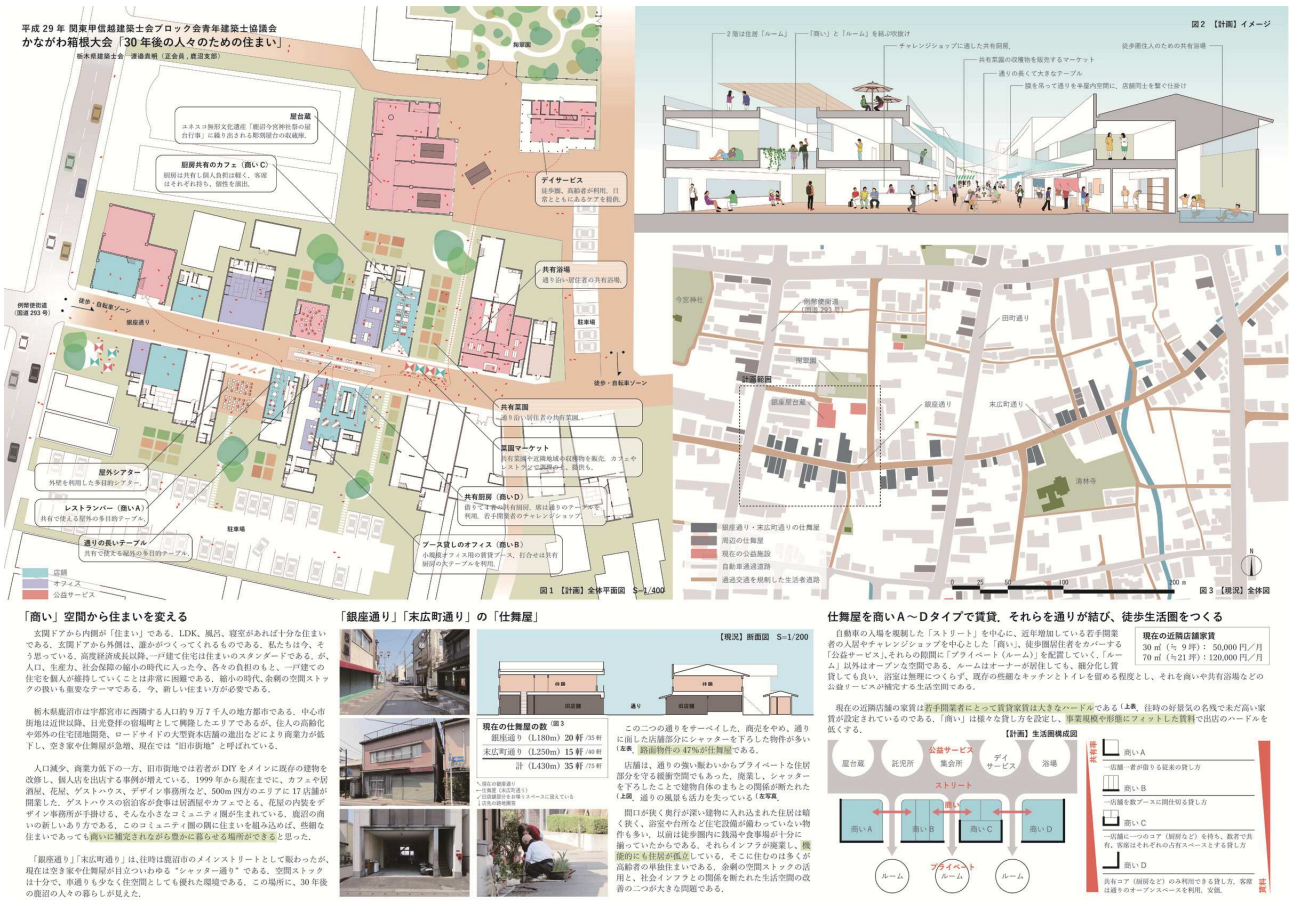


図1 『30年後の人々のための住まい』 渡邊貴明案

山本理顕氏の講評

山本氏の総評は次の通りである。「住むとはどういうことか」というと、生産はしない。消費だけ。子供を育てること、ご飯を食べること、洗濯すること、すべて消費。消費の仕組みをいくら変えても、消費と生産の仕組みを一体的に、循環する仕組みを考えなければ、「住宅を超えられない」。この大会において、この山本氏の講評は非常に重要である。一戸建ての住宅を集めた住宅地をいくらつくっても、これからはそこに持続可能なコミュニティは期待できない。住宅は、消費空間である。その消費を支える生産をどうするのか。生産とは経済である。経済が循環する新しい住宅地を構想せよ、それが30年後の住まいのヒントになる、というものだった。一戸建ての住宅が住まいのスタンダードであると思ってきた私たちにとって、目の覚めるような言葉だった。

Local Republic Award 2018

この関ブロの翌年、山本理顕氏が審査委員長を務める Local Republic Award 2018 が開催された。「1住宅 = 1家族」に変わる「お互いに助け合う」新しい住み方の実例を募集したコンペである。私は、先の提案である鹿沼市の商店街再生提案を基に、市内でカフェを営む風間教司氏（同市のまちづくりのキーパーソンである）、小山高専建築学科の永峰麻衣子助教（同市の若手開業と空き家の活用状況についての研究者である）と共に、市内で増加する空き家を活用した若者の開業事例をサーベイし、それを『路地からはじまる小さな経済』^(図2)としてまとめアワードに応募した。提案は「未来の住み方のヒントになる先進事例」として最優秀賞を受賞した。



図2 Local Republic Award 2018 応募案（渡邊貴明、風間教司、永峰麻衣子）

審査委員の一人であるジョン・ムーア氏は「まちづくりは7世代先を見据えよ」と言う。私たちが今日つくっている建築物が7世代先の社会に響くか、と問う。2年前の大会テーマであった「継」に強く関係する問題である。

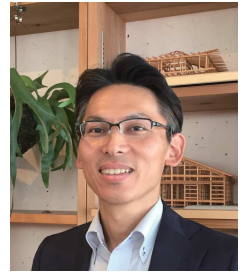
設計事務所をまちに開く

アワード受賞に背中を押され、渡邊事務所の入居する建物では新たなプロジェクトに挑戦している。事務所隣にシェアキッチンを増設し、食堂、カフェバー、物販、設計事務所が複合し、協働で運営する新しい商い空間である^(図3)。これまで閉じられていた設計事務所をまちに開く試みでもある。そして、未来に描くべき一戸建ての住宅を超えた、経済を伴った住空間を模索する運動でもある。すべては、2年前の関ブロ、第二分科会のテーマであった「30年後の住まい」というキーワードから誘発された取り組みである。



図3 シェアキッチンを増設中の渡邊事務所

「くむんだー」で「やま」と「まち」をつなぐんだー 埼玉県産材を使った木組みのジャングルジムワークショップ



埼玉建築士会 畔上 順平

なんで分かってくれないの？

建築士の社会的役割のひとつとして、「社会の発展を目指した指導者」としての役割があります。

これまで埼玉県の風土・地域特性を活かした地域発展の観点から、いわゆる川上と川下（西部山林エリアと東部住宅エリア）を繋ぎ、県内林業の活性化、県産材の利用促進、木造技術の維持向上を目指した様々な活動を行ってきました。

しかしそこには一般消費者との意識レベルの乖離や画一的な伝達手段に頼った表現方法によって、大切な事が伝えられないジレンマがありました。

いかに多くの消費者に知っていただけるのか、関心を持っていただくにはどうしたらいいのか、モヤモヤしながら手段を模索している最中に始まったのが埼玉建築士会のメンバーも所属する木の家ネット・埼玉で取り組みはじめた木組みのジャングルジム「くむんだー」でした。

埼玉県は木材生産と消費の宝庫！

埼玉県は、何でもあるけど、大きな特徴がなく、何もないイメージだと言われますが、実は今回の舞台、秩父を中心に、優良な木材産地のひとつでもあります。

関東平野が広がり、山が無く、田畑や宅地が多いイメージの埼玉県ですが、県土面積の約3割が森林であり、江戸時代には江戸で使われる多くの材木が埼玉県から運ばれ利用されていました。

現在では年間約8万㎡が伐採され供給されていますが、驚く事に、その3.5倍にあたる29万㎡の杉・桧が成長し増加している現状があります。これは一般木造住宅の6100戸分に当たる量です。しかも利用可能な林齢約50年生以上の人工林が約8割もあります。

また、埼玉県の人口は現在約732万人で全国代5位の人口を抱える大所帯であり、身近な大きなマーケットでもあります。多くの県民に埼玉県産材の魅力を知っていただき、使っていただくことが、森林の少子高齢化への歯止めにもなり、健全な森林循環を促すことにも繋がるとは、言うまでもない事実であります。

この巨大なマーケットに向けて効果的な発信をするためにこのプロジェクトがはじまりました。

くむんだーって何？

「くむんだー」は木造伝統的構法を応用し、柱と貫と楔だけで組み立てた木製玩具（ジャングルジム）の愛称です。スケールは一般住宅の約1/2のサイズでつくられています。材料は埼玉県西川材の杉芯去材を利用しています。

住宅の建て方同様、柱を何本か建て、その間に縦方向、横方向から貫を挿していきながら、立体の格子を作っていきます。最初はグラグラではありますが、何本もの貫を通し、楔で固める事で、子供達がよじ登ってもビクともしない木製ジャングルジムが完成します。



「くむんだー」には色々な効果があります！

I 難しい話を楽しく学ぶ（大人）

今までパネル展示や講演会でしか伝えられなかった、埼玉県の山や林業の状況を、遊びを通じて伝えられるようになりました。子供たちが「トントン・カンカン」とやっている横で、我が子が夢中になっている姿を微笑ましく見守り、シャッターを切る保護者の皆さんには、

- ① 埼玉県は優良な木材産地であること
- ② 埼玉県の山にはすぐに使える材料がたくさんあること
- ③ 埼玉県の木はいい香りで触りごちががいいこと
- ④ 埼玉県の木を使う事は子どもの成長環境にもいいこと
- ⑤ くむんだーは清水寺の舞台と同じつくり方であること
- ⑥ 伝統的な構法は環境にも優しく次世代型であること

の6つの事をお伝えします。まさに目の前でつくられているジャングルジムが理想の家づくりに見えてくる瞬間にもなります。



II ものづくりの楽しさを学ぶ (小人)

「くむんだー」の対象者は主に小学生以下の子供たちです。最初は注意散漫な子供達も、少し経つと夢中になって真剣に木のジャングルジムを組み立てはじめます。自分たちの作業によって、徐々に固まりはめじるジャングルジムを完成させたいと思う心理が働きます。まさにものづくりの醍醐味です。

このワークショップを通じて、子どもたちには、大きく二つの事を学んで貰っています。

① ものづくりの魅力・建築士への可能性

以前は小学生の将来なりたい仕事ランキングで上位に入っていた「大工」という職が、現在ではランキング外になっているようです。実際に自らの手でものをつくる喜びや楽しさを通して、将来の職人や建築士が誕生することも期待しています。

② 地道な共同作業よっての達成感

全部で400箇所弱ある楔を打ち込むには相当な時間と体力を使います。短い時間の中で、一人では到底成し遂



げられない作業を仲間と協力して行う事で、完成させます。最初はグラグラだったジャングルジムがいつの間にか、みんなでも乗っても揺れない強固なジャングルジムへと変化する事も実感する事ができます。小さな積み重ねが大きな達成に繋がる事を実感してもらいます。

依頼が増加！地域の価値を上げる

近年では「くむんだー」の噂が広がり、埼玉県を中心に近郊でのイベント参加も増えてきました。イベントへの参加を目的とすることなく、県産材と伝統的木造建築の魅力を伝え、地域の価値を上げる活動に繋がっています。



くむんだー協会も発足！

くむんだーは誰にでもつくれるという大きな特徴があります。伝統的構法は日本の大工さん達が伝えてきたオープンシステムです。良いものは皆さんに知っていただき、普及させる事が最も大切なことだと思っています。全国の山の状況はほぼ同じはずです。業界で議論して評論しているだけでなく、外に出て消費者に訴えかけていくことが求められています。

ただ、この仕組みを自らの商売の為だけに利用しようとする業界関係者も多いことから、近年、全国「くむんだー」木のジャングルジム協会が発足し、現在では健全に「やま」と「まち」を繋ぐ活動に発展しています。

建築士会・青年建築士の役割

現在、埼玉建築士会青年委員会では、県内の建築団体と連携しながらこのプロジェクトを進めております。

建築士会は建築団体として、多くの実績や信用のある全国組織です。影響力もあるこの団体でこそ、積極的に普及活動をするべきだと思っています。家づくりについては、子育て世代の若い人たちを中心に伝えていく必要があります。比較的家づくりを考える世代に近い、我々青年建築士の役割として、「やま」と「まち」をつなぎ地域の価値を上げる活動は全国共通のテーマだと思います。是非「くむんだー」と共にこの想いを広めてください。

第2分科会(開催県企画)
「これからの建築材料」

平成31年度 関プロ青年協 埼玉大会（大会テーマ：建築よく）

【第2分科会：「これからの建築材料」／開催県企画】

実施要項

1) 趣旨

かつて秩父は養蚕により財を成しましたが、洋服文化や化学繊維の登場などで養蚕は衰退しました。養蚕の代わりに秩父を発展させたのが、武甲山の石灰石です。また武甲山の石灰石は、都心の高度成長を支えました。しかし、採掘により武甲山の姿は変貌し、現在では景観改善の活動が行われています。

時代が移り変わり、秩父の産業は変遷しました。限りある資源の中で、建築材料（埼玉県産材等）の知識を深める事で、持続可能な社会について考える企画です。その事により、これからの建築、そして建築士の役割について、さらによく考える機会になればと考えます。

建築材料として埼玉にゆかりのあるセメント（秩父）、木材（西川材、秩父材）、レンガ（深谷）を選びました。これらは各都県でも採用される材料ですので、この第2分科会で得た知識、経験を持ちかえり、各都県で活かして頂けたらと思います。

2) 開催方法

司会・講師進行の元、3つのテーマに沿って3グループ（1グループ約50人×3＝計150人）に分かれ、講演・ディスカッションを行います。

- ・テーマはセメント、レンガ、木材とします。
- ・どのグループに参加するか大会申込時に第2希望まで希望をとり、希望者が多い場合は抽選とすることになります。
- ・講師が30分ほど講演し、講演の内容を基に、グループで30分ほどディスカッションします。
- ・ディスカッションは各グループの中から各都県代表者10名で行います。申込時に第2分科会の参加者から事前に大会参加申込の際に、第2分科会参加者へ3つのテーマそれぞれ各都県1名（各都県で計3名）を選出してもらい、名簿を提出してもらいます。当日、参加希望者がいれば参加可能とします。30分のディスカッションの中で、参加者からの質疑応答の時間（5分）を設けます。
- ・各テーマの代表者にどのようなディスカッションしたのか、発表してもらいます。
- ・最後10分で質疑応答、まとめを行います。
- ・講演、ディスカッション開始後の参加者の移動は自由とします。

3) 講師・各テーマ内容紹介

—「セメント」講師—

太平洋セメント株式会社 セメント事業本部営業部 技術グループ サブリーダー
福田 康昭（ふくだ やすあき）氏

埼玉県深谷市出身

平成5年 秩父セメント株式会社（現、太平洋セメント株式会社）入社
技術士（建設部門）（太平洋技術士会 理事 企画委員長）

講演内容

「資源循環型社会や安心・安全な社会の構築に貢献するセメント産業」

参加者へメッセージ

セメントは、明治時代に欧米からわが国に導入されて以来、経済発展や、私たちの安全・安心な生活を支えるための資材として活用されています。今回、性能や品質面をはじめ、省エネルギー、廃棄物・副産物の再資源化技術などをご紹介します。

—「木材」講師—

木材ライター

赤堀 楠雄（あかほり くすお）氏

昭和38年生まれ 東京都出身 長野県上田市在住

講演内容

「木を育て、利用して、森を守る」

参加者へメッセージ

例えば「間伐材」とは、どんな木だと思われますか？ 木に対するみなさんのイメージや期待をうかがいながら、林業や木材生産・加工・流通の実情をお話しして、お互いを良く知る機会にできればと思います。

—「レンガ」講師—

一級建築士 埼玉建築士会 さいたま南支部所属

竹内 宣行（たけうちよしゆき）氏

昭和47年さいたま市（旧浦和市）生まれ

千葉大学工学部建築学科卒

講演内容

紙芝居「埼玉煉瓦ものがたり～過去から未来へ～」

参加者へメッセージ

埼玉と煉瓦は、歴史的に切っても切れない深いつながりがあります。へえ～といったエピソードや、これからの煉瓦の展望について、みなさんとディスカッションができればうれしいです。

第3分科会(各都県代表者ワークショップ)
クロスロードゲーム(CRG)でワークショップ

平成31年度 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 埼玉大会
大会テーマ：建築よく～埼玉秩父に集う未来をつくる青年建築士～
第3分科会：クロスロードゲーム（CRG）でワークショップ

1. 趣旨

日本は、世界有数の地震国であり、いつどこで大地震が発生しても不思議ではありません。大地震が発生した場合、家屋の倒壊や津波、火災、山・がけ崩れなどにより、多くの人々が被災地での生活を強いられることとなります。

クロスロードとは、阪神・淡路大震災で災害対応にあたった神戸市職員へのインタビュー内容から彼らが実際に経験したジレンマの事例をカードにして防災啓発用にゲーム化し、プレイヤーがそれらのジレンマを自分の問題として考えることで災害対応を考えるきっかけとする「防災ゲーム」です。実際の被災地では正解がない難問が流出します。その時々で意見の対立が起きてしましますが、あらかじめゲームを通じて多様な意見があることを知っておけば、その時、その場で、みんなで正解をつくり出す力を養えます。

建築士は応急危険度判定等により被災地で活動することがあります。CRGで災害について考え、知見を深め、有事に備えましょう。

2. プログラム

6月21日（金）14：45～16：25（100分）

14：45～14：50 趣旨説明

14：50～15：00 CRGの説明

15：00～16：15 実施

16：15～16：25 講評

3. 会場

ナチュラルファームシティ農園ホテル1F 食事処楓

4. 講師

防災塾・だるま

5. 実施方法

① グループ分け

1グループ（4～6人）×10＝40～60人

※各都県、できるだけ4名以上の参加をお願いします

② 役割分担

ファシリテーター、グループリーダー、書記

③ CRGの実践

④ グループ発表

6. 講師紹介

防災塾・だるま

「防災塾・だるま」は、神奈川大学工学部荏本孝久（えのもと たかひさ）教授の元で、主に地域防災の活動を研究し、防災に関する講座や講演会を企画・運営するグループです。

白田克雄（しろた かつお）

1944年横浜市生まれ。防災塾・だるま会員

横浜市南区六ツ川第一自治会相談役、横浜市防災ライセンス資機材取扱指導員

■略歴

某石油製品販売会社を定年退職後、ヘルパー2級の資格を取り、福祉・介護業界に携わりながら、長年に亘り、自治会運営に関わる。横浜市南区六ツ川地区連合自治会防災部長として、連合内に自主防災組織「チーム防災六ツ川」を立ち上げ、年間事業として「防災ウォークラリー」などの各種の防災活動を展開。また指定された避難所運営の横浜市立南中学校地域防災拠点運営委員会と事務局長として従前のやり方の運営改革に取り組んだ。現在各地でワークショップとして防災シミュレーションゲーム等を依頼され実施している。

中村 俊光（なかむら としみつ）

1954年熊本県天草市生まれ。防災塾・だるま会員。日本防災士会「横浜支部」会員。

横浜市旭区希望が丘東地区連合自治会役員。現在マンション管理組合理事長。

■略歴

某電機メーカーを早期退職後、防災の必要性を感じ、2006年4月日本防災士機構の「防災士」資格取得。同年7月株式会社ナカツ防災企画を創業。

横浜市旭区「区民会議」役員、同「防災分科会」副委員長、神奈川大学生涯学習「防災まちづくりコーディネーター養成講座」運営委員長、横浜市防災ライセンス「資機材取扱指導員」、横浜市水道局「水のマイスター」等々を実践。神奈川県建築士会女性委員会との出合いを機に他地域の建築士会や他区自治会からの依頼を受けて、防災シミュレーションゲーム「HUG・CRG・DIG」を実施している。

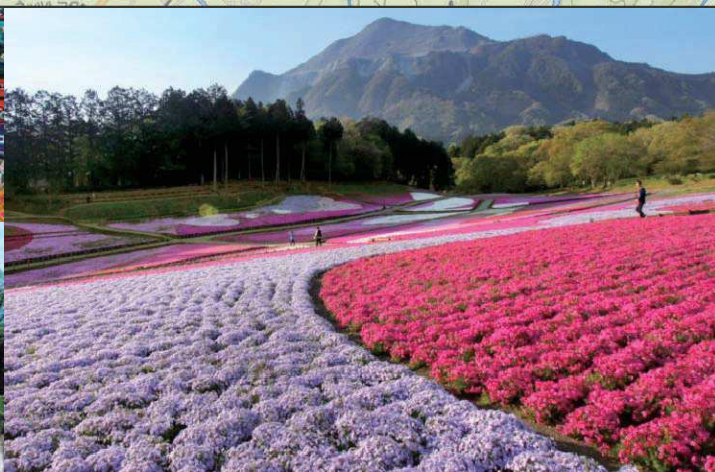
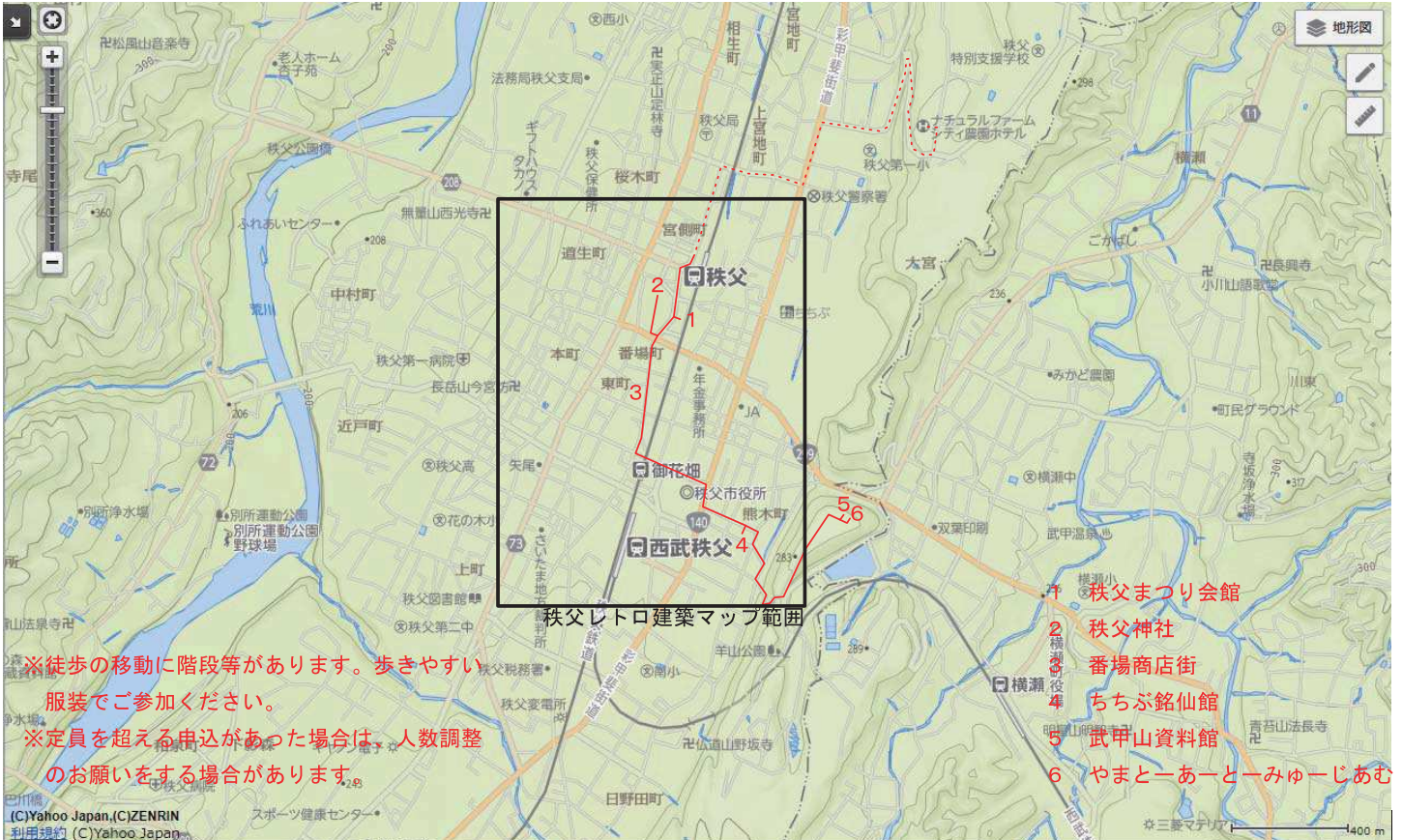
エクスカージョン(見学会)

- ①市内散策:レトロとノスタルジーを求めて
 - ②長瀬散策:舟下りと山登り
-

秩父大会エクスカーション①（市内散策：レトロとノスタルジーを求めて）

日時 6月22日（土）

| 時間 | 場所 | 移動手段 | 距離 | 備考 |
|-------------|--|------|-------|------------|
| 8:30-8:45 | 農園ホテルロビー集合 | | | |
| 8:45-9:00 | 秩父駅へ移動 | バス | 1800m | |
| 9:00-9:10 | 秩父まつり会館へ移動・見学 | 徒歩 | 400m | |
| 9:10-10:00 | 秩父まつり会館見学 | | | 絹の道③ |
| 10:00-10:30 | 秩父神社へ移動・正式参拝・集合写真（デ-は後に配布します） | 徒歩 | 100m | 絹の道②・戦国の道③ |
| 10:30-11:30 | （自由行動）レトロ建築物群見学 | | | |
| 11:30-12:30 | 食事（代金込み予約済） 昼食は名物 秩父そば定食です。 場所：そばの杜 秩父市本町3-1(2F) Tel.0494-26-5335 | | | |
| 12:30-13:45 | （自由行動） | | | |
| 13:45-14:00 | 秩父市役所協歴史伝承館集合 | 徒歩 | 400m | |
| 14:00-14:15 | ちちぶ銘仙館へ移動 | 徒歩 | 400m | |
| 14:15-14:45 | ちちぶ銘仙館見学 | | | 絹の道① |
| 14:45-15:00 | 羊山公園内へ移動 | 徒歩 | 500m | |
| 15:00-16:00 | 集合写真（デ-は後に配布します）・自由行動（武甲山資料館、やまとーあーとみゅーじあむ入館料含まず） | | | セメントの道② |
| 16:00-16:15 | 農園ホテルへ移動 | バス | 1800m | |



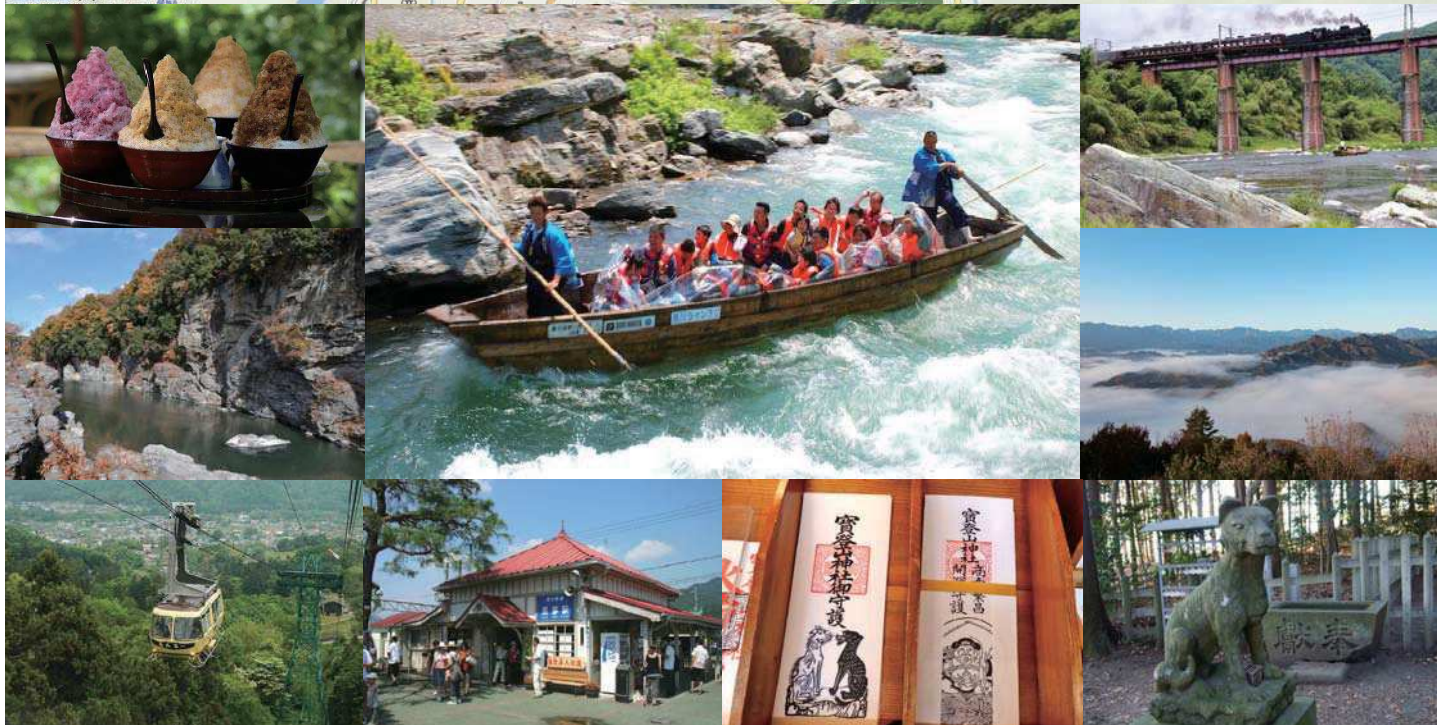
秩父大会エクスカージョン②（長瀬散策：舟下りと山登り）

日時 6月22日（土）

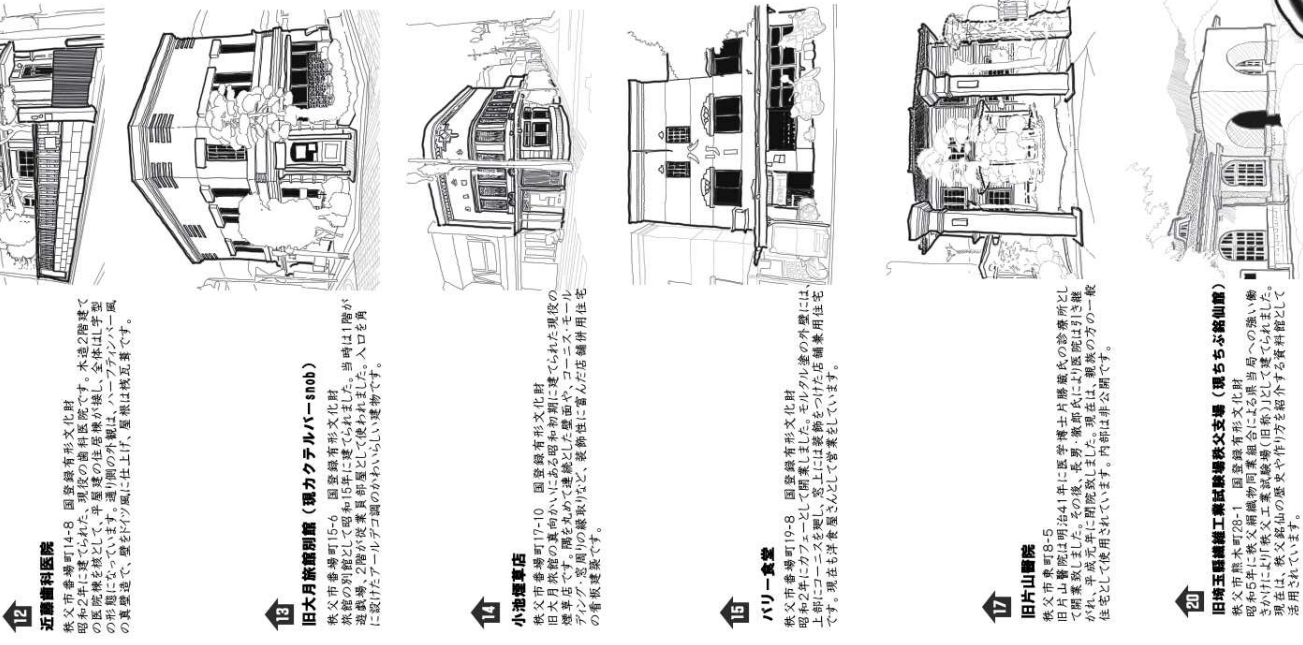
| 時間 | 場所 | 移動手段 | 距離 | 備考 |
|-------------|--|-----------|-------|-------|
| 8:30-8:45 | 農園ホテルロビー集合 | | | |
| 8:45-9:15 | 長瀬駅へ移動 | バス | 12km | |
| 9:15-9:30 | 長瀬ライン下り案内所へ移動 | 徒歩 | 100m | |
| 9:30-11:00 | 出発点（親花橋）へ移動、長瀬まで舟下り・集合写真（デ-タは後に配布します） | マイカバス～舟 | 往復6km | 筏の道② |
| 11:00-12:30 | （自由行動）長瀬石畳・自然の博物館・近隣散策 | | | 鉱物の道① |
| 12:30-13:30 | 食事（代金込み予約済かき氷代は含まず） 昼食は秩父食材をふんだんに使った和定食です。 場所：有隣倶楽部 長瀬町長瀬704 Tel.0494-66-0070 | | | |
| 13:30-14:00 | （自由行動） | | | |
| 14:00-14:15 | 宝登山神社へ集合 | 徒歩 | 400m | |
| 14:15-15:15 | 宝登山神社へ正式参拝・集合写真（デ-タは後に配布します）、自由行動※ （※宝登山ロープウェイ、奥宮参拝等） | 徒歩・ロープウェイ | | 狼の道② |
| 15:15-16:15 | 農園ホテルへ移動 | バス | 12km | |

※ボートへの乗船や徒歩の移動があります。動きやすい服装でご参加ください。
※定員を超える申込があった場合は、人数調整のお願いをすることがあります。

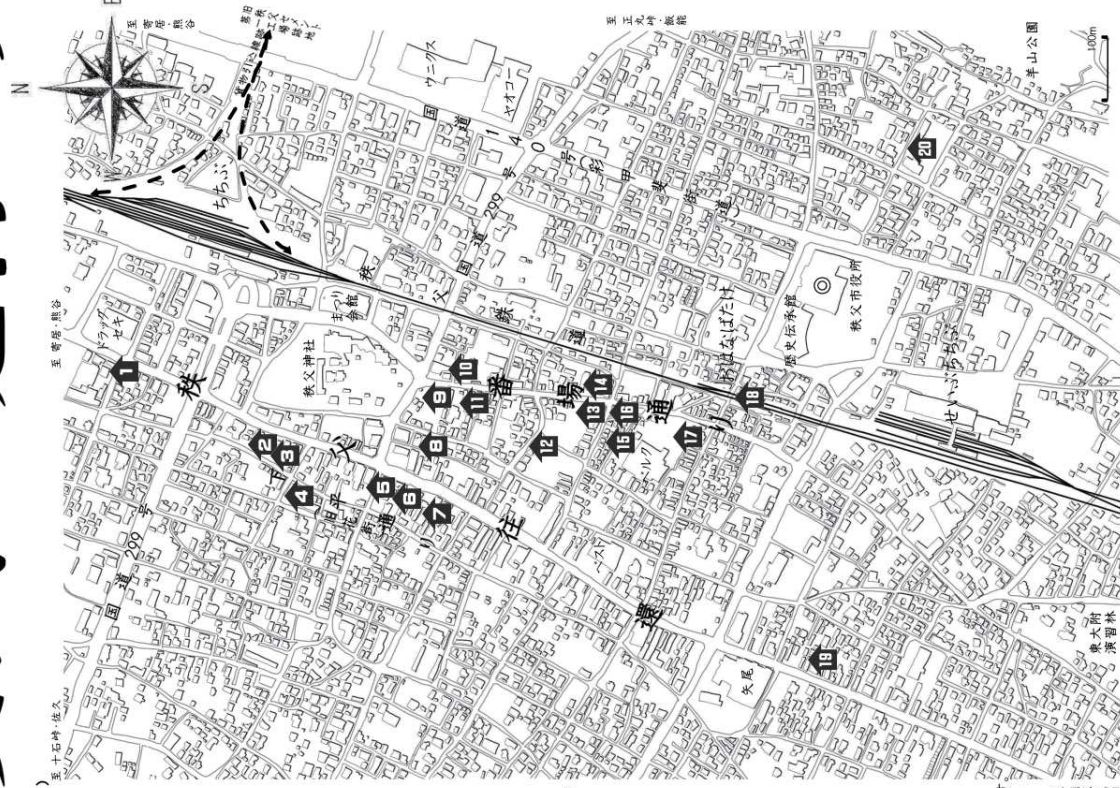
- 1 長瀬ライン下り案内場
- 2 親花橋（ライン下りAコーススタート）
- 3 長瀬玉淀自然公園（ライン下りAコースゴール）
- 4 長瀬石畳
- 5 埼玉県立自然の博物館
- 6 阿左美冷蔵宝登山店（天然かき氷店）
- 7 ロープウェイ山麓駅
- 8 ロープウェイ山頂駅
- 9 宝登山神社奥宮
- 10 宝登山神社
- 11 荒川橋梁



秩父レトロ建物マップ



- 12 近藤精利医館
秩父市番場町14-8 国登録有形文化財
秩父市番場町15-6 国登録有形文化財
秩父市番場町17-10 国登録有形文化財
13 旧大月旅館前館 (現カクテラバーanob)
秩父市番場町19-8 国登録有形文化財
14 小浜製菓店
15 ハリイ食堂
16 旧片山書院
17 旧城玉廻繕工工試験場跡 秩父工場 (現ちちぶ館山館)

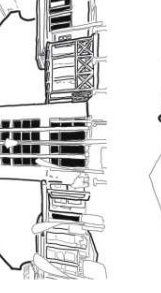


- 18 旧秩父銀行
19 秩父教会主堂
20 旧城玉廻繕工工試験場跡 秩父工場 (現ちちぶ館山館)
21 新中津原商店
22 旧神前商店
23 旧中津原商店
24 旧中津原商店
25 旧中津原商店
26 旧中津原商店
27 秩父市本町2-1 国登録有形文化財
28 秩父市本町3-1 国登録有形文化財
29 秩父市本町3-1 国登録有形文化財
30 秩父市本町3-1 国登録有形文化財
31 秩父市本町3-1 国登録有形文化財

秩父市本町3-1 国登録有形文化財 昭和5年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治末(主層)
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 天保年間(表門)・明治末(主層)
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治21年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治26年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治37年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治40年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治44年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治46年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治47年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治48年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治49年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治50年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治51年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治52年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治53年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治54年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治55年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治56年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治57年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治58年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治59年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治60年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治61年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治62年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治63年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治64年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治65年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治66年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治67年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治68年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治69年
秩父市本町3-1 国登録有形文化財 明治70年

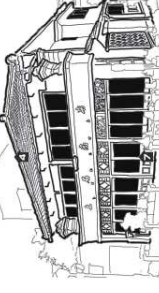
2 旧国興劇場 (現イタリアンダイニング&カフェラゲット)

秩父市番場町19-7 昭和49年5月に国興国際劇場を建て替えて、ファミリー劇場と改称した空屋小屋建築です。30年ほど前に閉鎖された映画館として活用されています。平成25年にリノベーション工事が完了して、映画館として活用されています。



3 上石商店

秩父市番場町19-7
旧国興劇場跡の現名で、映画スチールカメラが特徴的な旧建屋です。内部は非公開ですが、裏には蔵を改装したギャラリーもあります。



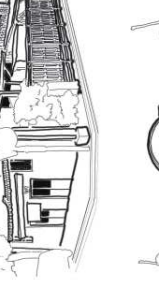
4 多可ら湯 (たから湯)

秩父市番場町19-7
創業は昭和11年の現役の銭湯です。旧国興劇場跡の現名で、映画スチールカメラが特徴的な旧建屋です。内部は非公開ですが、裏には蔵を改装したギャラリーもあります。



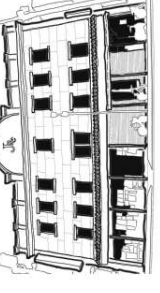
5 読書クラブ※

秩父市番場町3-7
原田ヤチヅメが主催する読書会。昭和21年に創業。原田ヤチヅメが主催する読書会。昭和21年に創業。原田ヤチヅメが主催する読書会。昭和21年に創業。



6 旧秩父山越山出雲所 (現そはな入船・兼山堂カフェほか)

秩父市番場町11-6他 国登録有形文化財
秩父市番場町11-6他 国登録有形文化財。秩父市番場町11-6他 国登録有形文化財。秩父市番場町11-6他 国登録有形文化財。



7 旧片山書院

秩父市番場町8-5
片山書院は明治41年に、重宝書博士片山書院(現ちちぶ館山館)で閉鎖された。その後、長男・兼好氏に由り書院は引き継がれ、平成元年に閉鎖された。現在は、親族の方の一般住宅として使用されている。内部は非公開です。



8 旧城玉廻繕工工試験場跡 秩父工場 (現ちちぶ館山館)

秩父市番場町2-1 国登録有形文化財
秩父市番場町2-1 国登録有形文化財。秩父市番場町2-1 国登録有形文化財。秩父市番場町2-1 国登録有形文化財。



9 旧中津原商店

秩父市番場町8-15 国登録有形文化財
秩父市番場町8-15 国登録有形文化財。秩父市番場町8-15 国登録有形文化財。秩父市番場町8-15 国登録有形文化財。

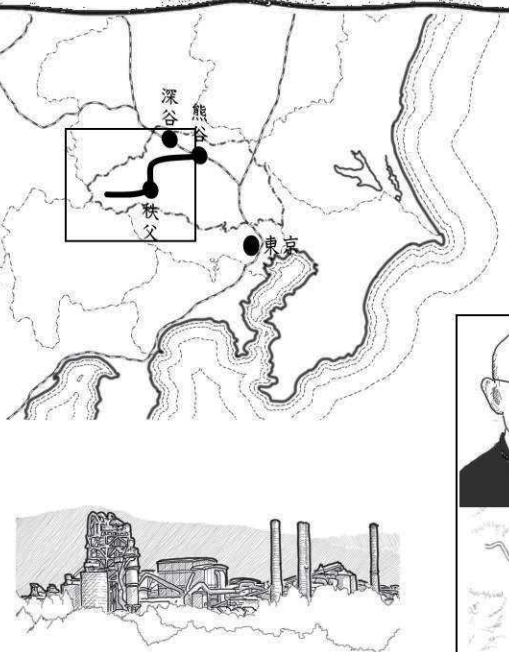


10 旧市家住宅主人門、表門

秩父市番場町11-1他 国登録有形文化財
秩父市番場町11-1他 国登録有形文化財。秩父市番場町11-1他 国登録有形文化財。秩父市番場町11-1他 国登録有形文化財。



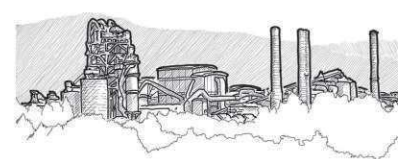
セメントの道



秩父鉄道の前身である上武鉄道は、当時盛んだった繊維生産が盛んだった秩父と上州館林とを結ぶ目的で設立されました。

深谷にあった日本煉瓦製造の専務で、のちの秩父鉄道代表取締役となった諸井恒平は、明治末年に武甲山の石灰岩に注目し、煉瓦製造よりも、セメント製造事業の将来性を見込み、1923年（大正12年）に秩父セメント会社を設立しました。セメント製造事業の開拓をいち早く手掛けた事から「セメント王」とも呼ばれました。

秩父鉄道では現在も、武甲山の良質な石灰石の貨物輸送が続けられており、その取扱高は日本の私鉄の中で上位に位置します。



旧秩父セメント第二工場
昭和31年に建てられた、秩父の巨大なセメント製造工場。帝国劇場の設計などで知られ、日本近代建築を代表する建築家のひとりである谷口吉郎による設計。



谷口吉郎(1904-1979)
石川県金沢市出身。「東京御所」「東京国立博物館東洋館」等、日本を代表する数々の設計を手掛ける。また、新しい建物を造るばかりではなく、古い建物を保存することを唱え、「博物館明治村」の開村に尽力し、初代館長となる。

群馬県
諸井恒平(1882-1941)
本市出身。緑色の渋沢栄一の推挙で日本煉瓦製造や秩父鉄道の経営に参画。実業人としての知識と経験を積み、武甲山石灰石の開発によるセメント起業を発案。財界有力者の賛同を得て1923年秩父セメント(株)創業。

日本煉瓦製造のレンガ ●⑤
石灰石は熊谷にある太平洋セメント熊谷工場まで運ばれ、セメントに加工される。

秩父鉄道 石灰石の貨物輸送

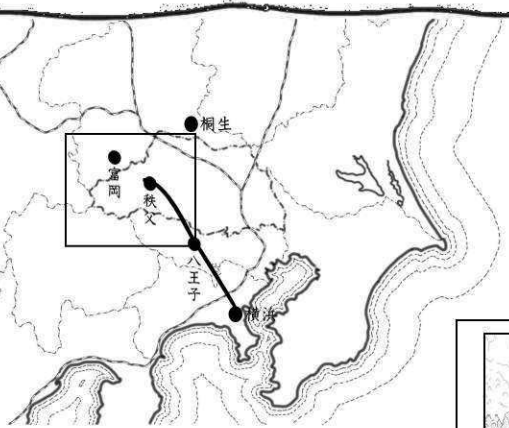
埼玉県

①武甲山
②武甲山資料館(秩父市大宮6176 羊山公園内)
③武州原倉(空放(とっぽう)が観られる貨物駅) ▲倉敷山
④旧秩父セメント第二工場(秩父市大野原1800)
⑤旧日本煉瓦製造 ホフマン窯(深谷市上敷28-10)

山梨県

渋沢栄一(1840-1931)
深谷市出身。江戸末期から大正初期にかけての幕臣、官僚、実業家。第一国立銀行や東京証券取引所などといった多岐多様な企業の設立・経営に関わり、「日本資本主義の父」ともいわれる。日本煉瓦製造の設立にも尽力。 東京都

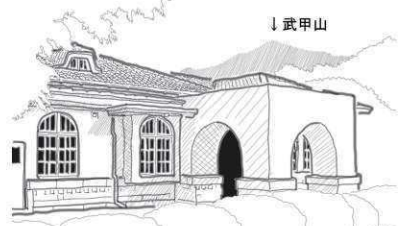
絹の道



日本における養蚕の歴史は古く、195年には百済から蚕種が、283年には秦氏が養蚕と絹織物の技術が伝わりました。奈良時代には全国的に養蚕が行われるようになり、租庸調の税制の庸や調として、絹製品が税として集められました。

幕末の開国以降、生糸は主要な輸出品となり、明治時代に至り養蚕は隆盛期を迎え、良質の生糸を大量に輸出しました。群馬県や埼玉県で生産された生糸を、輸出港である横浜へ最短で運搬するルート上に、東武東上線や八高線といった鉄道が敷設されました。

繭の生産は、秩父地域の基幹作物として盛んでしたが、近年は減少傾向にあります。現在でも秩父地方では、春、夏、晩秋の4回飼育され、このうち春蚕では飼育成品種「いろどり」が導入され、中山間地の特徴を活かした養蚕経営を担っています。



旧埼玉県繊維工業試験場秩父支場本館(現:ちちぶ銘仙館)
昭和初期、埼玉県の繊維試験場として建設。大谷石の石積みには帝国ホテルを建てたフランク・ロイド・ライト風。正面のペランダや玄関のデザインが華やかである。現在は当時使用していた織機や、秩父銘仙の歴史資料などを見学できる。

県
石間(いさま)半納集落
「天空の里」と呼ばれ、第三回「美しい日本のむら景観コンテスト」において全国農業協同組合中央会長賞を受賞。標高1,038mの雄山の山頂に点在する5つの集落で構成されている。集落内の民家は養蚕を営んでいた切妻平入を擁建で、蔵が多い。

秩父夜祭
秩父神社の例祭であり、毎年12月1日から3日に行われる。別名「お蚕祭り」と呼ばれ、江戸時代には祭りとともに絹の市が立ち、秩父の経済を大いに高したといわれている。

埼玉県

①ちちぶ銘仙館(秩父市熊木町28-1)
②秩父神社
③秩父市番場1-1
④秩父市番場2-8
⑤石間半納集落(秩父市吉田石間2620)
⑥内田家住宅(国指定重要文化財) 江戸時代前期の木造茶室兼養蚕住宅。内田家は鉢形北条氏の家臣で、鉢形落城後蒔田に落着し、永代名主をつとめた家柄である。

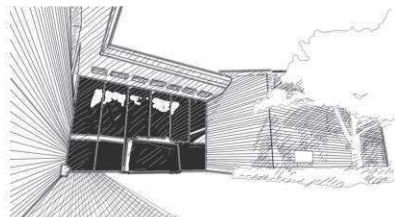
山梨県

鉱物の道

九州東部から関東へ横断する日本最大級の断層である中央構造線と、相模湾からほぼ南北方向へ直線上に伸びる八王子構造線とが交差する付近に秩父地域は立地しています。

秩父地域は鉱物資源に恵まれ、古くは奈良時代に「和同開珎」で有名な銅鉱脈が黒谷で発見され、江戸時代には、金・銀・鉛・亜鉛などの金属鉱石が採掘されました。寄居・西ノ入では、ヒスイも産出されます。

また、秩父地域は東京に近く、明治時代から日本の近代地質学における数々の先駆的な研究が行われてきました。「秩父古生層」や「三波川結晶片岩」などの命名・研究をはじめ、日本列島の模式となる研究が展開され、以後多くの地質学従の育成に貢献してきたことから、『日本地質学発祥の地』と呼ばれています。



埼玉県立自然の博物館
昭和56年に開館。生物、地層、化石などの展示から、埼玉3億年の自然をたどることができる県立の博物館。外壁は、埼玉会館、歴史と民俗の博物館と同様、打ち込みタイル工法によるタイルが張られている。内部は、煉瓦色のタイルとワッフル状の天井が落ち着いた空間をつくり出している。ル・コルビュジエに師事し、戦前・戦後と近代建築の歴史に足跡を残した建築家・前川國男による設計。



前川國男(1905-1986)
新潟市出身。
ル・コルビュジエ、アントニン・レーモンドの元で学び、モダニズム建築の旗手として、第二次世界大戦後の日本建築界をリードした。埼玉県内では、「埼玉会館」「埼玉県立博物館」も手掛ける。

群馬県

中央構造線

八王子構造線

埼玉県

秩父

① 埼玉県立自然の博物館 (長瀬町長瀬1417-1、長瀬石壁上流)
② 野上下御石塔婆 (長瀬町野上下御40付近)
③ 権重岩 (鶴翠輝石を含む岩石の露頭) (寄居町西ノ入)
④ 黒谷和銅採掘遺跡 (和同開珎のきつがけ) (秩父市黒谷 2(旧日蓮神社))
⑤ 秩父鉱山 (かつね金鉱) (秩父市中津川小倉町420)
⑥ 富沢賢治の洞窟 (秩父市黒谷本陣) (小栗野町小栗野314)

富沢賢治(1896-1933)
日本の詩人、童話作家。
大正5(1916)年、秩父地方を巡回高等農林学校の地質調査旅行で、秩谷から寄居へ、岩石を採集しながら荒川を上ってゆき、寄居を経て小栗野町の新生代地層が、大きく露出したところを歩いた。そのときに賢治が採集した岩石標本の一部は、今も岩手大で保管されている。東京都

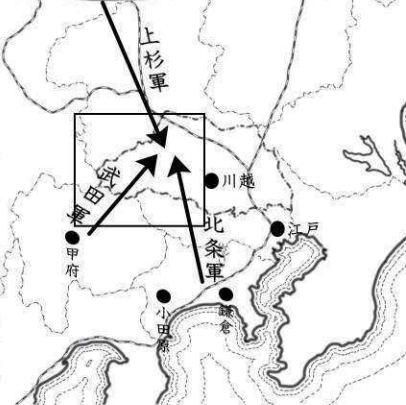
戦国の道

寄居は、古来より北部武蔵の支配の拠点として重要な位置を占めてきました。

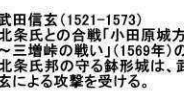
1476年(文明8年)、山内上杉氏の家宰長尾景信が荒川の崖上に鉢形城を築城し、その後、小田原の後北条氏によって整備拡張され、北部武蔵・上野国支配の拠点となりました。

その後も鉢形城の戦略上の重要性は変わることなく、武田信玄や、上杉謙信らによる攻撃をうけました。

1590年(天正18年) 豊田秀吉による小田原征伐がはじまり、後北条氏の鉢形城は前田利家・上杉景勝・島田利正・真田昌幸、徳川家康麾下の浅野長吉、本多忠勝、島居元忠らの連合軍に包囲され、約1か月の籠城戦の後、開城しました。



北条早雲(1432-1519)
1488年・1494年に、扇谷上杉定正とともに、高見原にて鉢形城の上杉顯定と対決するが、鉢形城を攻略できず。1546年三代当主北条氏康が上杉朝定・上杉憲政の拠る川越城を攻略する河越夜戦が起き、それに勝利して北条氏が武蔵国における覇権を確立する。1564年氏康四男北条氏邦が鉢形城へ入城を果たす。



武田信玄(1521-1573)
北条氏との合戦「小田原城方合戦〜三増峠の戦い」(1569年)の際、北条氏邦の守る鉢形城は、武田信玄による攻撃を受ける。



上杉謙信(1530-1578)
1574年北条氏四代当主氏政に対抗し、関東に出兵。金山城・騎西城・羽生城などを攻略。その際、上杉謙信は、氏政の弟氏邦の守る鉢形城下に火を放つ。

上杉軍

北条軍

埼玉県

秩父

① 鉢形城址 (寄居町鉢形851-2)
② 権重岩 (寄居町寄居境内)
③ 秩父神社 (秩父市番場町1-1)

秩父神社「お元氣三猿」
戦国時代、武田軍は政康東進地方に城を築き、秩父神社周辺にも火を放ったといわれる(権重岩)といわれる。現在の社殿は扇谷家康による造営で、本殿・幣殿・拝殿が1つにまとめられた権現造の形式である。志蓮三尊の作と思われるものを含む多くの彫刻で飾られている。

七代目 松本幸四郎(1870-1949)
明治から昭和前期の歌舞伎役者、日本舞踊團流家元。九代目松本幸四郎の祖父、十代目松本幸四郎(元六代目日川泰五郎)の養父。松本たか子の曾祖父。鉢形城から望む寄居・玉波の自然豊かな景観を愛し、大正2年に別荘「雀亭」を建て、現在は、寄居公園として一般公開されている。東京都

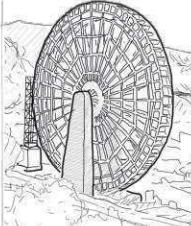
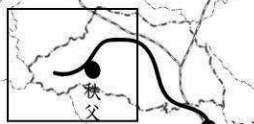
筏の道

江戸初期、秩父から大量の金が算出されたことから、天才発明家・平賀源内は、川越藩主の依頼で奥秩父で鉱山開発を行い、石綿などを発見しました。

また、秩父産の薪炭の運搬用に、上流の秩父郡荒川村と江戸を結ぶ荒川通船工事の指導なども行いました。その結果、奥秩父の山林でとれる松や杉などの木材は筏に組み立てて、江戸の千住や深川へと送られるようになりました。

舟運が発達するにつれ、物資の取り引きがさかんになり、各地の特産物が注目されるようになります。秩父の絹織物等が特産物としてさかんに生産されるようになります。

荒川源流部・入川に沿って昭和45年まで使われた森林軌道（入川森林鉄道）が存在していました。東京大学大演習林内にあったため、東京大学大演習林軌道ともよばれています。



埼玉県立川の博物館
荒川を中心とした川と水と人々の暮らしをテーマとした河川系の総合博物館として、1997年に開館。「埼玉の母なる川-荒川を中心とする河川や水と人々の暮らしとのかかわり」を様々な体験学習をおとして、理解してもらうことを目的としている。直径23m日本最大級の木製「大水車」は圧巻。

平賀源内(1728-1780)
江戸時代中頃の人物。本草学者、地質学者、蘭学者、医者、殖産事業家、戯作者、浄瑠璃作者、俳人、蘭画家、発明家として知られる。自号「天竺浪人」。鉱山開発、木炭運送、毛織物生産、陶器製作、鉱石のローカールなど、様々な事業に手を出した。静電気発生装置「エレキテル」、「燃えない布」火流布（石綿）、万歩計、寒暖計、磁針器、その他100種にも及ぶ発明品を生んだ。

群馬県

長瀬ライン下り
荒川の筏下りの流れをひく。現在は船頭が操る舟で下る観光コース。1915年に開業する。親麿橋から岩盤を滑り高砂橋へ向かう最長コースは約4km。

埼玉県森林科学館
森林や動植物の紹介や木製品の展示のほか、中津川ゆかりの平賀源内や通船家本多勢六の資料も展示。併設されている「こまどり荘」は、中国・客家の集合住宅「福建土楼」を彷彿とさせる円形宿舎。

中津川鉄砲壘
この地蔵に伝承される鉄砲壘を作る「地蔵」は、鉄砲流しと呼ばれる木材運送に用いられ、山中で伐り出された木材を野めた水を一気に放すことで、下流に押し流すために荒川に設けられてきた。

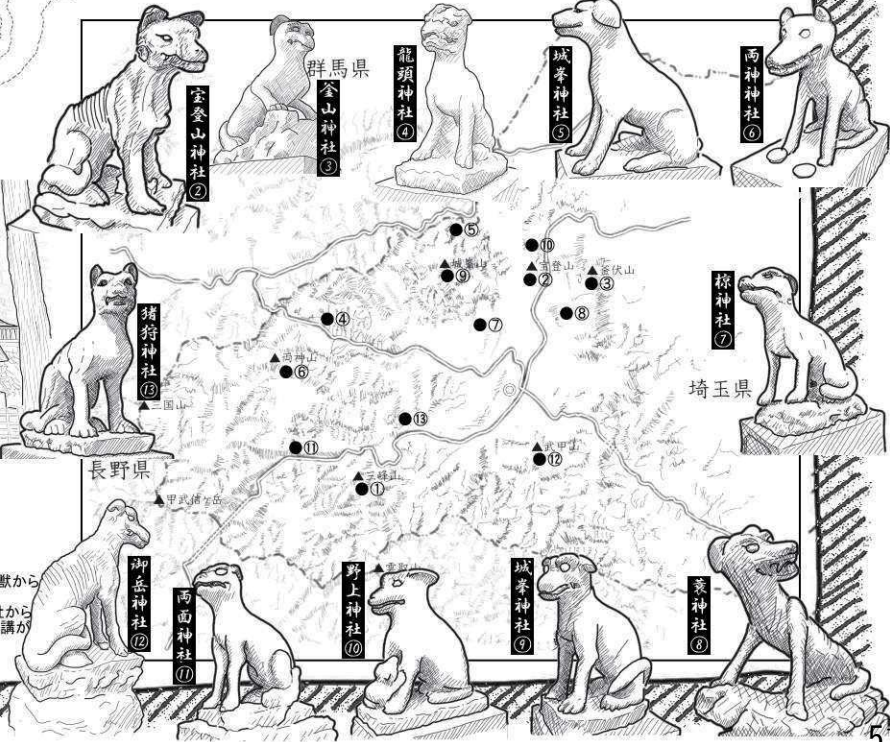
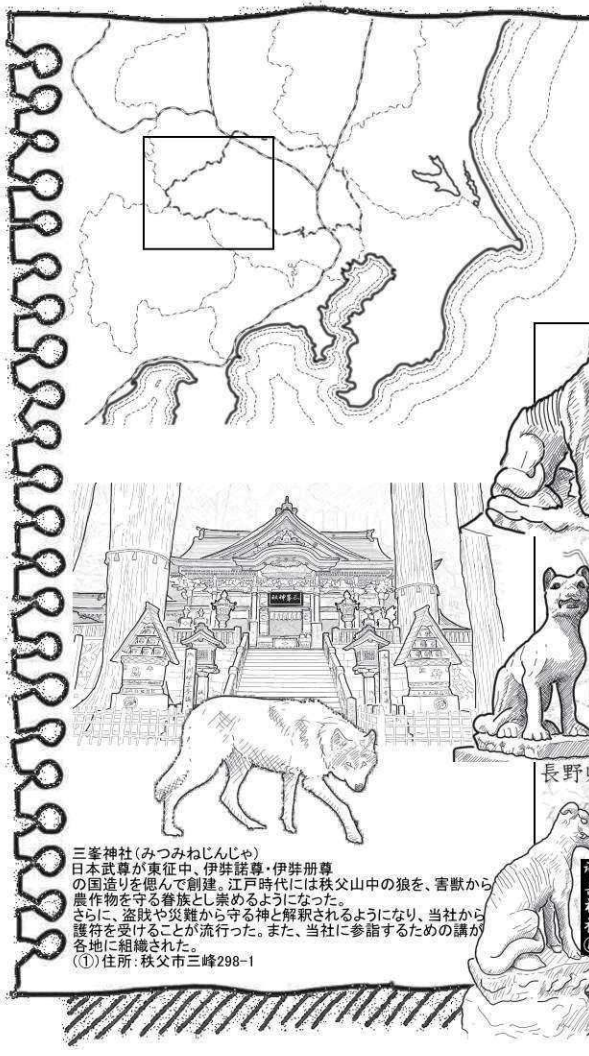
①埼玉県立川の博物館（寄居町小園39）
②長瀬ライン下り案内所（長瀬町長瀬489-2）
③埼玉県森林科学館（秩父市中津川1447）
④中津川鉄砲壘（秩父市中津川）
⑤平賀源内・源内屋（秩父市中津川243）

山梨県

東京都

狼の道

大口真神（おおぐちまかみ）は、日本に生息していたオオカミが神格化したもので、古来、聖獣として崇拝されてきました。また、害獣から作物を守護し、厄除け、特に火難や盗難から守る力が強いとされ、現在も秩父地方の神社を中心に、オオカミが描かれた神札が頒布されています。日本国内では明治末期に絶滅したとされていますが、荒川上流に広がる秩父では、かつてオオカミの生息地であったという写真が、2012年にNHKの特集「見狼記・神獣ニホンオオカミ」という番組で紹介されましたが、専門家の見解ではオオカミだという確証は得られませんでした。



三峯神社(みつみねじんじゃ)
日本武尊が東征中、伊弉諾尊・伊弉册尊の国造りを懇んで創建。江戸時代には秩父山中の狼を、害獣から農作物を守る眷族とし崇めるようになった。さらに、盗賊や災難から守る神と解釈されるようになり、当社から護符を受けることが流行った。また、当社に参詣するための講が各地に組織された。
①住所：秩父市三峰298-1

青年建築士協議会・報告

全体会議 報告書

栃木県建築士会 栗原 弘

大会のスタートと終わりとなる全体会議は例年と異なり、山梨大会以来の3部構成（初日：全体会議Ⅰ・Ⅱ、2日目：全体会議Ⅲ）とし、全体会議Ⅰでは大会実行委員長、開催県建築士会会長、関ブロ青年協会長の挨拶を皮切りに来賓挨拶、来賓の紹介、大会日程と構成の説明などがあり栃木大会の幕開けとなった。全体会議Ⅱは会場の都合でスタンディング（立ち）での会議となり、例年であれば締めの会議となるが、今年は2日開催であるが1日目に開催した分科会の講評は初日に、2日目に開催する分科会公表は2日目にと分けて講評を行い、最後に青年協会長による総評をいただいた。全体会議Ⅱでは第1、第2-I、第3それぞれの分科会の報告、第1分科会の表彰、本年度の活動報告、次年度関ブロ青年協理事の紹介及び新会長の挨拶と活動方針の発表を行った。最後に来年開催の埼玉大会PRを埼玉大会・島田実行委員長より大会テーマの紹介とPRが行われ、初日の日程を終えた。2日目は第2分科会Ⅱのみ行われ、全体会議Ⅲで担当理事より報告を受けた。そして最後に、青年協会長より大会全体の講評をいただき閉幕となった。



▲関ブロ青年協・斉藤会長



▲栃木大会・栗原実行委員長



▲栃木県建築士会・青木会長



▲日本建築士会連合会・安田青年委員長

第1分科会 『 振り返ってみる 』 報告書

神奈川県建築士会 田中 良明

第1分科会は、昨年のかながわ箱根大会に続き、二部構成にて行った。また、昨年同様、第一部で10都県の発表を大会参加者全員で聞く形式とした。景観まちづくり、会員増強・人材育成、防災、省エネ・気候風土適応住宅、建築士会のPR活動など、様々な切り口での発表内容であり、原点に立ち返り、建築士会の活動の幅広さを実感できる機会となった。そして、採点方法は、昨年とは異なり、審査員の採点と会場審査員の得点を合わせた採点形式を採用した。審査員については、採点シートを使用し、会場審査員については、得点パネルに貼られたシールを集計したことで、集計作業の負担軽減が図られた。

第二部も昨年同様、各都県の発表内容を更に深く知ることができるように円卓を囲む形式でディスカッションを行った。途中で休憩を挟み、ディスカッションの時間を2回設けたが、参加者数が昨年に比べ、少ないことと、席替えを行わなかったこともあり、後半にかけてディスカッションではなく雑談になっていった。来年も同様に行う場合は、自由に聞いて周れるようにした方が良いと思われる。

全体を通して、振り返ってみると、第1分科会が、それぞれの関心や理解を深まり、問題や情報の共有の契機となる。そして、活動の礎として、さらなる地域社会への貢献に繋がると確信した。

【審査結果】

■最優秀賞：長野県 中村 滋宏

ツミキノチカラ

■優秀賞：新潟県 佐藤 秀春

未来の建築士を育てる建築士会活動～米百俵の精神と若者の人材育成～

■関ブロ青年協会賞：東京都 佐藤 麻子

「ふわふわ空気の家」ゴミ袋でつくる防災シェルター



第2分科会－Ⅰ「ブラトチギ～まちから学ぶ原点と建築～」報告書

参加時間 14:25～17:30(3時間10分)

報告者 埼玉建築士会 小林
栃木建築士会 各担当者

趣旨にあるように、まちを見る方向性は個人個人さまざまであり、歴史、建物、食べ物などを通じて「原点」に帰ること、「原点」を見返すこと、「原点」から学べることを、「とちぎのまち」をA～Eの5コースに分けて実際にを歩き、発見し、感じることを参加者に体験してもらいました。

Aコース(原点の保存と利用から学ぶ＜文化遺産の保存・利用について＞)

参加者:他県9名、自県4名(計13名)

講話施設:旧栃木市町役場庁舎(45分)

講話内容:文化遺産の保存、調査について

見学・講話から学んだこと:

調査が行われている市職員の田中さんからは、最近まで町役場として使用しており、東日本大震災の体験談ではかなりの揺れを体感したと伺うことができ、講話をしてくださった石本設計の石本さんからは、調査の折にあげられた要所要所の開口部より構造骨格を見ながら、当時の技術や材料の地域性、時代背景が伺え、外壁のデザインや階段の手すりにいたる意匠の元になった背景を参加者に問いかけることもあった。

見学施設:横山郷土館(30分)

見学から学んだこと:

明治時代に建てられた麻問屋と銀行を併用した建物で、堀を利用した麻の運搬(地域性)、大谷石を使った2棟の石蔵(銀行に使われた石蔵は屋根部分に耐火煉瓦が使われている)、豪商横山家の財力をものがたっていた。

その後自由散歩(1時間30分)

第2分科会－Ⅱディスカッションテーマ:文化遺産の保存・利用について



▲旧栃木町役場にて。講師による説明

Bコース(コンバージョンから学ぶ＜既存建物再利用について＞)

参加者:他県25名、自県4名(計29名)

講話施設:栃木市役所(新庁舎)(45分)

講話内容:既存建物再利用について

見学・講話から学んだこと

商業ビルを1階をデパート、2～5階を栃木市役所にコンバージョンした建物で、行政の生の声が聞くことができた。

見学施設:蔵の街美術館(30分)

見学から学んだこと

その後自由散歩(1時間15分)

第2分科会－Ⅱディスカッションテーマ:既存建物再利用について

Cコース(伝統建築物(蔵)から学ぶ<蔵の修復から保全について>)

参加者:他県33名、自県4名(計37名)

講話施設:楡井家土蔵(45分)

講話内容:蔵の修復から保全について

見学・講話から学んだこと

土塗り壁の工程に立会い左官職人の話を中心に、同じ業界でも業種や仕上げ方での違いでカルチャーショックを受けた参加者もいた。

見学施設:伝楽あぶでん(30分)

見学から学んだこと

木樽で味噌を作っているところで、味噌がとてもおいしく、味噌田楽とお茶がこんなにも会うものかとの参加者の声。

その後自由散歩(1時間15分)

第2分科会－Ⅱディスカッションテーマ:蔵の修復から保全について

Dコース(伝統建築物(邸家)から学ぶ<伝統建築物の保存／調査について>)

参加者:他県25名、自県4名(計29名)

講話施設:岡田家翁島別邸(45分)

講話内容:伝統建築物の保存／調査について

見学・講話から学んだこと

建築主であり、伝統建築の改修に携わった人の話が聞けた。

見学施設:岡田記念館(30分)

見学から学んだこと

その後自由散歩(1時間30分)

第2分科会－Ⅱディスカッションテーマ：伝統建築物の保存／調査について



▲岡田記念館

Eコース(私の見つけた栃木く栃木市の魅力を発見・発掘～フォトコンテスト)

参加者:他県7名、自県4名(計11名)

講話施設:栃木市神明宮(45分)

講話内容:栃木県名の由来や歴史について

見学・講話から学んだこと

講話の前に夏の例大祭である水草で作られた輪を8の字を描くようにくぐることで祈願する「茅の輪」くぐりを体験し、宮司さんの講話を聞いた。

見学施設:自由散歩・・・「美」「色」「職」「食」をテーマに自由に建築(物、建築でも可)を見てもらい写真を撮ってもらう。(1時間55分)



▲神明宮鳥居、奥に見えるのが本殿

第2分科会－Ⅱディスカッションテーマ：栃木市の魅力を発見・発掘～フォトコンテスト～

最後に大会終了後の各都県からの意見ですが、自由散歩についてのアナウンスを聞き取れなかった参加者がいた。

協賛されていた飲食店のアナウンスがあればよかった。
とちぎ蔵の美術館に併設されていた屋台を巻き込むことはできなかったのか？
など、住民とのコミュニケーションが薄かった声が多くあがりました。

第三分科会「建築物省エネ法で源点回帰」報告書

群馬建築士会 島崎 重徳

第三分科会では、2020年に予定されている新築住宅の省エネ基準適合義務化への対応を考えつつ、建築物省エネ法で規定されている気候風土適応住宅についても学ぶことで、連綿と継承されてきた建築文化にも目を向けました。参加者は重要伝統的建造物群保存地区のある栃木市で、建築の源点について考え、省エネ基準とともに、我々の風土や景観についても考えました。

本分科会では、参加者への質問を挙手で答えて頂くことで、全参加者とこれらの問題に対する現状認識の共有を図りました。以下、プログラム内容になります。

① 建築物省エネ法について

講師 秋山 洋一 氏（一般社団法人 日本住宅性能評価機構 評価員、住宅省エネ技術講習会 講師）

② 気候風土適応住宅について

講師 篠 節子 氏（篠計画工房代表、日本建築士会連合会 環境部会 副部会長）

③ 実例 気候風土適応住宅

講師 綾部 孝司 氏（有限会社 綾部工務店 代表取締役、サステナブル建築物等先導事業者）

④ 長野県での取り組みについて

講師 星野 武光 氏（関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 相談役、長野県建築士会）

⑤ 講師によるパネルディスカッション

本分科会には当初 43 人の参加者がおり、参加理由を質問したところ、気候風土適応住宅について学びたい人が 25 人、建築物省エネ法について学びたい人が 15 人、建築の文化について学びたい人が 3 人でした。多くの参加者が、これから対応に迫られる新築住宅の省エネ基準適合義務化とともに、気候風土適応住宅にも関心を持っていることを知ることができました。

パネルディスカッションでは、講師の方々から省エネ基準適合義務化へ向けたアドバイスを頂くことができました。共通していたことは、まだ、計算をしたことがない人は、まずは計算を試みることを勧めてくださいました。計算をすると分かってくると力強くアドバイスをして頂きました。

最後の参加者への挙手による質問では、すべての参加者がこれらのことを、もっと学びたいと答えていました。気候風土適応住宅に関しては、各都県での進められているヘリテージマネージャーの活動とつながっていくことが期待できます。



大懇親会 報告書

栃木県建築士会 栗原 弘

「栃木色」を出した大懇親会

本大会の大懇親会は「栃木色」を大いに出した内容を企画しました。参加者は、各都県の参加者が交流できるように自由席とし、普段なかなか接することのできない会員同士と交流できるようにし開催されました。

懇親会始まる前のBGMとして、栗田智水さん・井上智美さんのフルートとエレクトーンによる演奏は会場の雰囲気落ち着きと和やかさを醸し出してくれました。開会し、栃木市長・大川秀子氏、栃木県建築士会・青木会長の挨拶にはじまり、その後、栃木の地酒で乾杯。(地酒で乾杯というのは実は栃木県条例で定められています)



▲栗田智水・井上智美デュオによる演奏



▲栃木市長・大川秀子氏

毎年恒例になっている各都県からの地酒が並べられ、参加者それぞれ料理やお酒を交わしながら貴重な交流の場を楽しんでいました。そして宴の余興として、ご当地アイドル「とちおとめ25」によるライブが始まると、予想だりしない盛り上がりを見せ、まさに参加者全員が一体となった瞬間でした。終盤には来年度開催の埼玉建築士会の会員によるPRを行いました。



▲とちおとめ25

ここ数年、このPRタイムが定着しており、さらに参加者を促す良い機会ではないかと思えます。埼玉大会・島田実行委員長より埼玉大会のアピールと大会参加のお願いのあと、栃木士会から会場案内看板の引継ぎを行いました。楽しい時間というのはあっという間に過ぎるもので、栃木士会青年副委員長の工藤健志の挨拶により大懇親会を閉会しました。

「栃木色」を大いに出し地元の魅力の再発見と良さを出すことができた大懇親会は、今大会のテーマ「Re：源点回帰」に沿うカタチで目的は達成できたのではないかと思います。

平成 30 年度全国建築士フォーラム開催報告

| | | | |
|---------|--|-------|--|
| 行 事 名 称 | 全国建築士フォーラム in さいたま | 会 場 | ソニックシティ 市民ホール |
| 開 催 日 時 | 平成 30 年 10 月 25 日 16:30~21:00 | 報 告 者 | 連合会青年副委員長 稲見 公介 |
| 開 催 趣 旨 | <p>テーマ：「僕らが考える 明日、10 年後の建築士」</p> <p>次世代を担っていく青年建築士の皆様に、建築士、建築士会が 10 年後にどうあるべきかを、外部講師のワークショップを受けながら、討論し考えていただく。</p> | 内 容 | <p>① 綱領唱和</p> <p>② 平成 29 年度委員長会議説明</p> <p>③ 委員長会議のスローガンディスカッション</p> <p>④ 建築士会活動として関わりたいテーマのディスカッション（4 つのテーマがある）</p> <p>⑤ 10 年後の建築士、建築士会についてのグループディスカッション</p> |

報
告
事
項

◇趣旨に対する成果

ワークショップの内容は概ね満足頂けたようで、議論が白熱し、タイムオーバーになるグループも複数あった。

10 年後の建築士、建築士会を考えてどのような活動をしていくべきかを、建築士の人間的成長、建築士の社会的立場の向上、労働環境や、働き方改革、報酬の向上という 4 つのテーマで討論した。参加者の意見としては建築士会活動を通じて、建築士の人間的成長をしたいという意見が半数近くあり、建築士の社会的立場をあげたいという意見が次に多く、全体でこの二つを合わせると 7 割の参加者が建築士会に望むことが業務報酬や労働問題でなく、自分たちの成長や地位向上を望んでいることがわかり、今後の建築士会の活動のすすむべきあり方が、みえた結果となった。

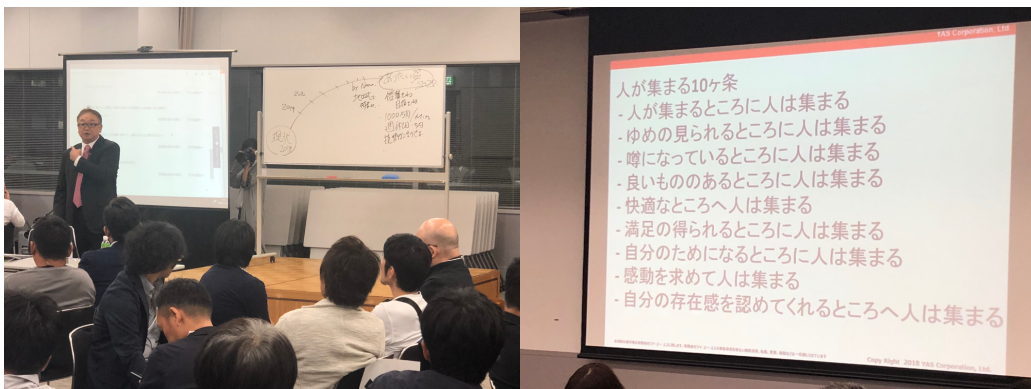
外部講師を招いたことで、ワークショップの進め方を学べたり、活動に対して目的付けや目標設定が多くの参加者や建築士会でうまく出来ていないこともわかり、参加者が単会にこの学びを持っていき広げることで建築士会のさらなる発展や活動のクオリティがあがることになるそんな素晴らしいワークショップになったと感じている。

◇課題・検討事項

時間がメガワークショップと考えると短く、まとめきることが出来ないグループもあったため、もう議論する内容を狭めた方が良かったのかもしれない。

参加者数：フォーラム 226 名、懇親会 207 名

開催状況



第 61 回 建築士会全国大会 埼玉大会 開催報告書

| | | | |
|---------|---|-------|---|
| 行 事 名 称 | 平成 30 年度 全国大会「埼玉大会」 青年委員会 セッション地域実践活動アワード報告 | 会 場 | 大宮ソニックシティ ビル棟 市民ホール 401～403 会議室 |
| 開 催 日 時 | 平成 30 年 10 月 25 日 10:00～12:00 | 報 告 者 | 日本建築士会連合会青年委員会 伊藤 憲吾 |
| 開 催 趣 旨 | 各地の活動を発表することでの会員相互の研 鑽。 表彰制度を設けることでの活動の奨励。 同時に各地の災害情報を発表することでの問題 共有化。 | 内 容 | 各ブロックの発表は地域に根差した活動が発表さ れた。多くの来場者に情報共有がなされ、投票も多 くの方に参加いただいた。最優秀、優秀賞は式典で 表彰された。 新たに「連合青年委員会賞」を設け、投票の数的有 利によらない審査も行った。 西日本、阪神、北海道の各地の災害情報を発表して いただいた。 |

| | |
|-------------------|---|
| 報 告 事 項 | ◇ 趣旨に対する成果 各地の発表はどれも地域性に富んだものであり、参加した方に興味深く聞いていただけたように感じた。投票にも多くの方が参加していただき、より深く知っていただくことにつながったように思う。投票審査結果は下記の通り。 ■最優秀賞：長野県（関東甲信越ブロック） ■優秀賞：熊本県（九州ブロック） ■連合会青年委員会賞：熊本県（九州ブロック） また、同時開催で行った災害状況報告も多くの参加者が耳を傾けた。報道だけでは得られない情報や建築士ならではの災害の受け止め方も見受けられ、今後の建築士会としての連携に良い課題を与えたと思う。 |
| | ◇課題・検討事項 より多くの方に地域の活動を共有することを目的としている取り組みであり、成果を上げているものと考えてはいるが、発表後の発展が見受けられないように感じる。表彰結果の会員への周知活動や、良い活動の継続状況を知る仕組み、地域同士の複合化した取り組みへの発展、そういった交流こそがセッションと呼ぶにふさわしいのではないかとと思われる。 企画においては、目標を定め、運営の安定化を図り、広報の在り方を整理しつつ、今後の連合会役員の引継ぎを円滑に行う必要性を感じている。発展的な変化が必要と感じる。 |
| 参加者数：有効投票数票 244 票 | |

開催状況





公益社団法人日本建築士会連合会
青年委員会

我々の存在目的

地域と建築士の「より良い」を目指す。

我々のアイデンティティ

アーキテクチュアル スペシャリスト
～建築職種の輪を広げる革新者の集団～

我々の使命

責任と誇りを胸に
現在と将来の安心を地域に提供することで
社会的信頼を獲得する。

我々はどこへ行くのか

**建築士の資質・人間的な成長：若手建築士による建築士会活動の発信を促し、
未来をつくる**

建築士の報酬：建築士の適正な報酬を公言する

建築士の労働環境・働き方：様々な建築士の働く状況を知ろう

建築士の社会的な評価：こどもたちに建築と建築士を知ってもらう

建築士の資質・人間的な成長のためのアクションプラン

「若手建築士による建築士会活動の発信を促し、未来をつくる」

建築、建築士、建築士会、いずれも次の世代に継承され続けることで未来をつくってきました。インターネットが当然ある世の中に生きる建築士にとって、インターネットの活用に向き合うことは社会につながるために必須です。建築士の未来を次世代の建築士に発信してもらうことで、次の在るべき場所をつくってもらいましょう。

建築士の報酬の在り方のためのアクションプラン

「建築士の適正な報酬を公言する」

一般の方には伝わりにくい業務を建築士はしています。一人一人が自分の仕事に対する対価を公言して理解を求めることで社会の中での認知を上げていきましょう。建築士自身が言うことが最も説得力を持ちます。自分の対価を自分で考えることも大切です。

建築士の労働環境・働き方を考えるためのアクションプラン

「様々な建築士の働く状況を知ろう」

建築士の仕事も様々であり、人生の中で様々な状況に身を置きます。例えば、ママさん建築士が仕事をするときの在り方や、CADやBIMなど変わりゆくツールに向きあう若手建築士の教育など、個人資格である建築士では難しい状況も生まれます。建築士会としてリサーチし、把握をすることで、様々な建築士の状況に応えることに繋がります。未入会の建築士と接していくことも目的となります。

建築士の社会的な認知向上のためのアクションプラン

「子どもたちに建築と建築士を知ってもらう」

一般の方に建築を理解してもらうことは、防災や都市形成においても重要なことです。子供の時から建築を知ってもらうことで、その地域のまちづくりや防災意識、そして建築業界の将来の担い手も生んでいきましょう。子供にもわかる建築文化・産業をすることで、わかりやすい表現方法も身に付きます。難しい建築業界こそ、わかりやすく伝える努力をしましょう。

平成30年度 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 活動指針

関東甲信越建築士会ブロック会
青年建築士協議会
会長 後藤直也

●はじめに

関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会（以下関ブロ青年協）の活動指針を周到し、未来を見据えた運営のあり方を模索していきます。

●関ブロ青年協の位置づけ

関ブロ青年協は文字通り青年建築士の10都県の協議会です。そのため各都県の活動の情報共有をし、協議を行う事を主としながら、そこから自都県に有益な情報を持ち帰り、活かし各々の単位士会の活性化を目的とするものと考えます。またブロック協議会として共通課題・問題・展望を見出し、同じベクトルに向けて解決・創出していく事業の企画・実施を行います。その為に関ブロ青年協理事は各都県からの代表として出向している認識の元、自覚を持ち、橋渡しの役を担いながらブロック全体の活性化に努めるものと考えます。

●関ブロ青年協ブロック大会について

関東甲信越ブロック圏の青年建築士へ向け、建築士としての発展に寄与する情報共有・成果発表・意見交換の場として関ブロ青年協主催、開催県士会主管の元、計画実施します。ブロック大会計画に当たっては開催県とよく協議を行い、詳細にいたるまで理事会での承認を行い、状況を鑑みながら主催者側として運営をサポートし、大会の成功を目指して参ります。

●今年度の運営について

①執行部会・3部会の設置について

今年度も運営組織に修正を加え、理事会とは別に執行部会他3部会を設置します。関ブロ青年協はブロック大会時の理事会を除き、年2回定例理事会+臨時理事会で規定されています。最終的な活動成果の場であるブロック大会を見据え、ブロック活動の活性化を図るため、WEB会議等で1年間の中で協議を行う場を増やすとともに、主体となる3部会の役割を定め、執行部会で共有・協議を重ね、理事メンバーへ公開しながら意見を交わし、限りある理事会で有効な協議・決議ができるように努めます。

②企画書の検討・事業実施

昨年度に理事の皆様から頂いた企画書と新理事の皆様から頂く企画書とを再度協議・検討しブロック活動で実施されないものとしても各都県の活動の一助になる内容がさらに起案される事が想像されます。今年度ブロックで実施する事業として再度検討し、さらにその内容から発想し新たな提案等が生まれることも想像できます。今年度も年間スケジュールにおいて臨時理事会の実施を考慮せず、その運営予算を代替えとして企画案から創出されるブロック事業費として充てたいとかがえております。

●その他

ブロック内での連合会全国大会青年委員会プログラム（北海道[函館]大会）への代表発表者選出・協力
上記内容を踏まえ、ブロック内のネットワークを活かし、他ブロックや親会・連合会との連携を図りながら理事会の交流・協働・活性化を目指したいと考えます。

平成30年度 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 活動報告

関東甲信越建築士会ブロック会
青年建築士協議会
会長 後藤直也

1、関ブロ青年協 理事会開催

第1回 日時：平成30年6月16日（土）8：50～9：30

会場：栃木グランドホテル（栃木市）

主たる議題：①役員選任と新理事紹介

②平成30年度 活動指針説明

③令和元年度 関ブロ埼玉大会開催案について

④関ブロ青年協議会の今後の活動について

第2回 日時：平成30年10月13日（金）13：00～17：00

会場：東京建築士会会議室（中央区日本橋富沢町）

主たる議題：①平成30年度関ブロ理事会組織図、活動内容確認

②平成30年度各都県事業計画及び活動報告

③全国さいたま大会セッション等について

④関ブロ栃木大会開催報告

⑤関ブロ埼玉大会実施協議（各分科会）

⑥各部会活動状況報告

⑦関ブロ茨城大会状況確認

第3回 日時：平成31年2月9日（土）13：00～17：30

会場：東京建築士会会議室（中央区日本橋富沢町）

主たる議題：①関ブロ栃木大会 収支報告承認

②平成30年度各都県事業計画及び活動報告

③関ブロ埼玉大会実施開催案・予算案承認

④関ブロ茨城大会開催日、会場承認

⑤各部会活動状況報告

2、各部会活動報告

①ブロック大会管理・推進部会

- ・関ブロ埼玉大会開催県理事を主体に、主管県としてブロック大会の企画運営を行った

②ブロック活動創造部会

- ・関ブロ埼玉大会第3分科会にて「クロスロードゲーム」の開催に向け、日常における防災意識の啓発にと、建築士の防災における知見向上に向けた取り組みを協議した。

③広報・連携づくり部会

- ・関東甲信越建築士会ブロック会の全体スケジュール作成を計画し、都県毎の活動の一覧化による交流促進と、関ブロ青年協活運営の円滑化を図った。

地域実践活動報告シート
関東甲信越建築士会ブロック会

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)茨城県建築士会 青年委員会 事業名 第2回パスタブリッジコンテスト

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● 活動の背景
 茨城県建築士会青年委員会で例年行っている事業を会場を日立に移して行った。

● 活動目的
 目的・建築の楽しさを知ってもらい、減りつつある建築士を目指す学生を増やすことの他に今回は一般の方々に建築士会の活動を知ってもらう。

● 活動内容と成果

【活動内容】
 日時：2018年9月30日(日) 9:30~16:30
 場所：日立市役所
 台風24号が来ており、様々なイベントが中止になる中で、辞退チームは1チームにとどまった。一階ロビーにての開催とのことで一般の方と共に市役所職員にも建築士会をアピールできた。去年の参加チームも多く、割とスムーズに進んだが、高校生は時間が足りなかった様子でした。どのチームも個性あるデザインで7割方完成していた。途中日立市役所内見学ツアーも行き、学生から好評も得ました。計測も大いに盛り上がり、優勝は茨城大学チームの8350点となり無事に終了した。

【活動成果】
 建築士会だけで行うのではなく、日立市役所を巻き込んだのは良かったと感じます。次回以降も異業種や行政を巻き込むのはよいのではと思います。

● 集客方法
 ①茨城県建築士会HPへの掲載 ②会報誌へのチラシ封入 ③FBでの告知 ④各支部へメールでの周知

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----|----------|-----|----|-----|----|-----|----------|----|----|
| ●活動収支 | 収入 | 100,000円 | | | | | 支出 | 100,000円 | | |
| | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子供 | 計 |
| | | 15 | | 15 | | | | 31 | | 31 |

連携・協力組織 日立市、茨城県建築士会日立支部



参加者の集合写真 様々な形のパスタブリッジ

● 今後の課題
 今回初めて普通高校生に出場して頂きましたが、十分なレベルのブリッジを完成させていたので、次回も建築系にこだわらず募集をかけてよいのではないかと思います。

● 今後の計画
 今後はマンネリ化を避けるために、ブリッジ型以外のコンテストも考えていかなければならないと思いました。

問い合わせ先 一般社団法人 茨城県建築士会 担当者 早川敏史、加藤雅史
 連絡先 TEL 029-305-0329 FAX 029-305-0330 e-mail kyy05413@nifty.com
 ホームページアドレス <http://i-shikai.com/>

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (公社)長野県建築士会 佐久支部 青年・女性委員会 事業名 御代田フットパス

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● フットパスとは
 英国で始まった仕組みで、だれもが歩いて楽しめる通り道のことを言う。ありのままの街や集落、自然の中に歩くコースを設定して、それを紹介する地図をつくり、訪れた人が地図を片手に思い思いに歩いて地域の風景を楽しむ。

● 活動目的
 単に観光地化するのではなく、ありのままの自然や集落の良さを町内外・県内外の人に伝え、実際に訪れて感じてもらうことに加え、私たち青年委員が地域集落の魅力や歴史を掘り下げることで、地域資源の見直しに繋がり、新たな地域づくり・街づくりになることも期待をした。

● 活動内容と成果
 【2018年活動内容】
 1月～2月、フットパスの計画
 3月～5月、対象エリア内のコース検証を5回行った。対象地区に協力依頼の打合せを数回。
 6月、仮コース歩きワークショップ。設定したコースを歩きWSでフットパス講師の話を聞いた後、感想・意見交換。
 7月～11月、ルート整備。仮コース歩きの声を地図に反映。ウェブサイト作成。コースの草刈りなど。
 10月、道標と通行票作りのワークショップを行った。カラマツの端材を使い地区の親子と建築士会メンバーで制作。
 11月18日、コース開きイベント。フットパス協会理事の講演を聞き、コースマップを紹介。地元名物の新そば、おにかけうどんの昼食後に移動し、地元住民のガイドを受けながらコース歩き。
 【活動成果】
 コース開きイベントの参加者は、このエリアの景観や歴史的魅力を初めて知ったという声があり、地区住民には歩いたことのない地元の道や魅力への関心、地区外からの来訪者を迎え、意識することで自らの地域について考える契機になったと思われる。

● 集客方法
 ①地元週刊誌への掲載 ②地域の施設にポスター・チラシ配布 ③新聞掲載
 ④各支部へメールでの周知 ⑤他委員会へメールでの周知 ⑥他県青年委員会へチラシ配布

● 年間活動収支 収入 県支援金 720,000円 支出 1,035,078円

| 11/18イベント人数 | 運営側 | 収入 | | | 参加者 | 支出 | | |
|-------------|-----|------|-----|----|-----|-----|-----|---|
| | | 建築士会 | 他団体 | 計 | | 会員 | 一般 | 計 |
| | | 14 | | 14 | 18 | 130 | 148 | |

連携・協力組織 御代田町、面替地区、豊昇地区、観光協会、そばゆかい



2018/11/18コース開きイベントの様子(2枚)

● 今後の課題
 コースの維持管理、持続可能イベント計画、サポートチームの緩やかな形成。

● 今後の計画
 2019年6月9日には、地域の景観を考え写真撮影しながら歩く写真フットパスを行います。

問い合わせ先 公益社団法人 長野県建築士会 佐久支部 担当者 萩原
 連絡先 TEL 0267-63-8080 FAX 0267-63-3330 e-mail ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
 ホームページアドレス <https://miyotafootpath.jimdofree.com/>

地域実践活動事例報告シート

| | | | | |
|------------------|---|-----|-----------------|--|
| 平成30年度 | <input type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック | | | |
| 建築士会名 (支部等含む) | (一社)新潟県建築士会 青年委員会 | 事業名 | 平成30年度 新潟県建築士の日 | |
| ●活動の種別 | <input type="checkbox"/> 建築物調査、保存・再生 <input type="checkbox"/> 景観形成、街並み保存・修景 <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 住まいづくり <input type="checkbox"/> 住環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 会員拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input type="checkbox"/> 次世代育成 <input type="checkbox"/> その他() | | | |
| ●企画運営団体 | <input checked="" type="checkbox"/> 上記建築士会 9名 <input checked="" type="checkbox"/> その他 他委員会 | | | |

●活動の背景
 (一社)新潟県建築士会 青年委員会では以前から各支部の実践活動発表をする場を関プロ大会の代表選考会も兼ねて「青年建築士研修会」として行ってきました。事業内容を充実させる事と県内会員をさらに呼び込む事を目的とし3年程前から他の委員会を交えて「新潟県建築士の日」として事業の拡充を図りました

●活動目的
 交流の場づくりを通して、県内建築士の情報交換を図る

●活動内容と成果

「活動概要」
 県内建築士に向けて、各種イベント、情報交換

「開催日時・会場」
 開催日時：平成31年2月23日(土) 13:00-18:00
 会場：長岡グランドホテル

「参加者」
 県内建築士90名

「開催内容」

- 青年委員会：各支部活動報告、・・・県内15の全支部青年委員より活動報告、意見発表
- 技術委員会：県内学生向け設計コンペ・・・堀部安嗣氏による最終審査
- 技術委員会：基調講演・・・堀部安嗣氏による基調講演
- 組織委員会：免許交付式・・・県内1級、2級建築士合格者への免許交付式

「成果」
 大勢の参加を頂き、県内建築士の情報共有の場となったと思います。

●集客方法
 各支部への動員依頼、SNSでの広報

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|------|-----|---|-------------|----|-----|----|-----|---|
| ●活動収支 | 収入 | | | | 支出 | | | | | 計 |
| | 運 営 側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参 加 者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | |
| ●来場者 | 25 | | 25 | | 90 | 16 | | | 106 | |

連携・協力組織



写真①



写真②

●今後の課題
 更なる動員に向けての周知活動と企画内容の充実

●今後の計画
 令和1年度の開催も決まっており、内容充実に向けて検討を重ねる

| | | | |
|------------|---|------------------|---|
| 問い合わせ先 | (公社)新潟県建築士会 青年委員会 | | 担当者 |
| 連絡先 | TEL 025-378-5666 | FAX 025-285-2911 | e-mail kensikai@025arc.net |
| ホームページアドレス | http://www.025arc.net/ | | |

地域実践活動事例報告シート

| | | | | | | | | | | |
|---|---|------|------------------|-----|--|---|-----|----|-----|----|
| 平成30年度 | <input type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック | | | | | | | | | |
| 建築士会名 (支部等含む) | (一社)新潟県建築士会 青年委員会 | | | 事業名 | 青年委員長意見交換会 | | | | | |
| ●活動の種別 | <input type="checkbox"/> 建築物調査、保存・再生 <input type="checkbox"/> 景観形成、街並み保存・修景 <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 住まいづくり <input type="checkbox"/> 住環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 会員拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input type="checkbox"/> 次世代育成 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | | | | |
| ●企画運営団体 | <input checked="" type="checkbox"/> 上記建築士会 9名 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | |
| ●活動の背景 | 県内各支部青年委員会の活動状況把握、情報の共有、連携づくりの場の必要性があった | | | | | | | | | |
| ●活動目的 | 県内各支部青年委員会の活動状況把握、情報の共有、連携づくりの場を通して各支部青年委員会の活動の活性化を図る | | | | | | | | | |
| ●活動内容と成果 | <p>「活動概要」 県内各支部青年委員長を対象に、情報交換、意見交換をした</p> <p>「開催日時・会場」 開催日時：平成31年4月20日(土) 13:00-18:00 会場：長岡まちなかキャンパス</p> <p>「参加者」 県内青年委員長15名</p> <p>「開催内容」 グループディスカッション</p> <p>「成果」 有意義な情報交換の場となった</p> | | | | | | | | | |
| ●集客方法 | 各支部への動員依頼 | | | | | | | | | |
| ●活動収支 | 収入 | | | | | 支出 | | | | |
| ●来場者 | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | 計 |
| | | 9 | | 9 | | 12 | | | | 12 |
| 連携・協力組織 | | | | | | | | | | |
|  | | | | |  | | | | | |
| 写真① | | | | | 写真② | | | | | |
| ●今後の課題 | 各支部の連携をどうやって構築していくか。議題について | | | | | | | | | |
| ●今後の計画 | これからは関ブロ新潟大会を見据えて、支部間の連携づくりや交流をしていきたいと思っています | | | | | | | | | |
| 問い合わせ先 | (公社)新潟県建築士会 青年委員会 | | | | | 担当者 | | | | |
| 連絡先 | TEL 025-378-5666 | | FAX 025-285-2911 | | | e-mail kensikai@025arc.net | | | | |
| ホームページアドレス | | | | | | http://www.025arc.net/ | | | | |

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 千葉県建築士会 青年委員会 事業名 設計製図課題参考施設見学会及び合格祝賀会

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● 活動の背景
 昨今の建築士試験受験者数の減及び建築士高齢化に伴い、次世代の建築士会を担う青年委員会の構成委員数減少が著しい。

● 活動目的
 「設計製図課題参考施設見学会」は建築士を目指す若者をサポートする活動であり、また企画を通じて他業種との理解や交流を深め、建築士会活動の周知を目的とする。更に「建築士試験合格祝賀会」では青年層建築士に建築士会活動を紹介し、新規会員拡大と次世代青年委員の育成を目指す。

● 活動内容と成果
 【活動内容】
設計製図課題参考施設見学会
 日時：2018年8月25日(土) 12:00～ 場所：千葉県稲毛区 スポーツジム
 参加人数：一般 30名 ※スタッフは別途10名程度
 概要：6班に分かれ参考施設(スポーツジム)を見学。その後近隣施設にて青年委員による製図課題のポイントを講習。
合格祝賀会
 日時：2019年2月23日(土) 17:00～二次会まで 場所：千葉県建築会館8階
 【活動成果】
 施設見学会では例年通り募集締切前に定員となり、沢山の受験者に周知が出来る結果となった。受験者にとっては座学でしか製図を学べない環境の中で、実際の製図課題に近い施設を見学できる事に満足の声が多かった。合格祝賀会においては、同世代の先輩青年層建築士が接する方が打ち解けやすく、結果一級建築士は10名もその場で入会頂くことが出来た。

● 集客方法
 ①FB・HPなどによるSNS ②賛助会員企業での案内・掲示

| ●活動収支 | 収入 | | | 支出 | | | |
|---------|-------------|------|-----|----|-----|----|----|
| | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 一般 | 計 |
| | | 9 | | 9 | | 30 | 30 |
| 連携・協力組織 | 日建学院、総合資格学院 | | | | | | |



施設見学会講義の様子

合格祝賀会参加者集合写真

● 今後の課題
 ・施設見学会は時期的な条件が厳しいので、協力施設を探すのは毎回難しく、また交渉も困難
 ・青年委員会の企画以外で直接施設に交渉する受験生など当方の管理外での関連施設への迷惑対応
 ・イベントへの参加者を新規入会に結び付ける更なる工夫

● 今後の計画
 ・見学会やその他のイベントの企画から開催及びその後のフォローまでをマニュアル化・省力化を図る
 ・余力を他の新たな活動や企画にまわして、委員会活動の活性化を目指す

問い合わせ先 一般社団法人 千葉県建築士会 青年委員会 担当者 石井 勲帥
 連絡先 TEL 043-202-2100 FAX 043-202-2101 e-mail LEB02573@nifty.ne.jp
 ホームページアドレス <http://chiba-kenchikushikai.com/>

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)東京建築士会 青年委員会 事業名 ビジネスチャンスを掴め! 建築士による不動産との向き合い方 不動産キャッシュフローの基礎講座

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● 活動の背景
 近年、建築士を取り巻く状況は多様化し新築・リフォームのみならず空き家対策や中古住宅活用、相続に関わる土地の運用まで幅広くなりつつある。特に事業運営を左右する事業計画については建築士が苦手意識を持つ人が多く、宅建士やファイナンシャルプランナーなど事業計画に強く建築に携わる方に協力を求めることが多くある。これからの建築士は事業計画についても知る必要があると考えている。

● 活動目的
 事業計画を建築士がしっかりと理解し、建物の企画段階から事業性を意識することで、事業主が求めているより良い建物を提案できる建築士の育成を目的とする

● 活動内容と成果
 【活動内容】
 日時：2018年10月4日(木) 14:00~17:00
 場所：東京建築士会 会議室
 講師：高橋 寿太郎 氏(創造系不動産株式会社)
 ①創造系不動産の会社紹介、建築・不動産を取り巻く現状
 ②実際のキャッシュフロー(事業収支計画書)の事例(鉄骨造・木造)を基に比較検討
 【活動成果】
 前半は、建築・不動産を取り巻く現状を踏まえ、何故建築士が不動産の勉強をする必要があるのか、また不動産を学ぶことで、建築士にとっての様なメリットがあるのかを学んだ。後半は、実際のキャッシュフローを見ながら、鉄骨造・木造の場合の違いや、キャッシュフローのポイントとなる項目について学んだ。参加者にマイクを渡し、随所で意見交換を交えたため、参加者は意欲的に参加していた。また、実務で不動産について扱う参加者が複数いた。実務が必要とされている内容であった。

● 集客方法
 ①東京建築士会HPへの掲載 ②会報誌へのチラシ封入 ③FBでの告知 ④主催者側での告知(FB等)

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----|--------------|-----|---|-----|----|----|----|---------|--|
| ●活動収支 | 収入 | 参加費 180,000円 | | | | | | 支出 | 68,667円 | |
| | 運営側 | 建築士会 | 事務局 | 計 | 参加者 | 会員 | 一般 | 学生 | 計 | |
| | 7 | 1 | 8 | | 30 | 14 | 1 | | 45 | |

連携・協力組織



写真① セミナーの様子



写真② 参加者との意見交換の様子

● 今後の課題
 平日開催だったにも関わらず多数の参加があった。建築士向けの講座を想定していたが学生も一般申込にて参加があった。学生にも注目されるセミナーを今後も開催して行きたいので、学生料金設定も検討が必要と思われる。

● 今後の計画
 今後の計画として、キャッシュフローを実際に自身で操作することで、より理解を深める機会を作りたい。

| | | | |
|------------|---|------------------|---|
| 問い合わせ先 | 一般社団法人 東京建築士会 | 担当者 | 小林 剛士 |
| 連絡先 | TEL 03-3527-3100 | FAX 03-3527-3101 | e-mail info@tokyokenchikushikai.or.jp |
| ホームページアドレス | http://www.tokyokenchikushikai.or.jp | | |

地域実践活動事例報告シート

| | |
|--------|--|
| 平成30年度 | <input type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック |
|--------|--|

| | | | |
|------------------|------------------|-----|------------|
| 建築士会名 (支部等含む) | (一社)東京建築士会 青年委員会 | 事業名 | 仮囲いに絵を描こう! |
|------------------|------------------|-----|------------|

| | |
|--------|--|
| ●活動の種別 | <input type="checkbox"/> 建築物調査、保存・再生 <input type="checkbox"/> 景観形成、街並み保存・修景 <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 住まいづくり <input type="checkbox"/> 住環境整備 <input type="checkbox"/> 会員拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input checked="" type="checkbox"/> 次世代育成 <input type="checkbox"/> その他() |
|--------|--|

| | |
|---------|--|
| ●企画運営団体 | <input checked="" type="checkbox"/> 上記建築士会名 <input checked="" type="checkbox"/> その他(イベント主催:株式会社スポーツクラブNAS) |
|---------|--|

●活動の背景
 「乾汽船」所有のマンション「プラザタワー勝どき」が現在大規模改修中であり、建物周囲に仮囲いが設置されている。乾汽船よりコミュニティイベントの企画、運営を委託されているスポーツクラブNASより、その仮囲いに絵を描くイベントの企画運営の協力依頼を受けた。建築士会として地域貢献活動の一環となることからこの依頼を受け、「仮囲いに絵を描こう!」を共同開催する運びとなった。

●活動目的
 ワークショップを通して、子ども達がものづくりに必要な知識や経験を得て、建築に対する興味を持ってもらうことを目的とする。絵のテーマは「地域性(勝どきエリア)」と「建築的な内容」を組み合わせた「20年後の勝どきエリア」として、子ども達の視点から見た自分たちの住むまちづくりを考える機会とした。

●活動内容と成果

【活動内容】
 日時: 2018年10月20日(土) 9:00~12:00
 場所: プラザタワー勝どき(エントランスの一角)
 内容: A3用紙にペン・絵具・シールを使ってテーマに沿った絵を描いてもらい、ラミネートした上で仮囲いの一角に貼り出すワークショップ
 流れ: 1、建築士のおしごと紹介(青年委員によるパワーポイント)
 2、A3用紙にペン・クレヨン・シールを使ってテーマに沿った絵を描く
 3、建築士が絵について色々聞いたりアドバイスする
 4、絵が完成したら、希望者はその場でみんなに向かって絵についての発表を行う
 5、描いた絵をラミネート加工して仮囲いの一角に掲示(後日現場施工者が行った)

【活動成果】 想定定員30名を大幅に上回る35名近くの参加があった。エントランスの一角で開催していたため、事前応募では15名程度であったが、当日のワークショップを見て楽しそうだからと飛び入り参加してくれた方々も多かった。絵画が完成したら自分の描いた絵についてみんなの前で発表をする時間を設けたが、「自分の意見を伝える力」や「みんなとの一体感」を生み出すことができ非常に良い試みであった。

●集客方法
 主催者によるイベントチラシ配布

| | | | | | | | | |
|-------|-----|----------------|---------|----|-----|-----|---------------|--|
| ●活動収支 | 収入 | 85,000円(主催者支給) | | | | 支出 | 47,649円(材料費等) | |
| | 運営側 | 建築士会 | 主催者スタッフ | 計 | 参加者 | 子ども | 計 | |
| | | 11 | 5 | 16 | | 35 | 35 | |

| | |
|---------|----------------|
| 連携・協力組織 | 株式会社スポーツクラブNAS |
|---------|----------------|



イベント風景写真



仮囲い掲示写真

●今後の課題
 幼児の参加が多かったため、テーマ以外の絵を描く子ども達が多かった(テーマが理解できなかった)。また、建築士のお仕事紹介も行ったが、幼児には内容が少し難しかったと思われる。今後は低年齢にもわかり易いお仕事紹介資料を作成すると良いと感じた。

●今後の計画
 ①株式会社スポーツクラブNASとの連携(他企画も行う) ②絵画イベントの継続的な開催

| | | | |
|------------|---|------------------|---|
| 問い合わせ先 | 一般社団法人 東京建築士会 | 担当者 | 巽孝太郎 |
| 連絡先 | TEL 03-3527-3100 | FAX 03-3527-3101 | e-mail info@tokyokenchikushikai.or.jp |
| ホームページアドレス | http://www.tokyokenchikushikai.or.jp | | |

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

| | | | |
|------------------|------------------|-----|-----------------------|
| 建築士会名 (支部等含む) | (一社)東京建築士会 青年委員会 | 事業名 | 曳家が語る傾きを直す「沈下修正」ホントの話 |
|------------------|------------------|-----|-----------------------|

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● 活動の背景
 昨今の地震や水害により、家が傾いたり地盤が緩んだり、普段の想定を超えた被害が発生している。曳家職人はそのような混乱期に、被災者の平穏な生活を取り戻すために尽力している。しかし、正しい曳家技術を持つ職人も少なく、建築士も曳家の技術を評価できる人が少ないため、震災の現場では悪徳業者がはびこっている。震災等の被害にあった方が心配なく正しい修繕工事をうけられるよう、正しい知識を広めたいという趣旨から計画した。

● 活動目的
 建築士が曳家の事を知り、被災地で正しい監理、判断ができる建築士を増やすきっかけになる事を目的とする。

● 活動内容と成果

【活動内容】
 日時：2018年11月16日(金) 18:30~20:30
 場所：東京建築士会会議室
 内容：セミナー(120分)：沈下修正工事について 講師：曳家岡本代表 岡本氏
 現在も全国で曳家の現場を最前線で取り仕切り、職人でありながらセミナーや書籍執筆により啓蒙活動行うなど、様々な取り組みを行っている「岡本直也棟梁」を講師に招き、現状を語って頂く。

【活動成果】
 曳家岡本代表の岡本氏より、沈下修正工事における工法紹介や現場の現状と問題点、気をつけるポイント等を講演していただいた。新築工事では触れることのない、非日常の工事について認知度が低いため、工法の選定根拠や品質の評価、費用の相場等の判断ができる人が少なく、高い費用をかけて酷い工事が行われても誰も気づかない現状があることを知ることができた。講師の書籍も20部完売となり、参加者にも興味を持っていただけたのではないかとと思われる。

● 集客方法
 (一社)東京建築士会の会報と共にチラシを送付
 青年委員会へのメールによる広報

| | | | | | | | | | |
|-------|-----|------------|--|----|-----|----|----|--------|----|
| ●活動収支 | 収入 | 参加費 48000円 | | | | 支出 | | 38872円 | |
| | 運営側 | 建築士会 | | 計 | 参加者 | 会員 | 一般 | | 計 |
| | | 10 | | 10 | | 30 | 9 | | 39 |

連携・協力組織



セミナーの様子

セミナーの様子

● 今後の課題
 受講者の年齢層が高かったので若い人をどのように引き込むかが課題だと感じた。

● 今後の計画
 師からは、他にも話すテーマはあり機会があればやりたいと提案を頂いたので、第二回を行うかどうか検討していく。

| | | | |
|------------|---|------------------|---|
| 問い合わせ先 | 一般社団法人 東京建築士会 | 担当者 | 細田 義裕 |
| 連絡先 | TEL 03-3527-3100 | FAX 03-3527-3101 | e-mail info@tokyokenchikushikai.or.jp |
| ホームページアドレス | http://www.tokyokenchikushikai.or.jp | | |

地域実践活動事例報告シート

| | | | | |
|--------|--|--|--|--|
| 平成30年度 | <input type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック | | | |
|--------|--|--|--|--|

| | | | |
|------------------|------------------|-----|-----------------|
| 建築士会名 (支部等含む) | (一社)東京建築士会 青年委員会 | 事業名 | ふわふわ空気のお家をつくろう! |
|------------------|------------------|-----|-----------------|

| | |
|---------|--|
| ● 活動の種別 | <input type="checkbox"/> 建築物調査、保存・再生 <input type="checkbox"/> 景観形成、街並み保存・修景 <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 住まいづくり <input type="checkbox"/> 住環境整備 <input type="checkbox"/> 会員拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input checked="" type="checkbox"/> 次世代育成 <input type="checkbox"/> その他() |
|---------|--|

| | |
|----------|---|
| ● 企画運営団体 | <input checked="" type="checkbox"/> 上記建築士会名 <input checked="" type="checkbox"/> その他(イベント主催:都内小学校、協力:世田谷支部、多摩南部支部) |
|----------|---|

● 活動の背景
 今年1月21日(日)に都内小学校にて子供向けワークショップを開催し大変好評であった。このうわさが近隣の小学校の先生へ伝わり、同様のワークショップの開催依頼を頂くこととなった。

● 活動目的
 建築士による子ども向け防災ワークショップを開催することで、子どもたちの防災知識の向上と、ものづくりへの興味関心を高めることを目的とする。

● 活動内容と成果

【活動内容】
 日時:2018年11月17日(土)9:40~12:25
 場所:都内小学校 第二体育館
 内容:非常時でも手に入りやすい材料である、ゴミ袋とビニールひもを効果的につかって空気の家や防寒ポンチョを製作し、やわらかい材料でできる空間づくりの知識やゴミ袋の断熱性能や保温性能を体験する。
 また、建築士のお仕事紹介や、建築に関わるクイズ等を行い、建築業界及び建築士への興味関心を向上させる。

流れ:1時間目(45分):スタッフ準備
 2時間目(45分):建築士のお仕事紹介(パワーポイントによる)、防寒ポンチョづくり
 中休み(20分):づくり方説明(トイレ休憩など有り)
 3時間目(45分):空気の家づくり
 4時間目(45分):防災クイズ、質問コーナー、片付け

【活動成果】小学5年生の2クラス81名が参加。6チームに分かれてワークショップを行った。空気の家制作途中にも袋の下に潜り込んだり、完成後中に入ってのおのの空気のお家の温かさを体感しつつ、全チーム時間内に完成した。防災クイズでは積極的に質問があり、防災や建築士への興味関心の高さが感じられた。

● 集客方法
 学校の授業の一環として開催

| | | | | | | | | | |
|--------|-----|--------------|--------|---|-----|-----|--------------|----|--|
| ● 活動収支 | 収入 | 2000円(主催者支給) | | | | 支出 | 1,356円(材料費等) | | |
| | 運営側 | 建築士会 | 応援スタッフ | 計 | 参加者 | 子ども | 担任先生 | 計 | |
| | | 8 | 1 | 9 | | 81 | 2 | 83 | |

| | |
|---------|--------------|
| 連携・協力組織 | 世田谷支部、多摩南部支部 |
|---------|--------------|



建築士のお仕事紹介 ふわふわ空気の家完成

● 今後の課題
 材料(ゴミ袋、ひも)の違いによる注意事項の整理。 空気のお家の自立方法の検討。
 ひもの結び方、連結の仕方など基本的作業を取得させる方法の検討。
 作り方によって材料(ひも)が足りなくなる事象が発生防止の検討。
 完成後、空気の家で遊ぶ時間の確保。

● 今後の計画
 今後も継続した小学校でのワークショップ開催に向けて、手法の改善を行う。

| | | | |
|------------|---|------------------|---|
| 問い合わせ先 | 一般社団法人 東京建築士会 | 担当者 | 星野 隆夫 |
| 連絡先 | TEL 03-3527-3100 | FAX 03-3527-3101 | e-mail info@tokyokenchikushikai.or.jp |
| ホームページアドレス | http://www.tokyokenchikushikai.or.jp | | |

地域実践活動事例報告シート

| | |
|--------|--|
| 平成30年度 | <input type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック |
|--------|--|

| | | | |
|------------------|--------------------|-----|---------------|
| 建築士会名 (支部等含む) | 群馬建築士会 青年委員会・女性委員会 | 事業名 | ストローハウス、木箱づくり |
|------------------|--------------------|-----|---------------|

| | |
|---------|--|
| ●活動の種類別 | <input type="checkbox"/> 建築物調査、保存・再生 <input type="checkbox"/> 景観形成、街並み保存・修景 <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 住まいづくり <input type="checkbox"/> 住環境整備 <input type="checkbox"/> 会員拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input type="checkbox"/> 次世代育成 <input type="checkbox"/> その他() |
|---------|--|

| | |
|---------|---|
| ●企画運営団体 | <input checked="" type="checkbox"/> 上記建築士会 <input checked="" type="checkbox"/> その他(群馬建築士会 青年委員会OGの会社、株式会社 エクテス) |
|---------|---|

●活動の背景
 今年、毎年群馬県が開催している『花と緑のぐんまづくり』が吉岡町で開催されました(開催期間4月14日から5月13日)。青年委員会OGの方が企業ブースを期間中出展し、ストローハウスづくりや木箱づくり体験会を期間中実施し、最終日のみ群馬建築士会 青年委員会と女性委員会が場所をお借りして、ストローハウスづくりと木箱作りを実施しました。

●活動目的
 関フロ内ではストローハウスづくりの地域実践活動報告を聴く機会がしばしばあります。群馬建築士会でも女性委員会が実施しておりますが、青年委員会では未実施でした。青年委員会の役員もストローハウスづくりを体験し、各自が今後、地元での地域活動につなげることを目的としました。

●活動内容と成果
 活動内容 ストローハウス、木箱づくり
 日時 平成30年5月13日(日)
 10時から14時30分
 会場 花と緑のぐんまづくり in吉岡
 メイン会場 (吉岡町役場周辺)
 成果
 子供や大人がストローハウスや箱づくりを体験し、集中して物づくりを体験しました。青年委員会の役員もストローハウスづくりを体験したので、今後の青年委員会の地域活動の展開に期待ができます。また、今回、はじめて青年委員会の地域活動に参加したメンバーもいて、建築士会の次世代の育成の場にもなりました。また、のぼり旗を出店ブースのまわりに立てたことで、建築士会のPRができました。

●集客方法
 『花と緑のぐんまづくり』のお客様に来店ブースに立ち寄ってもらう

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----|------|-----|---|-----|----|-----|----|-----|----|
| ●活動収支 | 収入 | 0円 | | | | | | | 支出 | 0円 |
| ●来場者 | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | 計 |
| | | 7 | 1 | 8 | | | | 26 | 31 | 57 |

連携・協力組織 株式会社 エクテス



写真①



写真②

●今後の課題
 ストローハウスづくりというコンテンツを青年委員会でも活用していきたいです。

●今後の計画
 青年委員会での活動や各支部での活動につながることを期待できます。

| | | | |
|------------|---|------------------|---|
| 問い合わせ先 | 一般社団法人 群馬建築士会 青年委員会 | 担当者 | 藤川 匠 |
| 連絡先 | TEL 027-252-2434 | FAX 027-252-2565 | e-mail LEE06153@nifty.com |
| ホームページアドレス | http://gunmakenchikushikai.or.jp/ | | |

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 群馬建築士会 青年委員会 事業名 『建築士の日(7月1日)』のPR ～清掃活動～

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会 その他()

●活動の背景
『建築士の日』(7月1日)に関連したPR活動で、今年で8回目になります。

●活動目的
建築士会の存在を地域の人々に知って頂くとともに、参加者が建築士の意識を再確認する日としています。
参加者が地域活動について考える機会にもなります。

●活動内容と成果
活動内容 清掃活動と施設見学
懇親会も開催し、会員の交流を図りました。

日時 平成30年7月1日(日)
9時から10時00分 清掃活動
清掃活動後に施設見学

会場 清掃会場 太田市の中心市街地
見学施設 太田市美術館・図書館

成果 のぼり旗を持ちながら市の中心地を清掃することで、地域の人々に建築士会をPRしました。
今回も新聞社から取材を受け、新聞に活動を掲載して頂きました。
また、ゴミを拾うことで、心も浄化されました。

●集客方法
青年委員会内で告知

| | | | | | | | | | |
|-------|----|-------------------|--|--|--|--|--|----|--------|
| ●活動収支 | 収入 | 3,000円 (青年委員会活動費) | | | | | | 支出 | 3,000円 |
|-------|----|-------------------|--|--|--|--|--|----|--------|

| | | | | | | | | | | |
|------|-----|------|-----|---|-----|----|-----|----|-----|----|
| ●来場者 | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | 計 |
| | | 3 | | 3 | | 15 | | | | 18 |

連携・協力組織 太田市



写真① 清掃後の集合写真 写真② 市街地での清掃活動の様子

●今後の課題
『建築士の日』がブロック会青年協の大会の日程に近い為、開催日は悩みの種です。また、今年は、清掃活動の前日に懇親会を開催したのですが、前日の懇親会は控えたほうが良いことがわかりました。

●今後の計画
来年度も実施予定です。

| | | | |
|------------|---|--------|--------------------|
| 問い合わせ先 | 一般社団法人 群馬建築士会 青年委員会 | 担当者 | 小林 克敏 |
| 連絡先 | TEL 027-252-2434 FAX 027-252-2565 | e-mail | LEE06153@nifty.com |
| ホームページアドレス | http://gunmakenchikushikai.or.jp/ | | |

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 群馬建築士会 青年委員会 事業名 一級建築士設計製図試験 受験者向け課題施設見学会

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会 その他()

● 活動の背景
 関東甲信越ブロック会青年協理事会からの働き掛けにより始まり、今年が3回目の開催です。
 年々会員が減少しているので新規会員との接点が必要です。

● 活動目的
 一級建築士設計製図試験の受験者が、設計製図試験の課題「温水プールのある施設」と同様の用途の建物を実際に見学して、空間や動線等を理解し、課題施設に対する知識を深めてもらうことを目的としました。
 また、参加者に対して建築士会のPRを行うことを目的としました。

● 活動内容と成果
 活動内容 一級建築士設計製図の試験受験者向けの施設見学会です。
 屋内プール見学会後に文化センターに移動して設計製図試験の勉強会を行いました。
 日時 平成30年8月4日(土)
 14時から17時
 会場 群馬県内にある温水プールのある施設と文化センター
 参加費 会 員：無料
 非会員：無料
 成果 参加した受験者4名中2名が合格しました。

● 集客方法
 建築士会青年委員会役員の関係者へ告知
 資格学校へ受験者に案内を依頼

● 活動収支

| | | | | | | | | | |
|----|---------|--|--|--|----|---------|--|--|--|
| 収入 | 10,000円 | | | | 支出 | 10,000円 | | | |
|----|---------|--|--|--|----|---------|--|--|--|

● 来場者

| 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | 計 |
|-----|------|-----|---|-----|----|-----|----|-----|---|
| | 3 | | 3 | | | | | 4 | |

連携・協力組織 見学施設



写真① 施設見学会の様子

写真② 勉強会の様子

● 今後の課題
 20名程度の参加者が集まることを期待したのですが、建築士会関係者のみの参加になってしまいました。青年委員会内に受験者に質の高いアドバイスができる役員が複数人いることから、今後もなんらかの形で見学会や勉強会を継続していきたいです。今後は少人数の参加者を対象にした勉強会を開催していきたいです。

● 今後の計画
 来年度も実施予定です。

問い合わせ先 一般社団法人 群馬建築士会 青年委員会 担当者 島崎 重徳
 連絡先 TEL 027-252-2434 FAX 027-252-2565 e-mail LEE06153@nifty.com
 ホームページアドレス <http://gunmakenchikushikai.or.jp/>

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 群馬建築士会 事業名 第36回 群馬建築士会 チャリティーゴルフ大会

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他(チャリティー、会員親睦)

● 企画運営団体 上記建築士会 その他()

● 活動の背景
 第36回目の大会であり、毎年1回、青年委員会が企画・運営して開催しています。

● 活動目的
 チャリティーによる社会貢献と建築士会のPRと会員の親睦を深めることを目的としています。

● 活動内容と成果

活動内容 チャリティーゴルフ大会
 プレー後、表彰式を開催

日時 平成30年11月28日(水)
 8時からプレー開始

会場 玉村ゴルフ場

成果 参加者からの義援金10万円を上毛新聞社『愛の募金』に寄付しました。社会福祉のために使われます。
 参加者の親睦も深めることができました。

● 集客方法
 建築士会内で告知

● 活動収支

| | | | | | | | | | |
|----|----------|--|--|--|--|--|--|----|----------|
| 収入 | 221,800円 | | | | | | | 支出 | 221,800円 |
|----|----------|--|--|--|--|--|--|----|----------|

● 来場者

| 運営側 | 建築士会 | | | 他団体 | | | 計 | | | 参加者 |
|-----|------|--|--|-----|--|--|----|--|---|-----|
| | 3 | | | 3 | | | 35 | | 5 | |
| | | | | | | | | | | |

連携・協力組織 玉村ゴルフ場



写真① 受付の様子



写真② プレー前の記念撮影

● 今後の課題
 参加者がもっと増えるよう告知や準備を早めたいです。また、ゴルフをしない若手にも参加してもらえるよう勧誘したいです。

● 今後の計画
 来年度も実施予定です。

問い合わせ先 一般社団法人 群馬建築士会 青年委員会 担当者 島崎 重徳
 連絡先 TEL 027-252-2434 FAX 027-252-2565 e-mail LEE06153@nifty.com
 ホームページアドレス <http://gunmakenchikushikai.or.jp/>

地域実践活動事例報告シート

平成29年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 山梨県建築士会 青年部会 事業名 山梨県建築士の集い実行委員会

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● 活動の背景
 県内の建築士の活動がここ数年見えにくくなっていったこともあり、建築士の活動を一同に見ることが出来るミニ関プロの要素で、長野県の実例などを参考にして、2018年よりスタートしている取り組みです。

● 活動目的
 青年部会を中心とするものの、実行委員会形式を取ることで、定期的に支部青年部長、女性部、行政の建築士の方などが話し合い、年に一度この機会を運営することにより、活動状況の共有や協働することによって生まれた信頼関係など、山梨県の将来の円滑な建築を描ける場となっていて、それが目的といえます。

● 活動内容と成果
 【活動内容】
 第2回山梨県建築士の集い 日時：2019年2月23日(水) 13:30～(懇親会17:30～)
 場所：甲府法人会館(甲府法人会館(山梨県甲府市中央四丁目12-21))
 第1部 地域実践活動紹介 13:30 開始(会場 3F ホール) ・各支部(7分予定) ・会員外活動など
 第2部 建築士免許交付式 15:15 開始
 第3部 建築士の集い講演会「やまなしの住まい」(CPD 認定講座) 15:30 開始・講師 田中勝氏(山梨大学教授)
 大懇親会 17:30 開始
 【活動成果】
 ・参加者76人(懇親会49人)の親会や事務局の協力も心強かった。各活動報告から、発表者相互にイベント参加の紹介が行われたり、講演会は山梨の住まいの文化に触れるとともに、大学との連携のにて可能になることなどが感じられ実践に移したいことを各位感じていた様子。懇親会には、会長以下理事の方々も多数お越しいただき、新規合格者も4名の参加があり、各位交流がはかられた。

● 集客方法
 ①山梨県建築士会及び青年部会HPへの掲載 ②会報誌への準備情報の掲載及びチラシ封入 ③FBでの告知
 ④各支部へ理事会での周知

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----|----------------|-----|----|-----|----|----|----|---------|--|
| ●活動収支 | 収入 | 懇親会費ほか 240000円 | | | | | | 支出 | 240000円 | |
| | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 一般 | | 計 | |
| | | 15 | | 15 | | 68 | 8 | | 76 | |

連携・協力組織 山梨県建築士会事務局(第2部交付式は事務局運営)



第3部講演会 第2部免許証交付式

● 今後の課題
 ・会場に関する事、当日の参加者誘導に関する事、参加募集や資料切が遅れてしまって不安だったこと、様々な周知の時期が遅かったこと、関プロ第一分科会選考会的要素については、アンケートを作成し意見を参加者全員より求めるなどがある。

● 今後の計画
 第3回山梨県建築士の集いに向けて、第2回の反省が3月に行われ、年3回の実行委員会の大凡の日程(7月上旬・10月下旬・2月上旬)を定め、持続可能性を高めるために運営の円滑化を目指し、2020年2月の開催を予定している。

問い合わせ先 山梨県建築士の集い実行委員会 担当者 長坂治
 連絡先 TEL 080-5401-9193 FAX 0551-45-8770 e-mail seinen@ykenchikushi.org
<https://seinen.ykenchikushi.org/yamanashi>

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海ブロック 東北ブロック 東甲信ブロック 東海北ブロック 畿ブロック
 中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 支 等含む 一社) 神奈川県建築士会 事業名 会員増強関連事業 二級建築士受験者向け・構造勉強会

● 活動の種別 建築物調査 保存 再生 景観形成 街並み保存 修景 地域活性化 教育 人づくり
 災まちづくり コユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
 建築士会 の周知 次世代育成 その他

● 企画 営団体 上記建築士会名 その他

● 活動の背景
 ・定期的にRC造が出題される二級試験において、図面の構成や書き方を丸暗記するのではなく、RC構造の基本を理解した上で製図のイメージを掴んでもらうことの重要性から。
 ・1/10スケールの模型を活用することで、断面、矩計、図等における線の一本一本がどのように組み立てられているかを会話を交えて楽しく理解してもらえる。

● 活動目的
 1) 20代会員、二級建築士取得者の入会率向上
 2) 構造を立体的に捉える勉強会とし、受験予備校等の指導では届かない部分について補完する

● 活動内容と成果
 ・開催日時?平成 10年7月18日 (水)

 作図するだけでは解らないRC造の細かな部分を、模型・伏図模型を使い手で触れ、目で見て学んでもらった。
 また、資格者ではないので殆どの方々が士会員ではなく、しっかりと建築士会のPRを行い会員増強活動のきっかけとなった。
 参加者は10名と少なかったが、皆さん楽しみながら学んでいる様子だった。
 リアルレイヤー模型(柱・梁・床などの構造要素について、レイヤーを重ねるようにして理解するための模型)を使って、1階平面図、2階床伏せ模型、2階平面図を重ねて、構造要素をレイヤーとして可視化し学んでもらった。

● 客方法
 本会WEBサイト、facebook、本会の特別会員となっている受験予備校でのPR

| | | | | | | | | | | |
|-------|----|--------|-----|---|-----|----|-----|----|---------|---|
| ●活動収支 | 収入 | ¥7,000 | | | | | | 支出 | ¥10,000 | |
| ●来場者 | 営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | 計 |
| | | 5 | | 5 | | 5 | | 7 | | |

携 協力組織 なし



写真① 断 模型を使って構 を確認

写真② リアルレイヤーを使ってレイヤーを確認

● 今後の課
 ・若い世代の方々へ建築士会のPR活動ができた。
 ・参加者から勉強会がとても身になり試験に合格することが出来たとお礼を言っていた。

● 今後の計画
 参加者が少なかったので次年度以降については、開催方法について委員会で検討していきたい。

| | | |
|------------|---|---|
| 問い合わせ先 | 一社 神奈川県建築士会・ 年委員会 | 担当者 山中 信悟 |
| 絡先 | TEL 045-201-1284 FAX | e-mail seinen@kanagawa-kentikusikai.com |
| ホームページアドレス | http://www.kanagawa-kentikusikai.com/iinkai/seinen/ | |

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海ブロック 東北ブロック 東甲信ブロック 東海北ブロック 畿ブロック
 中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 支 等含む 一社 神奈川県建築士会 事業名 建築士の工場見学 in断熱工場

● 活動の種別 建築物調査 保存 再生 景観形成 街並み保存 修景 地域活性化 教育 人づくり
 災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
 建築士 会 の周知 次世代育成 その他

● 企画 営団体 上記建築士会名 その他

● 活動の背景
 いつも目に見ている建材でも、知っていそうで知らない物が気付くとたくさんある。省エネへの課 を抱えるのこの時代に、もっと断熱材の事を詳しく知り今後の業務に役立てる、また勉強を じて会員同士の交流となるよう企画した。

● 活動目的
 会員増強
 意識向上、若手建築士育成

● 活動内容と成果
 ・ 催日時 平成30年11月15日 木
 ・ 催場所 旭ファイバーグラス 株式会社 湘南工場
 省エネ時代にもっと断熱材の事を知ってもらい明日の業務に役立てようということで、 年委員会にて企画し、 年委員会メンバーだけではなく全会員向けに広報をし、普段出会わない会員との交流も含めての企画となった。
 会員の参加費は¥1,000円、 会員の参加費は¥1,500円とし、30名の定員で募 した。

● 客方法
 新規合格者へメールにて案内、WEB、facebook、試 予備校の合格祝 会などで告知

| | | | | | | | | | | |
|-------|----|--------------|-----|---|-----|----|-----|----|--------|---|
| ●活動収支 | 収入 | 委員会予算 20,000 | | | | | | 支出 | 15,000 | |
| ●来場者 | 営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | 計 |
| | | | | | | 25 | | | | |

携 協力組織



写真① 座学で勉強



写真② 実 の断熱材を使って実 中

● 今後の課
 ・ 年委員会の活動PRができなかったので、PRの時 を確保したい。

● 今後の計画
 ・ 幅広い会員を招き、若手建築士とベテラン建築士が楽しみながら学び仲 づくりをしてもらう場としていきたい。

問い合わせ先 一社 神奈川県建築士会・ 年委員会 担当者 伊藤 誠一
 絡先 TEL 045-201-1284 FAX e-mail seinen@kanagawa-kentikusikai.com
 ホームページアドレス <http://www.kanagawa-kentikusikai.com/iinkai/seinen/>

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 一社) 神奈川県建築士会 事業名 会員増強関連事業「けんちくラーニングのススメ」

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● 活動の背景
 開催し始めた当初よりも参加者が増え、本会開催企画として再スタートを行って2年目を迎える本事業は、より多くの合格者に参加して頂ける企画になったため、新規合格者の方々と多くの会員が交流を持てる企画とした。

● 活動目的
 1) 会員増強
 2) 意識向上

● 活動内容と成果
 2月24日(日) 参加者150名
 ・今更聞けない確認申請講座/建築士会のPR/免許証交付式・祝賀会を開催
 ・参加者は一、二級ともに合格から時間が浅いこともあり、例年のように人気の実務養成の場として機能した。
 ・昨年よりも参加者が増え、150人を超えた。
 ・祝賀会では、各支部の支部長、各委員会の委員長にも参加して頂き、支部ごとのテーブルに分かれ合格者が自分の地域の士会員との交流を持てるようにした。

● 集客方法
 建築士会事務局(免許申請時にご案内)、WEB、facebook、試験予備校の合格祝賀会など

| ●活動収支 | 収入 | 委員会予算 0 | | | | 支出 | ¥200,000 | | | |
|-------|-----|---------|-----|----|-----|----|----------|----|-----|-----|
| ●来場者 | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | 計 |
| | | 25 | | 25 | | 30 | 150 | | | 150 |

連携・協力組織 神奈川県建築安全協会/神奈川県建築記者会



写真①



写真②

● 今後の課題
 1) 150名の合格者一人ひとりに免許証明書を授与するので、スムーズかつ重みのある方法を検討したい。

● 今後の計画
 平成29年度から本会事業となり2回目の開催となった。今後、参加人数が増えていく事を考え、もっと効率よく会員増強に貢献できるように検討していきたい。

| | | | |
|------------|---|--------|----------------------------------|
| 問い合わせ先 | 一社) 神奈川県建築士会・青年委員会 | 担当者 | 太田 真理子 |
| 連絡先 | TEL 045-201-1284 FAX | e-mail | seinen@kanagawa-kentikusikai.com |
| ホームページアドレス | http://www.kanagawa-kentikusikai.com/iinkai/seinen/ | | |

地域実践活動事例報告シート

| | | | | |
|------------------|---|-----|---------------------------|--|
| 平成30年度 | <input type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック | | | |
| 建築士会名 (支部等含む) | (一社) 神奈川県建築士会 | 事業名 | 会員増強関連事業 一級建築士受験者向け・施設見学会 | |
| ● 活動の種類別 | <input type="checkbox"/> 建築物調査、保存・再生 <input type="checkbox"/> 景観形成、街並み保存・修景 <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 住まいづくり <input type="checkbox"/> 住環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 会員拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input type="checkbox"/> 次世代育成 <input type="checkbox"/> その他() | | | |
| ● 企画運営団体 | <input checked="" type="checkbox"/> 上記建築士会名 <input type="checkbox"/> その他() | | | |

● 活動の背景

以前まで青年委員会企画としてきた一級建築士受験者向け施設見学会を、参加者が増加傾向にあることから神奈川県建築士会全体での取り組みとして再スタートした。

● 活動目的

1) 受験生向けの企画を開催する事で、建築士会の周知を図ると共に、施設の案内を通じたコミュニケーションをそのまま合格後の入会促進につなげる事を目的に本見学会を企画し実施するものとした。

● 活動内容と成果

開催日：8月14日(火) 参加者総数50名

※本年度については施設の性格上、人数の制約が生じた。
内容は以下の通り。

- 1) 一級製図試験の出題傾向のレクチャー
- 2) 施設の見学、計画の勘所について解説
- 3) 質疑応答など

課題発表後に、協力して頂ける施設を本会全体で検討し調整を行った。見学できる施設の決定や、資料を作成する為の事前調査ができる施設等の調整を、本会と連携して図ることができた。

● 集客方法

本会WEBサイト、facebook、本会の特別会員となっている受験予備校でのPR

| | | | | | | | | | | |
|---------|-----|---------------|-----|----|-----|----|-----|----|---------|----|
| ● 活動収支 | 収入 | 委員会予算 ¥20,000 | | | | | | 支出 | ¥20,000 | |
| ● 来場者 | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 一般 | 子ども | 計 |
| | | 10 | | 10 | | | | 50 | | 60 |
| 連携・協力組織 | なし | | | | | | | | | |



写真①



写真②

● 今後の課題

課題発表後の見学施設の検討、交渉に時間がないため実施日の検討や、開催内容の検討がさらに必要となる傾向にある。

● 今後の計画

次年度以降については継続するかの検討を重ねていきたい。

| | | | | |
|------------|---|-----|--------|--|
| 問い合わせ先 | (一社) 神奈川県建築士会・青年委員会 | | 担当者 | 奈良 直史 |
| 連絡先 | TEL 045-201-1284 | FAX | e-mail | seinen@kanagawa-kentikusikai.com |
| ホームページアドレス | http://www.kanagawa-kentikusikai.com/iinkai/seinen/ | | | |

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)栃木県建築士会青年委員会 事業名 共同研修

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他(他団体との交流)

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● 活動の背景
 栃木県建築士会青年委員会と全建総連栃木県建設労働組合青年部との交流を図る

● 活動目的
 ・交流を通して、今後の活動につながることを目的としている

● 活動内容と成果
 日時 : 平成30年9月30日(日) 8:00~18:00
 開催場所 : 鎌倉・江の島方面
 内容 : 建築見学を含めた交流会
 参加人数 : 45名程度
 活動成果 : 栃木県建築士会青年委員会と全建総連栃木建労青年部との初の共同事業。お互いの交流という目的もあるが、今後につながることを背景としている。令和元年度も秋ごろを目標に計画しており、内容は現在検討中。

| ●活動収支 | 収入 | | | | | | | 支出 | | |
|-------|-----|------|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|
| ●来場者 | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 建築士 | 他団体 | 子ども | 計 |
| | | 5 | 6 | 11 | | 5 | 5 | 20 | 15 | 45 |

連携・協力組織



● 今後の課題
 参加者に偏り(建築士会側の参加が少ない)があったので、早い時期からの告知と周知をする

● 今後の計画
 今年度は何らかの勉強会の開催を計画中

| | | | |
|------------|------------------|------------------|---|
| 問い合わせ先 | (一社)栃木県建築士会青年委員会 | 担当者 | 栗原 弘 |
| 連絡先 | TEL 028-639-3150 | FAX 028-639-3160 | e-mail tcsabe@tochigi-kenchikushikai.or.jp |
| ホームページアドレス | | | |

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 □北海道ブロック □東北ブロック ■関東甲信越ブロック □東海北陸ブロック □近畿ブロック
□中四国ブロック □九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 埼玉建築士会 青年委員会 事業名 戸田市『空き家』利活用事業

● 活動の種別 ■建築物調査、保存・再生 □景観形成、街並み保存・修景 ■地域活性化 □教育・人づくり
□防災まちづくり □ユニバーサルデザイン □環境保全 ■住まいづくり □住環境整備 ■会員拡大
■建築士(会)の周知 □次世代育成 □その他()

● 企画運営団体 ■上記建築士会名 ■その他(戸田市役所・ものづくり大学戸田研究室)

● 活動の背景
東京都に隣接する首都圏埼玉県戸田市でも、近年、空き家問題があり、戸田市まちづくり推進課より建築士会に協力依頼あった。

● 活動目的
戸田市『空き家バンク』開設にあたりPR事業として建築士会、ものづくり大学戸田研究室と共に活動協力。建築士、大学生と現況調査、提案をすることにより世代を超えたコラボレーションによる地域活性化・普及活動を目的とする。

● 活動内容と成果

【活動内容】
戸田市にある実際の空き家を調査をし、利活用・リノベーションの提案。
地域交流センター「あいパル」市民ギャラリーと戸田市役所にて、空き家リフォーム展示会を7日間開催。
ギャラリーでは、建築相談・リフォームプラン・木製遊具・カフェ・キッズコーナーなどを設置。

【活動成果】
上記活動をすることで楽しみながら、空き家問題と空き家バンク制度に興味をもっていただいた。
来場者にアンケートや、建築士のPRや活動を紹介する良い機会となった。
ものづくり大学戸田研究室との連携により、問題点を学術的に分析できた。



● 集客方法
①埼玉建築士会HPへの掲載 ②戸田市のHP告知 ③FBでの告知
④各支部へメールでの周知 ⑤他県青年委員会へのお誘い

| ●活動収支 | 収入 | | 参加費 0円 | | | | 支出 | | 15,000円 | |
|-------|-----|------|--------|----|-----|----|-----|----|---------|-----|
| | 運営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参加者 | 会員 | 子供 | 一般 | 新聞社・TV | 計 |
| | | 3 | 10 | 13 | 10 | 30 | 232 | 3 | | 275 |

連携・協力組織 戸田市役所・ものづくり大学戸田研究室



地域交流センターでの展示会風景

ポスターと戸田市役所での展示風景

● 今後の課題
・一般的な戸建て住宅のリノベーションを来場者にご覧いただき、新築以外の選択肢もあることを認識し興味をもってもらう良い企画となったが、継続して活動を行わないと単体イベントで終わってしまうので今後も活動していきたい。

● 今後の計画
・令和元年4月より戸田市HPにて『空き家バンク』開始。建築士会と協力しながら活動を行う予定。 <https://toda-akiya.jp/>

問い合わせ先 一般社団法人 埼玉建築士会 担当者 羽柴
連絡先 TEL 048-861-8221 FAX 048-864-8706 e-mail LED06041@nifty.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.ksaitama.or.jp/>

地域実践活動事例報告シート

平成30年度 北海ブロック 東北ブロック 東甲信ブロック 東海北ブロック 畿ブロック
 中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 支 等含む 一社 埼玉建築士会 年委員会 事業名 年委員会企画 建物見学会

● 活動の種別 建築物調査 保存 再生 景観形成 街並み保存 修景 地域活性化 教育 人づくり
 災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
 建築士会 の周知 次世代育成 その他

● 企画 営団体 上記建築士会名 その他

● 活動の背景
 令和元年度 東甲信 建築士会ブロック会埼玉大会の 催地である秩父市の名建築をめぐり、建物と街の 力を事前に感じてもらうことを目的とする。

● 活動目的
 一般的には見学することができない名建築を体 する機会を、建築士会で行なうことにより、会員増強・普及活動に役立てること。また、携して、該当地域の良さを感じてもらうこと。

● 活動内容と成果

【活動内容】
 日時 2019年4月5日 10 00 12 00
 場所 旧・秩父セメント第2工場
 第1 40分 座学 業界歴史・セメントの製 説明
 第2 80分 工場見学

【活動成果】
 古い名建築 工場 を見学することで、現在の建物との比 ができ、設計・施工のスキルアップにつながる。また、地元企業との 携 の強化。座学によるセメント材料の知識獲得。定員30名のところ予想を上回る35名の参加。このようなイベントを再度行ってほしい要望が多数あがった。

● 客方法
 ①埼玉建築士会HPへの掲 ②他イベントでの告知 ③FBでの告知
 ④各支 ヘメールでの周知 ⑤他委員会への周知 ⑥他県 年委員会へのお誘い

| ●活動収支 | 収入 | | | | 参加費 0円 | | | 支出 0円 | | |
|-------|----|------|-----|---|--------|----|-----|-------|-----|----|
| | 営側 | 建築士会 | 他団体 | 計 | 参 加 者 | 会員 | 事務局 | 一般 | 新聞社 | 計 |
| | | 2 | 5 | 7 | | 32 | 1 | 2 | 1 | 36 |

携 協力組織 秩父太平洋セメント株式会社・太平洋セメント株式会社



参加者の 合写真



見学の様子

● 今後の課
 ・今回、 プロ記念事業として 年委員会企画で行なったが、他の委員会や団体とも 携し、継続して見学会を行なうことが課 。

● 今後の計画
 ・一級建築士試 の 建築や、要望の多い建築 見学先 をみつけ実 予定。

問い合わせ先 一般社団法人 埼玉建築士会 担当者 羽柴
 絡先 TEL 048-861-8221 FAX 048-864-8706 e-mail LED06041@nifty.ne.jp
 ホームページアドレス <http://www.ksaitama.or.jp/>

関東甲信越建築士会ブロック会 規程

(昭和 36 年 6 月 22 日制定) (昭和 39 年 5 月 18 日改正) (昭和 40 年 5 月 14 日改正) (昭和 49 年 9 月 25 日改正)
(平成 10 年 5 月 7 日改正) (平成 17 年 4 月 28 日改正) (平成 24 年 4 月 20 日改正) (平成 24 年 9 月 27 日改正)
(平成 25 年 4 月 26 日改正) (平成 26 年 4 月 18 日改正)

(名 称)

第 1 条 この会は、関東甲信越建築士会ブロック会（以下「本会」と言う。）と称する。

(組織及び目的)

第 2 条 本会は、次の建築士会（以下「各士会」という。）をもって組織し、各士会の業務向上と共通事項の調整並びに各士会への連絡等を行なうことをその目的とする。

| | | |
|-----------------|---|----------------|
| 一般社団法人 茨城県建築士会 | ・ | 一般社団法人 栃木県建築士会 |
| 一般社団法人 群馬建築士会 | ・ | 一般社団法人 埼玉建築士会 |
| 一般社団法人 千葉県建築士会 | ・ | 一般社団法人 東京建築士会 |
| 一般社団法人 神奈川県建築士会 | ・ | 一般社団法人 山梨県建築士会 |
| 一般社団法人 長野県建築士会 | ・ | 一般社団法人 新潟県建築士会 |

(事 業)

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。

- (1) 連合会の役員調整及び推薦。
- (2) 連合会の各委員会等への委員の推薦と、建築展など催しへの協力。
- (3) 各士会の運営改善に関する研究。
- (4) 建築士の活動助成に関する施策。
- (5) 青年建築士協議会、女性建築士協議会等への活動助成に関する施策。
- (6) 環境並びにまちなみ保存に関する研究。
- (7) 都市再開発及び都市計画に関する研究並びに建築。
- (8) 建築基準法等関係条例の改廃等に関する研究。
- (9) 建築士の福祉制度その他共通事項の調査研究。
- (10) その他、この会の目的を達成するために必要な事業。

(役員の設定)

第 4 条 本会に次の役員をおく。

| | |
|-------|--------|
| 会 長 | 1 名 |
| 副 会 長 | 2 名 |
| 常務理事 | 1 名 |
| 理 事 | 32 名以内 |
| 監 事 | 2 名 |

(役員を選出及び任期)

第 5 条 理事は各士会会員の中から選出（各士会より 3 名以内）し、会長及び副会長並びに監事のうちの 1 名は、理事の互選により選出する。

- 2 常務理事並びに監事のうちの 1 名は、事務局を受託する士会から選出し、当該士会の理事の数は 5 名以内とする。

- 3 会長及び副会長並びに監事のうちの1名の任期は1年とし、輪番制とする。
- 4 理事の任期は2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。
- 5 役員は、任期満了後も後任者が決定するまでその職務を行なう。
- 6 役員に欠員が生じたときは、理事会の議を経てこれを補充することができる。ただし、補充役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務権限)

- 第 6 条** 会長は、本会を代表し、本会の運営を掌る。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代理する。
 - 3 常務理事は、会長の指揮を受け会務を掌理する。
 - 4 理事は、理事会の構成員として、本会の運営に当る。
 - 5 監事は、会務及び会計を監査する。

(顧問、相談役)

- 第 7 条** この会に顧問及び相談役を置くことができる。
- 2 顧問及び相談役は、理事会に諮って会長が推薦する。
 - 3 顧問及び相談役は、会長の諮問に応じ、各種の会議に出席して意見を述べるることができる。
 - 4 顧問及び相談役の任期は、これを推薦した会長の任期に従う。

(会議の種類及び招集)

- 第 8 条** 会議は、理事会及び会長会とする。
- 2 理事会は、第4条の役員により構成し、その3分の2以上の出席（委任状も含む）をもって成立する。
 - 3 予算（補正を除く）及び決算を議決する理事会は、毎会計年度の終了した日から2ヵ月以内に、会長が召集し開催する。議長には会長が就任する。
 - 4 前号の他、会長は次に掲げる場合に理事会を招集し開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき
 - (2) 理事の2分の1以上から召集請求があったとき
 - (3) 監事から第6条第5号の規定に基づいて請求があったとき
 - 5 会長会は、会長が必要に応じて召集し開催する。

(理事会の議決事項)

- 第 9 条** 理事会は、次の事項を議決する。
- (1) 規程の変更
 - (2) 次年度の事業計画及び予算の承認
 - (3) 前年度の事業報告及び収支決算の承認
 - (4) この会の解散及び処分
 - (5) その他、本会の運営上の重要事項

(議決権及び裁決)

- 第 10 条** 理事会の議決権は、各役員1個の議決権を有する。裁決は過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長が決するものとする
なお、監事は理事会に出席して意見を述べることはできるが、議決に加わる

ことはできない。

(文書による裁決)

- 第 11 条** 会長が特に緊急を要すると認めるときは、理事会を開催することなく、文書による裁決をすることができる。ただし、当該裁決は、役員総数の4分の3以上の賛成をもって、その効力を有するものとする。
- 2 文書で裁決を得る場合は、前もって事項別の説明を付すことにより、賛否を採るものとする。

(会長会の業務)

- 第 12 条** 会長会は、次の業務を掌るものとする。
- (1) 理事会に付議すべき事項に関すること
 - (2) 連合会及び各士会間の調整に関すること
 - (3) その他、本会に関すること

(経費の支弁)

- 第 13 条** 本会の経費は、連合会の交付金、各士会会員の負担金その他の収入をもって支弁する。
- 2 会員負担金は、半額を平均割、半額を4月1日現在の各士会会員数割によるものとし、毎年予算で定める。

(会計年度)

- 第 14 条** 本会の会計年度は、毎年4月1日をもって始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(帳簿の種類)

- 第 15 条** 本会には、次の帳簿を備え付けなければならない。
- (1) 理事会の議事録及び会務処理簿
 - (2) 会計簿

(協議会等の設置)

- 第 16 条** 本会には、理事会の議を経て、青年建築士協議会及び女性建築士協議会を設けることができる。
- 2 青年建築士協議会及び女性建築士協議会の運営に関する規約は、各協議会で定め、理事会の承認を得るものとする。

(事務局の設置)

- 第 17 条** 本会の事務局は、東京建築士会内におく。ただし、第8条第3項の理事会開催に際しては、あらかじめ会長の所属する士会事務局と、本会の事務局とで協議する。
- 2 事務局に関する事は別に定める。

(雑則)

- 第 18 条** この規程に定めるもののほか、必要な事項は会長会に諮り別に定める。また、この規程の改廃、及び改正については、理事会が定める。

(付則) この規程は平成26年4月18日から施行する。

平成30年度関東甲信越建築士会ブロック会役員名簿

| 県名 | 会長 | 副会長 | 理事 | 常務理事 | 監事 |
|--------------|--------|-------|--------------------------|-------|---------|
| 新潟 平成30年 | 川ノ口 信一 | 長野 睦明 | 相田 幸一 | | ___は新理事 |
| 千葉 平成31年 | | 竹江 文章 | 蒲生 良隆 | | 久富 清敏 |
| 群馬 2020年 | | | 田仲 豊 高橋 康夫 城田 幸子 | | |
| 山梨 2021年 | | | 雨宮 健一 望月 雄二 土谷 芳仁 | | |
| 神奈川 2022年 | | | 金子 修司 長田 喜樹 上原 伸一 | | |
| 栃木 平成26年 | | | 青木 格次 和泉 卓哉 柴田 道夫 | | |
| 埼玉 平成27年 | | | 江口 満志 丸岡 庸一郎 佐藤 彰宏 | | |
| 茨城 平成28年 | | | 柴 和伸 武村 実 加藤 繁治 | | |
| 長野 平成29年 | | | 場々 洋介 依田 高彬 保高 治紀 | | |
| 東京 | | | 近角 真一 可児 才介 黒木 正郎 | 鴛海 浩康 | 定行 まり子 |

平成30年度 青年建築士協議会役員名簿

| 県名・大会担当年 | 青年協会長 | 同 副会長 | 同 理事 | 同 相談役 | 同 監事 |
|--------------|-------|-------|-----------------|-----------|-------|
| 栃木 平成30年 | | | 栗原 弘 工藤 健志 | | |
| 埼玉 平成31年 | | | 小林 克年 坂居 亮太郎 | | |
| 茨城 2020年 | | 横須賀 孝 | 早川 敏史 | | |
| 長野 2021年 | | | 寺澤 彰訓 清水 麗嘉 | | |
| 新潟 2022年 | | | 富樫 淳 平山 貴士 | 杉山 弘幸 | |
| 千葉 平成25年 | | | 笠井 重治 | 斎藤 敦 | 増田 敬之 |
| 東京 平成26年 | 後藤 直也 | | 細田 義裕 | 30年度会長担当県 | |
| 群馬 平成27年 | | 田村 貴大 | 島崎 重徳 | 31年度会長担当県 | |
| 山梨 平成28年 | | | 小林 弘幸 | | 長坂 治 |
| 神奈川 平成29年 | | | 田中 良明 阿見 久美 | | |

※平成30・31年度連合会青年委員会 ブロック推薦委員：寺澤彰訓(長野)、委員長推薦：小野澤裕子(東京)

平成30年度事業報告

1. 会長会（4回）

- (1) 平成30年4月12日 新潟県：ヒスイ王国（糸魚川市）（出席者9名）
①平成29年度事業報告及び収支計算書承認の件
②平成30年度事業計画（案）及び収支予算書（案）承認の件
- (2) 平成30年6月15日 栃木県：栃木グランドホテル（栃木市）（出席者8名）
①各都県会務状況について
②ブロック推薦連合会委員について他
- (3) 平成30年10月2日 東京都：東京建築士会会議室（中央区日本橋富沢町）（出席者10名）
①新三役について ②全国大会さいたま大会について他
- (4) 平成31年2月7日 東京都：東京建築士会会議室（中央区）（出席者10名）
①各都県会務状況について
②改正建築士制度における試験実施及び、免許登録制度について
③平成31年度関ブロ青年協埼玉大会について等

2. 理事会（3回）

- (1) 平成30年4月12日 新潟県：ヒスイ王国（糸魚川市）（出席者29名）
①平成29年度事業報告及び収支計算書承認の件
②平成30年度事業計画（案）及び収支予算書（案）承認の件
- (2) 平成30年10月2日 東京都：東京建築士会会議室（中央区日本橋富沢町）（出席者27名）
①平成30年度優良建築物表彰制度について
②全国大会さいたま大会について他
- (3) 平成31年2月7日 東京都：東京建築士会会議室（中央区）（出席者名26名）
①平成30年度青年協議会栃木大会について
②関ブロ推薦連合会まちづくり委員会、青年委員会報告について
③連合会省エネ全国調査、省エネ法への対応説明と、神奈川県会員増強調査報告

3. 青年建築士協議会（1回）

- 平成30年6月15日 栃木県：栃木グランドホテル（栃木市）（参加者420名）
全体会議Ⅰに引き続き、三分科会に分かれ討議。16日に第二分科会Ⅱと全体会議Ⅲを開催。
第一分科会最優秀発表（埼玉大会セッション発表）
「ツミキノチカラ」 中村 滋宏 氏（長野県・長野県6連覇）

4. 青年建築士協議会理事会（4回）

- (1) 平成30年6月14日 栃木県：栃木グランドホテル（栃木市）（出席者22名）
①平成30年度関ブロ栃木大会開催の確認事項について
②平成30年度役員改選について
- (2) 平成30年6月16日 栃木県：栃木グランドホテル（栃木市）（出席者20名）
①平成31年度関ブロ埼玉大会開催案について
②関ブロ青年協議会の今後の活動について

- (3) 平成 30 年 10 月 13 日 東京都：東京建築士会 会議室（中央区日本橋富沢町）（出席者 19 名）
 ①平成 31 年度関ブロ栃木大会開催案について（PC 会議）
 ②さいたま全国大会セッション等について

- (4) 平成 31 年 2 月 9 日 東京都：東京建築士会会議室（中央区）（出席者 18 名）
 ①平成 31 年度関ブロ埼玉大会、32 年度茨城大会について（PC 会議）
 ②各都県の活動と、各部会活動について

★全国青年委員長会議（1 回・日本建築士会連合会主催）

- (1) 平成 31 年 3 月 2～3 日 東京都：東京建築士会会議室（中央区）

5. 女性建築士協議会理事会（1 回）

- (1) 平成 30 年 6 月 1 日 東京都：東京建築士会会議室（中央区晴海）（出席者 20 名）
 ①各県活動報告、関ブロ青年協栃木大会及び連合会の活動について

★全国女性建築士連絡協議会高知大会（1 回 日本建築士会連合会主催）

- (1) 平成 30 年 7 月 28～29 日 高知県：高知県立県民文化ホール他（高知市）で開催。

6. 事務局長、職員合同会議（1 回）

- (1) 平成 31 年 1 月 31 日～2 月 1 日 神奈川県：横浜ローズホテル（横浜市）（出席者 15 名）
 ①各種講習会実施状況と、各県入退会状況、改正建築士法への対応について

7. 事務局長臨時会議（1 回）

- (1) 平成 31 年 2 月 28 日 東京都：かこいや霞ヶ関ビル店（港区）（出席者 10 名）
 ①各県入退会状況、改正建築士法における免許登録制度の課題について

8. その他職員関係会議（1 回）

- (1) 平成 31 年 2 月 28 日 東京都：東海大学校友会（港区）
 全国職員会議 <主催：（公社）日本建築士会連合会>

9. 慶弔

- (1) 国及び国土交通大臣等表彰を受けられた本会関係者 なし
 (2) 平成 30 年度中に亡くなられた本会役員関係の方々 なし

10. 監査会（1 回）

- (1) 平成 31 年 4 月 12 日 ホテルウェルコ成田（成田市）

11. 平成 30 年度 優良建築物表彰者

| 推薦士会 | 対象作品名 | 受賞者名 |
|------|--------------------|--|
| 千葉県 | 認定こども園 まこと第三幼稚園 | 株式会社がもう設計事務所 蒲生 良隆 氏 一級建築士事務所白石輝久アトリエ 白石 輝久 氏 |
| 長野県 | Shell House もりのことば | 遠野未来建築事務所 遠野 未来 氏 |
| 神奈川県 | 地形の残像 | 有限会社 acaa 建築研究所 岸本 和彦 氏 |

12. まちづくり関係会議（2回）

（1）平成30年11月16日～17日 群馬県：桐生市・みどり市
上信越まちづくり交流会（新潟県・長野県・群馬県）が開催された。 （出席者 52名）

（2）平成31年1月29日 東京都：東京建築士会会議室
福祉まちづくり部会南関東地区会議（千葉・埼玉・神奈川・東京有志） （出席者 15名）

★全国まちづくり会議（1回 主催：日本建築士会連合会）

（1）平成31年2月1日～2日 兵庫県：神戸市立御影公会堂にて開催

*平成31年度事業

（1）平成31年4月3日 東京都：YKKAP品川体感ショールーム見学会
福祉まちづくり部会南関東地区会議（千葉・埼玉・神奈川・東京有志） （出席者 16名）

都道府県建築士会・会長名・事務局所在地

(令和元年5月1日現在※赤字変更箇所)

| 士会名 | 会長名 | 〒 | 所在地 | | FAX |
|---------------|--------|----------|--------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| (公社)日本建築士会連合会 | 三井所 清典 | 108-0014 | 東京都港区芝5-26-20 | 建築会館 | 03(3456)2061 03(3456)2067 |
| (一社)北海道建築士会 | 高野 壽世 | 060-0042 | 札幌市中央区大通西5-11 | 大五ビル | 011(251)6076 011(222)0924 |
| (一社)青森県建築士会 | 川島 芳正 | 030-0803 | 青森市安方2-9-13 | 青森県建設会館 | 017(773)2878 017(723)7105 |
| (一社)岩手県建築士会 | 勝部 民男 | 020-0887 | 盛岡市上ノ橋町1-50 | 岩織ビル | 019(654)5777 019(654)5777 |
| (一社)宮城県建築士会 | 砂金 隆夫 | 983-0861 | 仙台市宮城野区二十人町301-3 | 宮城県建設業 国民健康保険組合会館 | 022(298)8037 022(298)8038 |
| (一社)秋田県建築士会 | 淡路 孝次 | 010-0951 | 秋田市中通二丁目3-8 | 秋田アトリオンビル5F (一財)秋田県建築住宅センター内 | 018(827)3718 018(827)3873 |
| (一社)山形県建築士会 | 平吹 和之 | 990-0825 | 山形市城北町1-12-26 | 山形建築会館3階 | 023(643)4568 023(643)4562 |
| (公社)福島県建築士会 | 蛭田 修二 | 960-8043 | 福島市中町4-20 | みんゆうビル | 024(523)1532 024(523)4644 |
| (一社)茨城県建築士会 | 柴 和伸 | 310-0852 | 水戸市笠原町978-30 | 建築会館 | 029(305)0329 029(305)0330 |
| (一社)栃木県建築士会 | 青木 格次 | 321-0933 | 宇都宮市築瀬町1958-1 | 栃木県建設産業会館 | 028(639)3150 028(639)3160 |
| (一社)群馬県建築士会 | 田 仲 豊 | 371-0846 | 前橋市元総社町2-5-3 | 群馬建設会館2階 | 027(252)2434 027(252)2565 |
| (一社)埼玉県建築士会 | 江口 満志 | 336-0031 | さいたま市南区鹿手袋4-1-7 | 埼玉建産連会館5階 | 048(861)8221 048(864)8706 |
| (一社)千葉県建築士会 | 竹江 文章 | 260-0013 | 千葉市中央区中央4-8-5 | 建築会館4階 | 043(202)2100 043(202)2101 |
| (一社)東京建築士会 | 近角 真一 | 103-0006 | 中央区日本橋富沢町1-11 | 富沢町111ビル5階 | 03(3527)3100 03(3527)3101 |
| (一社)神奈川県建築士会 | 金子 修司 | 231-0011 | 横浜市中区太田町2-22 | 神奈川県建設会館新館5階 | 045(201)1284 045(201)0784 |
| (一社)山梨県建築士会 | 雨宮 健一 | 400-0031 | 甲府市丸ノ内1-14-19 | 山梨県建設業協同組合会館 | 055(233)5414 055(233)5415 |
| (公社)長野県建築士会 | 荻原 白 | 380-0872 | 長野市南長野宮東426-1 | 長野県建築士会館 | 026(235)0561 026(232)2588 |
| (公社)新潟県建築士会 | 川ノ口 信一 | 950-0965 | 新潟市中央区新光町15-2 | 新潟県公社ビル3階 | 025(378)5666 025(285)2911 |
| (公社)静岡県建築士会 | 飯尾 清三 | 420-0857 | 静岡市葵区御幸町9-9 | 静岡県建設業会館5階 | 054(254)9381 054(273)0478 |
| (公社)愛知建築士会 | 柳澤 講次 | 460-0008 | 名古屋市中区栄2-10-19 | 名古屋商工会議所ビル 9階 | 052(201)2201 052(201)3601 |
| (公社)岐阜県建築士会 | 横井 守 | 500-8384 | 岐阜市藪田南5-14-12 | 岐阜県シンクタンク庁舎4階 | 058(215)9361 058(215)9367 |
| (一社)三重県建築士会 | 森本 則晃 | 514-0003 | 津市桜橋2-177-2 | 三重県建設産業会館3階 | 059(226)0109 059(225)4281 |
| (公社)富山県建築士会 | 近江 吉郎 | 930-0094 | 富山市安住町7-1 | 富山県建築設計会館2階 | 076(482)4446 076(482)4448 |
| (一社)石川県建築士会 | 照田 繁隆 | 921-8036 | 金沢市弥生2-1-23 | 石川県建設総合センター5階 | 076(244)2241 076(243)4821 |
| (一社)福井県建築士会 | 歌門 敬二 | 910-0854 | 福井市御幸3-10-15 | 福井県建設会館 | 0776(24)8781 0776(24)9570 |
| (公社)滋賀県建築士会 | 山本 勝義 | 520-0801 | 大津市におの浜1-1-18 | 滋賀県建設会館3階 | 077(522)1615 077(523)1602 |
| (一社)京都府建築士会 | 高田 光雄 | 604-0944 | 京都市中京区押小路通柳馬場 東入橋町641 | 京都建設会館別館 | 075(211)2857 075(255)6077 |
| (公社)大阪府建築士会 | 岡本 森廣 | 540-0012 | 大阪市中央区谷町3-1-17 | 高田屋大手前ビル5階 | 06(6947)1961 06(6943)7103 |
| (公社)兵庫県建築士会 | 高橋 伸明 | 650-0011 | 神戸市中央区下山手通4-6-11 | エクセル山手2階 | 078(327)0885 078(327)0887 |
| (一社)奈良県建築士会 | 米村 博昭 | 630-8115 | 奈良市大宮町2-5-7 | 奈良県建築士会館 | 0742(30)3111 0742(33)4333 |
| (一社)和歌山県建築士会 | 池内 茂雄 | 640-8045 | 和歌山市ト半町38 | 和歌山県建築士会館 | 073(423)2562 073(433)2772 |
| (一社)鳥取県建築士会 | 松山 久 | 680-0912 | 鳥取市商栄町195番地 | 大和ホール | 0857(21)7280 0857(37)2024 |
| (一社)島根県建築士会 | 足立 正智 | 690-0883 | 松江市北田町35-3 | 建築会館3階 | 0852(24)2620 0852(24)3780 |
| (一社)岡山県建築士会 | 洗井 健一 | 700-0824 | 岡山市北区内山下1-3-19 | 建築会館4階 | 086(223)6671 086(221)2185 |
| (公社)広島県建築士会 | 元廣 清志 | 730-0052 | 広島市中区千田町3-7-47 | 広島県情報プラザ5階 | 082(244)6830 082(244)3840 |
| (一社)山口県建築士会 | 松田 悦治 | 753-0072 | 山口市大手町3-8 | 山口県建築士会館 | 083(922)5114 083(922)5122 |
| (公社)徳島県建築士会 | 笠井 義文 | 770-0931 | 徳島市富田浜2-10 | 徳島県建設センター5階 | 088(653)7570 088(624)1710 |
| (一社)香川県建築士会 | 遠藤 孝司 | 760-0018 | 高松市天神前6-34 | 村瀬ビル2階 | 087(833)5377 087(833)5394 |
| (公社)愛媛県建築士会 | 赤根 良忠 | 790-0011 | 松山市千舟町4-4-1 | グランディア千舟3階A号 | 089(945)6100 089(948)0061 |
| (公社)高知県建築士会 | 依光 成元 | 780-0870 | 高知市本町4-2-15 | 高知県建設会館3階 | 088(822)0255 088(822)0612 |
| (公社)福岡県建築士会 | 鮎川 透 | 812-0013 | 福岡市博多区博多駅東3-14-18 | 福岡建設会館6階 | 092(441)1867 092(481)2355 |
| (一社)佐賀県建築士会 | 犬塚 敏治 | 840-0041 | 佐賀市城内2-2-37 | 佐賀県建設会館3階 | 0952(26)2198 0952(26)2248 |
| (一社)長崎県建築士会 | 鉄川 進 | 850-0036 | 長崎市五島町5-34 | トーカンマンション713号室 | 095(828)0753 095(827)7007 |
| (公社)熊本県建築士会 | 中尾 憲征 | 862-0954 | 熊本市中央区神水1-3-7 | 熊本県建築士会館 | 096(383)3200 096(383)1543 |
| (公社)大分県建築士会 | 井上 正文 | 870-0045 | 大分市城崎町1-3-31 | 富士火災大分ビル3階 | 097(532)6607 097(532)6635 |
| (一社)宮崎県建築士会 | 松竹 昭彦 | 880-0802 | 宮崎市別府町2-12 | 宮崎建友会館3階 | 0985(27)3425 0985(27)3698 |
| (公社)鹿児島県建築士会 | 守真 和弘 | 892-0838 | 鹿児島市新屋敷町16-301 | 県住宅供給公社ビル326号 | 099(222)2005 099(226)2019 |
| (公社)沖縄県建築士会 | 西里 幸二 | 901-2101 | 浦添市西原1-4-26 | 沖縄建築会館 | 098(879)7727 098(870)1710 |

全国研究集会及び関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会の歩み（年表）

（ ）の都県名は、ブロック代表都県

| 年月日 | 開催地 | テ ー マ | 備 考 |
|--------------|-----|---|---------------------------|
| S48.10.28 | 岡 山 | 1. 将来への進路 {21世紀の建築上像、青年建築士の行路、建築士のモラル} 2. 建築士のモラル {新しい建築生産と建築士の使命、工事管理の責任範囲、 施工技術の向上} 3. 都市計画および都市再開発、(新しい生活環境作りに対する建築の任務、将来 への都市はいかにあるべきか、日照問題・電波障害問題等の解決策の基本的理念) 4. 建築士および建築士会制度 {現行の一級・二級建築士制度以外に別の建築士制度 を必要とするか、建築関係諸団体の連絡調整、建築士会の行政協力} | 各士会の代表 によるディス カッション |
| S49.8.3 | | 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士座談会 | |
| S49.9.24 | 福 島 | 建築士会のあり方 (青年建築士は何をなすべきか) 青年部会の組織のあり方 (その役割と必要性の検討) 建築士のモラルの確立のために (職業とモラル) 地域社会における建築士・建築士会はいかにあるべきか (建築と環境) | |
| S50.10.27 | 栃 木 | 栃木県青年会館にて第1回青年建築士座談会開催 | |
| S50.11.20 | | 青年建築士全国懇談会開催 | |
| S50.11.21 | 東 京 | 士会連合会の現状と問題点 何を、どこを、どのように改革すべきか そのために果たすべき青年建築士の役割について (神奈川) | 全国大会開催地は 沖縄 |
| S51.2.4 | 群 馬 | 群馬建設会館にて第2回青年建築士座談会 | |
| S51.10.4~5 | 山 梨 | 山梨県人材開発センターにてブロック別会議開催 | |
| S51.11.11 | 静 岡 | 住宅の質的向上と建築士の任務 (神奈川) | 住宅問題研究特別 委員会の設置 |
| S52.3.14 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会設立準備会開催 | |
| S52.7.12 | 神奈川 | 神奈川県鎌倉パークホテルにて設立総会開催 | |
| S52.9.20 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S52.11.9 | 東 京 | 住宅を考える 1.住宅のクレームについて考える 2.住宅を通じて環境を考える 3.基準法と住宅関連法規を考える (神奈川) | |
| S53.8.9~10 | 栃 木 | 栃木県宇都宮グランドホテルにて協議会理事会 | |
| S53.11.15 | 京 都 | 開発と保存 (保存のめざすもの) (栃木) 住宅を考える (これからの集合住宅) (東京) | 開発と保存研究特 別委員会の設置 |
| S54.3.30 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S54.8.8~9 | 埼 玉 | 埼玉県大宮国体記念館にて協議会理事会 | |
| S54.10.17 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S54.11.7 | 高 知 | 住宅を考える (街づくりと住宅) (神奈川) | |
| S55.6.27~28 | 茨 城 | 茨城県水戸市ときわ荘にて協議会理事会 | |
| S55.8.23 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S55.9.24 | 北海道 | 1.住宅の省エネルギー (長野) 2.建築士と社会 (栃木) (代表者によるディスカッション方式の採用一開催地の司会者) | |
| S55.11.13 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S56.2.18 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S56.6.26~27 | 長 野 | 長野県軽井沢セミナーハウスにて協議会理事会 | |
| S56.9.26 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S56.10.21 | 秋 田 | 建築士と社会 (東京) 障害者と建築 (神奈川) 全国研究集会のあり方 (群馬) | |
| S56.11.7 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S57.2.10 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S57.6.14~15 | 新 潟 | 新潟県月岡ニューホテルにて協議会理事会 | |
| S57.10.2 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S57.10.21 | 新 潟 | まちの美観を考える (新潟) 高齢化社会と住まい (神奈川) 建築士会の社会的活動 (栃木) | |
| S57.11.6 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S58.2.26 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| 58.6.10~11 | 千 葉 | 千葉県成田ビューホテルにて協議会理事会 | |
| S58.9.17 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S58.10.6 | 富 山 | まちの美観を考える (東京) これからのすまい (長野) 地域社会における建築士会の役割 (東京) | |
| S59.11.16~26 | | 青年協議会主催・海外建築事情調査団 (エジプト、イタリア、ギリシャ、 イスタンブール) | 第1回 |
| S59.2.18 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |

| 年月日 | 開催地 | テ ー マ | 備 考 |
|-----------------|-----|--|----------|
| 59. 6. 8～9 | 東 京 | ホテル熱海荘にて協議会理事会 | |
| S59. 9. 22 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S59. 10. 18 | 熊 本 | 多様化する社会にいかにかに生きるか (山梨) 女性建築士はいま (栃木) 市民といっしょに考えるまちづくり (埼玉) | |
| S59. 11. 23～26 | | 青年協議会主催・日韓建築交流会 | 第2回 |
| S60. 2. 16 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S60. 6. 7～8 | 群 馬 | 群馬県水上館にて協議会理事会 | |
| S60. 9. 21 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S60. 10. 17 | 滋 賀 | 今いちど考えよう！水と住環境 (東京) 市民といっしょに考えるまちづくり (長野) 21世紀・建築士会 -国際青年年に語る- (千葉) | |
| S61. 1. 25 | 東 京 | 千代田区総評会館にて協議会理事会 | |
| S61. 2. 8～15 | | 青年協議会主催・ギリシャエジプト建築事情調査団 参加22名 コーディネーター 宮脇 檀 | 第3回 |
| S61. 2. 26 | | 関ブロ発表要旨集刊行について打ち合わせ | |
| S61. 6. 6～7 | 山 梨 | 山梨県甲府市ホテル湯伝にて協議会理事会<関ブロ青協発表要旨集刊行> | |
| S61. 9. 13 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S61. 10. 16 | 山 口 | 市民といっしょに考えるまちづくり (茨城) すまいと健康 (千葉) 維新の里で語ろう！・・・魅力ある建築士会・・・ (茨城) | |
| S62. 1. 24 | 東 京 | 第1回神奈川全国大会青年実行委員会打ち合わせ 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S62. 2. 7～14 | | 青年協議会主催 ニューヨーク建築・住宅視察の旅 参加29名 コーディネーター 山下 和正 | 第4回 |
| S62. 5. 9 | 東 京 | 第2回神奈川全国大会青年実行委員会打ち合わせ | |
| 62. 6. 16～17 | 神奈川 | 神奈川県横浜市横浜町郵便貯金館にて協議会理事会 | |
| S62. 7. 22 | 東 京 | 第1回全国青年建築士連絡会 (ブロック別) 会議 (日本建築士会連合会にて) | |
| S62. 9. 5 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S62. 10. 1 | 岩 手 | テーマ1.盛岡で語ろうー魅力あるまちづくり報告 (山梨) 2.今この地に建つ住まいとは (東京) 3.建築士である私の社会的責務とは (埼玉) | |
| S63. 1. 25 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S63. 8. 2. 6～17 | | 青年建築士協議会主催 フランク・ロイド・ライトの建築を訪ねて 参加 23名 コーディネーター 内井 昭蔵 | 第5回 |
| S63. 3. 5 | 東 京 | 東京建築士会にて臨時理事会 | |
| S63. 6. 22～23 | 栃 木 | 栃木県宇都宮市青年会館にて協議会理事会 | |
| S63. 7. 19 | 東 京 | 第2回全国青年建築士連絡会 (県別) 会議 (日本建築士連絡会) | |
| S63. 9. 21 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| S63. 10. 20 | 神奈川 | テーマ1.市民と共に進めるまちづくり (栃木) 2.新しい住まいへの再生 (神奈川) 3.交流と人づくり (茨城) | |
| S63. 10. 20 | 神奈川 | 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士委員会 | |
| 平成元年. 1. 28 | 東 京 | 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士委員会 | |
| 〃 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H1. 2. 29～3. 1 | | 青年建築士協議会主催 保存建築物を訪ねて (南部～東部) 参加25名 コーディネーター 鈴木 博之 | 第6回 |
| H1. 5. 19 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H1. 6. 21～22 | 埼 玉 | 埼玉県大宮市ソニックシティにて協議会理事会 | |
| H1. 10. 5 | 岐 阜 | テーマ1.21世紀の生活環境と建築 (山梨) 2.周辺環境と対話する設計手法 (埼玉) 3.多様化する社会ニーズと建築上の職域 (千葉) | |
| H2. 1. 27 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H2. 6. 20～21 | 茨 城 | 水戸プラザホテルにて協議会理事会 | |
| H2. 10. 5 | 福 岡 | テーマ1.「リゾート開発と地域の環境を考える」ー今なぜリゾートなのか(神奈川) 2.「長寿社会と住まいの技術」 (千葉) 3.「多様化する社会のニーズと建築士の職域」 ー建築士の資格と業務の専門家について (山梨) | |
| H3. 1. 19 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H3. 2. 4 | | 青年建築士協議会主催、海外建築事情調査団 | 諸事情により延期 |
| H3. 6. 18 | 長 野 | 長野市あぶらやにて臨時理事会 | |

| 年月日 | 開催地 | テ ー マ | 備 考 |
|--------------|-----|--|------|
| H3. 6. 19 | 長 野 | 長野国際会館にて協議会理事会 | |
| H3. 9. 26 | 千 葉 | 幕張グリーンタワーホテルにて臨時理事会 テーマ1. 「地球と密着した士会活動を考える」-地球環境から地球環境を- (山梨) 2. 「建築士が情報を共有し、連帯して組織を強化するには？」 -情報の共有コミュニケーションから- (神奈川) 3. 「建築士資格の登録更新新制度を推進するには？」 -21世紀の新たな建築士像をもとめて- (茨城) | |
| H3. 11. 1～8 | | 青年建築士協議会主催海外建築事情調査団<グランプロジェ>参加15名 | 第7回 |
| H3. 1. 18～25 | | 青年建築士協議会主催海外建築事情調査団<フランス> 参加17名 | 第8回 |
| H4. 2. 1 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H4. 4. 15 | 東 京 | 日本建築士会連合会にて関ブロ青年委員会 | |
| H4. 6. 17～18 | 新 潟 | 新潟県豊浦町・ホテル泉慶にて協議会理事会 | |
| H4. 9. 16 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H4. 10. 8 | 兵 庫 | テーマ1. 地球環境を足元から考える (新潟) 2. 人材不足に対する技術 (東京) 3. 建築士会の進むべき方向 (山梨) | |
| H5. 2. 5 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H5. 6. 16 | 千 葉 | 安房郡鴨川グランドホテルにて協議会理事会 | |
| H5. 6. 17 | 千 葉 | 安房郡鴨川グランドホテルにて協議会理事会 | |
| H5. 9. 2 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H5. 9. 23 | 北海道 | テーマ1. 「地球環境を足元から考える」 (群馬) 2. 「快適に住まい集う技術」 (長野) 3. 「建築士と社会貢献」 (群馬) | |
| H5. 12. 22 | 東 京 | 東京建築士会にて青年委員会 | |
| H6. 1. 15～19 | | 青年建築士協議会主催、海外建築事情調査団<中国> 参加11名 | 第9回 |
| H6. 2. 19 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H6. 6. 17 | 東 京 | ホテルオークラにて協議会理事会 | |
| H6. 6. 18 | 東 京 | 江戸東京博物館にて協議会理事会 メインテーマ「都市と防災」 | |
| H6. 9. 13 | 東 京 | 東京建築士会にて関ブロ青年委員長会議 | |
| H6. 10. 13 | 愛 媛 | テーマ1. 建築を通しての地域貢献関連 (長野) 2. 市民とまちづくり関連 (埼玉) 3. 教育関連-刺激し教えあう (長野) | |
| H7. 1. 31 | 東 京 | 東京建築士会にて関ブロ青年協理事会 | |
| H7. 2. 3～11 | | 青年建築士協議会主催、海外建築事情調査団<イタリア> | 第10回 |
| H7. 4. 8 | 東 京 | 東京建築士会にて関ブロ青年委員長会議 | |
| H7. 6. 13 | 群 馬 | 北群馬郡伊香保町ホテル天坊にて協議会理事会 | |
| H7. 6. 15 | 群 馬 | 北群馬郡伊香保町ホテル天坊にて協議会理事会 | |
| H7. 7. 8 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会、『第1回防災勉強会』 | |
| H7. 8. 1 | 東 京 | 東京建築士会にて『第2回防災勉強会』 | |
| H7. 9. 13 | 青 森 | テーマ1. 雪国における快適なくらしと集えるまち (長野) 2. リハビリ器具を住宅に生かす・建築士としての経験を社会に還元する (群馬) 3. 防災シンポジウム (神奈川) | |
| H7. 10. 21 | 東 京 | 東京建築士会にて『第3回防災勉強会』 | |
| H8. 1. 27 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H8. 6. 13 | 山 梨 | 甲府市湯村常磐ホテルにて協議会理事会 | |
| H8. 6. 15 | 山 梨 | 甲府市湯村常磐ホテルにて協議会理事会 | |
| H8. 10. 17 | 福 井 | テーマ1. 新しい街づくりに参加して (山梨) 2. まちづくりがおもしろい (長野) | |
| H8. 11. 2 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H8. 11. 7～27 | 長 野 | 青年協議会実施…関ブロ35周年記念事業 長野オリンピック施設見学会 (4回) | |
| H9. 3. 1 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H9. 6. 4 | 神奈川 | 横浜市パシフィコ横浜にて協議会理事会 | |
| H9. 6. 6 | 神奈川 | 横浜市パシフィコ横浜にて協議会理事会 | |
| H9. 9. 27 | 東 京 | 東京建築士会にて関ブロ青年委員長会議 | |
| H9. 10. 17 | 長 崎 | テーマ1. ミッシング・デザインゲーム(住民参加まちづくりのゆくえ) (栃木) 2. 高齢者に優しい色彩計画 (長野) | |
| H10. 1. 31 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H10. 6. 11 | 栃 木 | 那須高原エビナール那須にて協議会理事会 | |
| H10. 6. 13 | 栃 木 | 那須高原エビナール那須にて協議会理事会 | |
| H10. 8. 1 | 東 京 | 東京建築士会にて関ブロ青年委員長会議 | |
| H10. 11. 13 | 奈 良 | テーマ1. ふるさとの町並づくり (長野) 2. 民家再生余話 古民家・カン・ビン・ペットボトル・再生紙 (山梨) | |

| 年月日 | 開催地 | テ ー マ | 備 考 |
|-----------|-----|---|---|
| H11.2.5 | 東 京 | 東京建築士会にて関ブロ青年委員長会議 | |
| H11.2.5 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H11.3.6 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H11.6.17 | 埼 玉 | 大里郡ホテルヘリテージにて協議会理事会 | |
| H11.6.19 | 埼 玉 | 大里郡ホテルヘリテージにて協議会理事会 | |
| H11.8.27 | 東 京 | 東京建築士会で委員長会議、のち中央区立中央会館にて協議会理事会 | |
| H11.10.21 | 長 野 | テーマ1. NIGHT UP PROJECT UTSUNOMIYA '98 (栃木) 2. さんむフォレストについて (千葉) | |
| H11.12.10 | 茨 城 | つくば市つくば第一ホテルにて協議会理事会 | |
| H12.6.15 | 茨 城 | つくば市つくば国際会議場にて協議会理事会 | |
| H12.6.17 | 茨 城 | つくば市つくば国際会議場にて協議会理事会 | |
| H12.10.17 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H12.10.26 | 鳥 取 | テーマ1. 家の記憶-建築と絵画二人展- (新潟) 2. 都市環境共生実験住宅“アクティブエコ住宅” (東京) | |
| H12.12.15 | 長 野 | 軽井沢町軽井沢プリンスホテル西館にて協議会理事会 | |
| H13.6.14 | 長 野 | 軽井沢町軽井沢プリンスホテル西館にて協議会理事会 | |
| H13.6.16 | 長 野 | 軽井沢町軽井沢プリンスホテル西館にて協議会理事会 | |
| H13.8.4 | 新 潟 | 月岡温泉ホテル泉慶「華鳳」にて協議会理事会 | |
| H13.10.5 | 宮 城 | テーマ1. 「ワッパランド」～人と自然が触れあえる場所 (長野) 2. ユニバーサルデザインの盲点 (栃木) | |
| H13.12.15 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H14.6.13 | 新 潟 | 月岡温泉ホテル泉慶「華鳳」にて協議会理事会 | |
| H14.6.15 | 新 潟 | 月岡温泉ホテル泉慶「華鳳」にて協議会理事会 | |
| H14.10.18 | 三 重 | テーマ1. 既存大谷石倉庫利用による街づくり(栃木) 2. パープルタウンウんほのぼの運動 (栃木) | |
| H14.11.16 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H15.1.31 | 千 葉 | 千葉市京成ホテルミラマーレにて協議会理事会 | |
| H15.6.12 | 千 葉 | 千葉市京成ホテルミラマーレにて協議会理事会 | |
| H15.6.14 | 千 葉 | 千葉市京成ホテルミラマーレにて協議会理事会 | |
| H15.6.6 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H15.10.24 | 宮 崎 | テーマ1. 石蔵「時の蔵」の保存と活動を通し、下館の文化歴史財産を 活かしたまちづくりを実践する (茨城) 2. まちづくりワークショップ「きらり土浦」とその後 (茨城) | |
| H16.2.26 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H16.6.18 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H16.6.20 | 東 京 | ホテルマリナーズコート東京にて協議会理事会 | |
| H16.10.3 | 群 馬 | 伊香保温泉ホテル小暮にて協議会理事会 | |
| H16.10.22 | 和歌山 | テーマ1. 街並み探索と提言—伊那市再開発ビルの影響と今後の課題— (長野) | H17.11中越地震 に際し、長岡市に て被災住宅相談キャ パシティ隊を結成 |
| H17.1.8 | 群 馬 | 群馬県建設会館にて協議会理事会 | |
| H17.2.4 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H17.6.10 | 愛 知 | 大会テーマ：あいちで紡ぐ技と知恵～循環型社会における建築士の役割～ | |
| H17.6.16 | 群 馬 | 伊香保温泉ホテル小暮にて協議会理事会 | |
| H17.6.18 | 群 馬 | 伊香保温泉ホテル小暮にて協議会理事会 | |
| H17.10.15 | 山 梨 | 河口湖富士レークホテルにて協議会理事会 | |
| H18.2.18 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H18.6.15 | 山 梨 | 河口湖富士レークホテルにて協議会理事会 | |
| H18.6.17 | 山 梨 | 河口湖富士レークホテルにて協議会理事会 | |
| H18.9.16 | 神奈川 | 神奈川大学にて協議会理事会 | |
| H18.10.20 | 栃 木 | 大会テーマ：下野で語る建築士と地域との共創 テーマ1. 第1回安曇野建築展— (長野) | |
| H19.1.20 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H19.3.17 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H19.6.15 | 神奈川 | 神奈川大学にて協議会理事会 | |
| H19.6.17 | 神奈川 | 神奈川大学にて協議会理事会 | |
| H19.9.29 | 東 京 | 文京区民センターにて協議会理事会 | H19.8 中越沖地 震に際し、柏崎市 において被災住宅 相談を実施 |
| H19.9.8 | 北海道 | 大会テーマ：北の開拓地で誓う～建築士の使命～ テーマ1. 「関ブロ青年協神奈川大会報告」 (神奈川) | |
| H20.1.19 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H20.6.19 | 栃 木 | 鬼怒川温泉あさやホテルにて協議会理事会 | |
| H20.6.21 | 栃 木 | 鬼怒川温泉あさやホテルにて協議会理事会 | |

| 年月日 | 開催地 | テ ー マ | 備 考 |
|-------------|-----|--|-----------------------------------|
| H20. 10. 16 | 徳 島 | 大会テーマ：阿波の地で連（REN）に学ぶ テーマ1. ～幸せ家族の小さな住まい 大きな絆～ （茨城） | |
| H20. 11. 22 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H21. 6. 11 | 埼 玉 | ラフレさいたまにて協議会理事会 | |
| H21. 6. 13 | 埼 玉 | ラフレさいたまにて協議会理事会 | |
| H21. 10. 16 | 山 形 | 大会テーマ：出羽の国から開く建築士の新時代 テーマ1. 「設計コンペで出来ること」 （群馬） | |
| H21. 10. 31 | 東 京 | 台東区生涯学習センターにて協議会理事会 | |
| H22. 1. 23 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H22. 6. 24 | 茨 城 | 水戸プラザホテルにて協議会理事会 | |
| H22. 6. 26 | 茨 城 | 水戸プラザホテルにて協議会理事会 | |
| H22. 9. 25 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H22. 10. 22 | 佐 賀 | 大会テーマ：多彩な自然と文化が育むさかの地に学ぶ 出展発表「シャッター通り+震災からもまちづくり」 （新潟） | |
| H23. 1. 29 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H23. 6. 16 | 長 野 | 松本市ホテル翔峰にて協議会理事会 | H23. 3 東日本大震災・長野県北部地震に対し、各県での対応協力 |
| H23. 6. 18 | 長 野 | 松本市ホテルブエナビスタにて協議会理事会 | |
| H23. 8. 20 | 大 阪 | 全国大会中止 | |
| H23. 11. 25 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H24. 2. 1 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H24. 4. 14 | 東 京 | 建築会館（港区）にて協議会理事会 | |
| H24. 6. 14 | 新 潟 | ナスパニューオータニにて協議会理事会 | |
| H24. 6. 16 | 新 潟 | ナスパニューオータニにて協議会理事会 | |
| H24. 10. 18 | 茨 城 | レストランよこかわ（水戸市）にて協議会理事会 | |
| H24. 10. 19 | 茨 城 | 大会テーマ『常陸の国いばらきで語ろう「60年の歩み」と「未来への創造」』 建築士フォーラム、及びセッション開催に際して協議会協力 テーマ1. 「住宅セレクションVol. 3」 （東京） | |
| H25. 3. 10 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H25. 6. 27 | 千 葉 | アパホテル&リゾート東京ベイ幕張・幕張ホールにて協議会理事会 | |
| H25. 6. 29 | 千 葉 | アパホテル&リゾート東京ベイ幕張・幕張ホールにて協議会理事会 | |
| H25. 9. 21 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H25. 10. 19 | 島 根 | 大会テーマ『神集う国 しまね すべてを引き寄せ 縁結ぶ』 建築士フォーラムにて「建築士と大学生が考える地域の可能性 ～佐久穂のくまちなみ再考プロジェクト」 （長野県） | |
| H26. 1. 11 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H26. 5. 14 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H26. 6. 19 | 東 京 | 江東区文化センターにて協議会理事会 | |
| H26. 6. 20 | 東 京 | 江東区文化センターにて協議会理事会 | |
| H26. 6. 21 | 東 京 | CafeRenoir ニュー八重洲北口店にて協議会理事会 | |
| H26. 10. 11 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H26. 10. 23 | 福 島 | 大会テーマ『ふくしまで語ろう 建築・絆・再生 建築士の決断「ならぬことはならぬものです』』 建築士フォーラムにて「南信州空き家ECOプロジェクト始動」 （長野県） | H26. 11 神城断層地震に対し、長野県建築士会が支援活動を実施 |
| H27. 2. 10 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H27. 3. 8 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H27. 6. 18 | 群 馬 | 舌切り雀のお宿 磯部ガーデンにて協議会理事会 | |
| H27. 6. 20 | 群 馬 | 舌切り雀のお宿 磯部ガーデンにて協議会理事会 | |
| H27. 10. 30 | 石 川 | 大会テーマ『百万石の地で触れよう未来につなぐまちづくり』 建築士フォーラムにて 『まちづくりの変革に挑む～小諸のまちなみと市民の声～』 （長野県） | 1都7県にて1級建築士試験「設計製図課題施設見学会」を実施 |
| H27. 10. 10 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H28. 2. 6 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | 次世代若手セミナーを開催 |
| H28. 6. 16 | 山 梨 | 清里 清泉寮にて協議会理事会 | |
| H28. 6. 18 | 山 梨 | 清里 清泉寮にて協議会理事会 | |
| H28. 9. 30 | 神奈川 | 湯本富士屋ホテルにて協議会理事会 | 1都8県にて1級建築士試験「設計製図課題施設見学会」を実施 |
| H28. 10. 22 | 大 分 | 大会テーマ『おんせん県おおいたで湧き上がる多様な知恵』 セッション 『建築の未来へ～今、私たちができることから～』 （長野県） | |
| H29. 2. 4 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H29. 6. 22 | 神奈川 | 湯本富士屋ホテルにて協議会理事会 | |
| H29. 6. 24 | 神奈川 | 湯本富士屋ホテルにて協議会理事会 | |
| H29. 11. 15 | 東 京 | 貸し会議室ソレイユ（中央区）にて協議会理事会 | |

| 年月日 | 開催地 | テ ー マ | 備 考 |
|-----------|-----|---|-----|
| H29.12.8 | 京 都 | 大会テーマ『山とまちと木造建築』 セッション 『風穴のある場所の価値』（長野県） | |
| H30.2.11 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| H30.6.14 | 栃 木 | 栃木グランドホテルにて協議会理事会 | |
| H30.6.16 | 栃 木 | 栃木グランドホテルにて協議会理事会 | |
| H30.10.26 | 埼 玉 | 大会テーマ『歴史に感謝 未来に約束～今 埼玉に集う 彩どり豊かな暮らしの創造』 セッション 『ツミキノチカラ』（長野県） | |
| H31.2.9 | 東 京 | 東京建築士会にて協議会理事会 | |
| R元.6.20 | 埼 玉 | ナチュラルファームシティ農園ホテルにて協議会理事会 | |
| R元.6.22 | 栃 木 | 栃木グランドホテルにて協議会理事会 | |
| R元.9.21 | 北海道 | 大会テーマ『R e+ 明日（みらい）のまちに輝きを』 | |

関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会規約

(昭和57年総会において一部変更決定) (昭和59年9月理事会において一部変更決定)

<総則>

第1条 名称

この協議会は、関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会という。

第2条 目的

この協議会は、関東甲信越建築士会ブロック会（以下本会という）の目的にそって、青年建築士に共通の問題を協議・調整し、会員相互の連絡を計り、若い力を集結し、進展する社会に対応する魅力ある建築士会の発展に貢献することを目的とする。

第3条 会員

この協議会は、次の建築士会青年部会等をもって構成する。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| (一社) 茨城県建築士会 | (一社) 栃木県建築士会 | (一社) 群馬建築士会 |
| (一社) 埼玉建築士会 | (一社) 千葉県建築士会 | (一社) 東京建築士会 |
| (一社) 神奈川県建築士会 | (一社) 山梨県建築士会 | (一社) 長野県建築士会 |
| (一社) 新潟県建築士会 | | |

第4条 事業

この協議会は、第2条の目的を達成するため必要な各種の事業を行なう。

<役員>

第5条 役員

この協議会に次の役員を置く。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 青年建築士協議会会長 1名、 | 青年建築士協議会副会長 2名、 |
| 青年建築士協議会理事 15名、 | 青年建築士協議会監事 2名 |

第6条 役員を選出及び任期

1. 青年協役員の選出は、各士会青年部会等によりそれぞれ2名の推薦によるものとする。
2. 青年協会長及び副会長は、役員の間選により決定する。
3. 青年協役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

第7条 役員職務

1. 青年協会長は、この協議会を運営する。
2. 青年協副会長は、青年協会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
3. 青年協理事は、理事会を構成し、この協議会の運営につき議決権を有する。
4. 青年協監事は、会務及び会計を監査する。

第8条 相談役・顧問

1. この協議会に、青年協相談役・顧問を置くことができる。
2. 相談役・顧問は、青年協理事会にはかって青年協会長が推薦する。
3. 相談役・顧問は、会長の諮問に応じ、且つ各種の会議に随意に出席して、意見を述べるることができる。
4. 相談役・顧問の任期は、これを推薦した会長の任期にしたがう。

<役員会>

第9条 理事会

青年協理事会は、定例会議（年2回）並びに臨時会議とする。

臨時会議は、必要に応じ青年協会長が召集する。

第10条 事務局

この協議会の事務局は、本会の事務局内に置く。

<資産及び会計>

第11条 経理

この協議会の経費は、本会の交付金、各士会の分担金、その他をもって支弁する。

第12条 会計年度

この協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

その年度の決算は、本会に報告しなければならない。

<雑則>

第13条 規約の改訂

本規約の改訂は、青年協理事会において、理事の過半数以上の同意を得て決定し、本会の承認を受けなければならない。

<付則>

第14条 条施

本規約は、昭和51年10月28日本会の承認を得、昭和52年4月1日より施行する。

ご協力いただいた企業のみなさま

| 企業名 | 〒 | 住所 |
|-------------------|-----------|------------------------------------|
| (株) 袋内興業埼玉営業所 | 333 -0807 | 埼玉県川口市長蔵1-17-8 スガビル2F |
| ニチハ(株) | 103 -0023 | 東京都中央区日本橋本町1-6-5 |
| (一財)さいたま住宅検査センター | 330 -0064 | 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-12-3 |
| (株) 建築資料研究社/日建学院 | 330 -0802 | 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-23 イーストゲート大宮ビル3F |
| (株) 総合資格 | 163 -0557 | 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル3F |
| 福井コンピュータアーキテクト(株) | 331 -0802 | 埼玉県さいたま市北区本郷町784 |
| 三和シャッター工業(株) | 103 -0006 | 東京都中央区日本橋富沢町10-16 マイアーク日本橋ビル5階 |
| アイジー工業(株)東京営業所 | 101 -0065 | 東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル5F |
| ジオテック(株) | 170 -0013 | 東京都豊島区東池袋3-20-21 広宣ビル3F |
| マテラス青梅工業(株) | 164 -0001 | 東京都中野区中野1-32-16 高村ビル4F |
| 埼玉県瓦工事業組合連合会青年部 | 350 -0204 | 埼玉県坂戸市紺屋346 |
| 旭ファイバーグラス(株)北関東支店 | 337 -0051 | 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-3-12 大東ビル |
| (株) スワニーコーポレーション | 116 -0011 | 東京都荒川区西尾久1-18-3 |
| 日本ビソー(株) レンタル埼玉支店 | 334 -0068 | 埼玉県川口市新堀町3-11 |
| 一般社団法人 全国古民家再生協会 | 107 -0061 | 東京都港区北青山2-7-26 |
| グラフィックソフトジャパン(株) | 107 -0052 | 東京都港区赤坂3-2-12 赤坂ノアビル4F |

一般社団法人

茨城県建築士会

Ibaraki Society of Architects & Building Engineers

運動と建築

MOVEMENT ACTION SPORTS ARCHITECTURE

2020 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 茨城大会

2020 6/18 (木)6/19 (金)6/20 (土)

会場 茨城県水戸市 アダストリアみとアリーナ



